



第43回ITF世界大会

2014年8月10日～16日

ソフィア(ブルガリア)

グローバル危機からグローバル正義へ
交通運輸労働者の反撃



はじめに

第43回世界大会が2014年8月にソフィア（ブルガリア）で開催された。東欧での世界大会の開催は初めてのことであり、ブルガリアは古代から東西を結ぶ交通、貿易の中心地だった。

大会の内容も歴史的なものとなった。「4つのレバー（てこ）」（ハブとコリドールの統合、業界の主なプレイヤーへの影響力の行使、現場組合員の活性化、地理的変遷への対応）を通じて、組合の力の強化を目指す、的を絞った活動計画が採択された。

大会テーマ文書「グローバル危機からグローバル正義へ：交通運輸労働者の反撃」で提案されている、各分野における優先活動も確認された。女性に対する暴力反対運動はその一例だ。団体交渉、組織化、コミュニティー・政治戦略、法的活動をベースとする新しい活動計画に確固たる支持が表明された。

ソフィア大会には、実に多くの人々が関与し、真に参加型の大会となった。できるだけ多くの議論にできるだけ多くの加盟組合に参加してもらうために、公式の会議に加えて、サイド・イベントを試みた。加盟組合の協力のおかげで、サイド・イベントは大成功を収めた。公式会議の合間、あるいは後に、部屋に入りきれないほどの人々が集まり、参加者自身が提起する問題について、活発な議論が繰り広げられた。

また、ペーパーレスも試みた。議案書、写真、動画、最新情報を議場のスクリーンに映し出し、個々のタブレットにも配信した。その結果、資源の節約と同時に即時性も実現した。大会関連の資料や写真は、現在も専用サイトに掲載されているので、是非閲覧してほしい。

ITF本部のみならず、各地域事務所からも多くの職員を参加させることが



できた点も、この大会特徴である。運営に従事するだけでなく、大会の議論から多くのことを学ぼうとする彼らの熱意は、非常に印象的だった。多くの刺激を受けた後、日常業務に戻り、これまで以上に国際労働組合運動に貢献しようと、意欲を燃やしている。

また、このソフィア大会で、20年間、ITFの舵取りをしてきたデビッド・コックロフト前書記長に別れを告げた。彼のビジョンや革新によって、このすばらしい組織は、最高の状態でソフィアに臨むことができた。長年にわたる彼の貢献に心から感謝したい。コックロフト前書記長は、真にグローバルな最強のITFを我々に残してくれた。

A handwritten signature in black ink that reads "Stephen Cotton".

ITF書記長

スティーブ・コットン



数字に見る ソフィア大会

大会代議員が代表する 交通運輸労働者総数 3,986,844 人	ツイート数 大会開催期間中の大会専用サイト上の一日あ たりのツイート数 60,000~70,000	フェイスブック閲覧者数 大会期間中(2014年8月9日~15日)のITF フェイスブックの大会関連ポスト閲覧者数 30,000 人
参加者 1,700 人	女性 408 人	参加組合 372
青年 272 人	現地ボランティア 120 人	参加国 114
スタッフ 112	サイド・イベント 28	使用言語 13
	書類 0	

目次

全体会議の概要	7
動議	18
決議	27
資格審査委員会の報告	51
決議委員会の第一報告書	53
決議委員会の第二報告書	57
各部会・委員会総会、青年総会、女性総会の報告書	63
港湾部会総会報告書	64
水産部会総会報告書	66
船員・港湾合同総会報告書	70
鉄道部会総会報告書	75
路面部会総会報告書	78
船員部会総会報告書	81
民間航空部会総会報告書	85
観光部会総会報告書	88
都市交通委員会報告書	90
女性総会報告書	93
青年総会報告書	97
大会参加者リスト	99

より詳しい情報はソフィア大会専用サイトへ

www.itfcongress2014.org.

全体会議の概要

ホスト組合および来賓の挨拶

1. パディー・クラムリン会長（オーストラリア海事組合）が第43回世界大会の代議員、アドバイザー、オブザーバーを歓迎し、ブルガリアの組合に謝意を表明した。ホスト組合のFTTUBのエカテリーナ・ヨルダノバ委員長を紹介し、東欧全体の組合の力の強化のために彼女が行ってきた活動を称賛した
2. エカテリーナ・ヨルダノバが参加者を歓迎した。105周年を迎えるFTTUBが労働者の権利のために闘ってきたことを紹介し、都市交通のコンセッション方式の導入阻止や経済危機の際の賃上げ闘争などで勝利を収めることは容易ではなかったと振り返った。また、ILOが謳う労働者の権利・自由を獲得するためには、国内および国際的な行動が必要だと述べた。ブルガリアが経済政策を転換してから25年が経過する中、生活は依然として厳しいが、FTUB初の女性指導者、故ヨルダンカ・ラデヴァから教えられた教訓を胸に、この日を彼女のために捧げると述べた。
3. ブルガリアのジョージ・プリズナシュキ暫定首相は、大会参加者を歓迎するとともに、ブルガリア史上最大規模の労働組合組織の大会で、ITF史上初のペーパーレスの大会となる第43回世界大会をホストするFTTUBの活躍を称えた。また、平和と社会正義を支持する国際組織の重要性を強調した。さらに、プリズナシ

4. ソフィア市初の女性市長、ヨルダンカ・ファンダコヴァ市長が参加者を歓迎した。市長は、ブルガリアの交通運輸労組やそのソーシャル・パートナーの社会対話における役割を称え、公共交通は経済・社会生活を支える存在であり、優先課題であると述べるとともに、ソフィア市の地下鉄が拡張を続けていることや、公共交通車両が更新されていることを強調した。また、ソフィア市は今年、女性の指導的役割の促進や交通運輸労働者の賃上げを規定する協約を組合と締結したことを報告した。
5. エカテリーナ・ヨルダノヴァが、世界の450万人の交通運輸労働者の権利を守る取り組みを行うITF加盟組合に敬意を表する、ロセン・ブレヴネリエフ大統領のメッセージを代読した。
6. ブルガリア独立労組連盟（CITUB）のプラメン・ディミトロフ会長は、ソフィア大会の開催を可能にした、ブルガリアの全交通運輸労組に謝意を表明した。会長は、ブルガリアの労働運動は約130年の歴史を誇る一方、労働組合の組織率は22%に過ぎず、失業率も10%に上るが、組合は毎年、70以上の団体協約を締結していると述べた。また、ITFの優先課題に触れ、組合がより大きな力をつけるために時代に適応し、労力を集中させ、幅広い協力関係を構築し、重要な地域での動員力を高め、持続可能な産業のための代替手段を見出す必要があることに賛同した。これらの課題の解決策を見出し、労働者の力をつけるという明確なメッセージを発することで、組合は、より魅力的で、目に見える存在となり、組織拡大が可能となるだろうと述べた。
7. ナショナルセンターのポッドクレパのロゼン・ザルコフ氏は、大会で意義ある決定を下し、それらを通じて、世界の労働者を効果的に代表するために、大会の成功を祈念するコンスタンチン・トレンチェフ会長のメッセージを伝えた。

開会式で伝統的なフォークソングを歌うブルガリアの青年組合員



8. 2005年のヘリオス航空機墜落事故で刑事訴追されたブルガリアの組合活動家、ヤンコ・ストイメノフは、組合が自身にとってどれほどありがたい存在だったかを語った。惨事が発生すると、リスク要因としての人に注目が集まり、製造業者やその他には関心が集まらなくなると指摘し、事故当時、チーフパイロットを務めていたストイメノフは無期懲役の判決を受けたが、組合が介入し、世界のメディアでストイメノフの主張が取り上げられたため、世論を動かすことができた」と報告した。エカテリーナ・ヨルダノバとFTTUBに助けられ、希望を与えられたと述べた。

9. 国際労働組合総連合 (ITUC) のシャラン・バロー書記長は、イスタンブールでピケを張り、DHLを交渉のテーブルに着かせた労働者、トルコ航空の勇気ある労働者、争議に勝利した香港の港湾労働者等、さまざまな闘いを展開してきた ITFやその加盟組織に敬意を表した。また、労働組合は、平和、民主主義、権利、尊厳、社会正義を守り、政府や利益のみを追求する大企業や金融資本の基本的権利に対する攻撃に抵抗する、最大の民主勢力であるとし、労働組合が前進し、労働者の力を強化するためには、組織拡大しかないと述べた。さらに、賃上げは組合の要求の中核であるべきで、ITUCはアジア5か国の最低生活賃金を訴える運動を開始するとともに、ITFとサプライチェーンの活動にも取り組んでいくと述べた。最後に、2018年までに組織労働者を2千万人増やす意欲を示した。

10. ILOのガイライダー事務局長は、世界の労働者や交通運輸労組の現状や、現状改善のための活動計画を議論するITFの世界大会を称賛し、国際労働運動の最先端で活動するITFは、信頼できるパートナーとしてILOに期待してほしいと述べた。また、ガザやウクライナ等での紛争に触れ、恒久平和は社会正義によってのみ実現可能であると指摘した。さらに、ILOの基準設定の権限そのものを脅かすものとして、使用者グループによるスト権の攻撃を重視していると述べた。最後に、2006年の海上労働条約を誇りに思う



パディー・クラムリン会長

とし、2019年に迎えるILO創設100周年を記念する新たなイニシアチブの一つとして、仕事の未来に関する野心的なプログラムを実施していくと述べた。

会長挨拶

11. パディー・クラムリン会長は、前線から運動を先導することができることをITFは証明したと述べ、労働者は自身の利益だけでなく、世界中の労働者の利益の保護を願っており、世界中の組合がグローバル危機からグローバル正義への転換を求めていると訴えた。また、世界金融危機で大勢の労働者が打撃を受ける中、労働組合と労働者は手を助け、助け合わなければならないと主張した。さらに、不平等な世の中における組合の基盤としての決意、勇気、公正の英知について触れ、組合は良い使用者とは協力するが、公正な配分を要求し、弱者を保護すると述べた。労働者の資本にも触れ、組合は、シェブロン社のように、組合つぶしで金儲けをする企業に投資する者や機関投資家と闘うと述べた。最後に、少数の人間のためではなく、全ての人のための公正な世界に転換するよう、大会代議員に要請した。

投票集計人と開票立会人の選出

12. 投票集計人と開票立会人が次の通り、全会一致で選出された。

ナビル・サレム・アカバ
ニ、GTUWATT (ヨルダン)

ウェイン・バストン、RMTU (ニューージーランド)

ウラジミール・スバリナ、SDUC (クロアチア)

シンシア・ディアス、CPOFCPM (アルゼンチン)

ルーク・パイルズ、IPA (米国)

議事規則の採択

13. 議事規則が全会一致で採択された。

決議委員および資格審査委員の選出

14. 決議委員および資格審査委員が全会一致で選出された。

物故者

15. パディー・クラムリン会長が物故者を紹介した。労働組合運動に貢献した彼らを追悼し、1分間の黙祷を捧げた。

活動報告

16. スティーブ・コットン書記長代行が活動報告書を紹介し、前回の大会以降、ITFは、サプライチェーンやロジスティクスの多国籍企業に取り組み、労働者の力を強化し、グローバルな組織化に取り組みながら、交通運輸労働者のために勝利を勝ち取ってきたと述べた。また、ITF・UNI合

同のグローバル・デリバリー関連の運動の結果、トルコ、インド、ドイツ等の重要国で、UPSやDHLの労働者数千人の組織化に成功したことを報告した。その後、活動報告に関して、以下の発言がなされた。

17. TUMTIS (トルコ) のケナン・オズタークが、貨物・ロジスティクス部門の組織化に関して、二つの勝利を報告した。UPSでは、2420人の労働者が団結権を獲得した。DHLでは、800人の下請労働者が正規雇用を獲得するとともに、32%~47%の賃上げを達成した。TUMTISは現在、2200人以上を組織している。これらの成功は、ITFやETFの協力のおかげである。
18. スティーブ・コットン書記長代行がPOCキャンペーンについて報告した。ここ4年間で、何千人ものFOC船員の組織、新たな活動家の誕生、9つの組合の結成、5つの組合の認知、団体協約の締結を達成した。
19. MNOG (香港) のチュン・トン・チュンは、2013年、ハッチソンとの40日間の闘争に勝利し、賃金・労働条件向上とともに、ストに参加した労働者が罰則を受けないという保障を勝ち取ったことを報告した。FNV (オランダ) のニック・スタンは、一連のストと国際連帯により、ロッテルダムAPMTと団体協約を新たに締結することができたと報告した。インド交通運輸港湾労働

組 (TDUI) のカルパナ・デサイは、ケララ港で11の組合がドバイ・ポート・ワールド (DPW) のコンテナ荷役を停止し、運転手と清掃員の団体協約を勝ち取ったと報告した。また、ニュージーランド海事組合 (MUNZ) のジョー・フリートウッドは、ストを経て、公有のポート・オブ・オークランド・リミテッド (POA) との団体協約更新を勝ち取ったこと、2012年の勝訴が団体交渉につながったことを説明した。また、勝利のカギは、オーストラリア海事組合 (MUA) や北米の国際港湾倉庫労組 (ILWU)、その他のITF加盟組織からの連帯、世論の支持、POAの大手顧客であるマースク・ラインとの協議だったと述べ、今後も非正規労働の拡大に抵抗する決意を表明した。

20. スティーブ・コットン書記長代行が、特にアジア太平洋地域の水産サプライチェーンの基準上げを目的とする、ITF・IUFCの「漁獲から売り場まで」キャンペーンを紹介した。パプア・ニューギニア海事労組 (PNGMWIU) のアレックス・ラワリは、同キャンペーンのプロジェクトで、5社のオルガナイザー9人と組合指導者98人が訓練を受け、2012年末までに組合員数が5,000人に増加したことを報告した。RDツナの労働者は、10数年にわたる争議を経て、2013年について独立的な組合を結成する権利を勝ち取った。女性を主とする労働者約3千人が組合加入を直ちに表明した。

「RDツナの労働者は、10数年にわたる争議を経て、2013年について独立的な組合を結成する権利を勝ち取った」

21. スティーブ・コットン書記長代行が、モザンビークとアンゴラで実施されたITF・SASK教育プログラムを紹介した。両国では、地域を超えた協力活動の新たな取組みとして、米州事務所が言語面での支援を行ったことを報告した。SINPOCAF (モザンビーク) のラウル・センゴは、加盟組合協議会がITFの活動を支援したことを補足した。SINPOCAFは、2012~2013年に5000人の組合員を新規獲得し、20の協約を新たに締結した。
22. スティーブ・コットン書記長代行が2人の報告者を紹介した。パラグアイとアルゼンチンの組合の連帯の成果として結成された独立的な内陸水運労組、SOMUPAのヘクター・グラシアは、SOMUPAが反労組の企業と闘い、国際連帯のおかげで4つの団体協約を締結できたことを報告した。SOMU (アルゼンチン) のエンリク・オマール・スアレは、一致団結した連帯行動のおかげで、力を誇示することができたと述べた。また、SOMUが4つの団体協約の締結と4倍の賃上げを勝ち取ったことを報告した。
23. スティーブ・コットン書記長代行は、LATAM航空グループに対応するITFの運動を通じて、数千人の組織拡大に成功したことを報告した。STCLA (チリ) のアルレット・ガイは、これまで保護されていなかった労働者17,000人の組織化に成功したと述べた。ITFのこの運動によって、アルゼンチン、ペルー、パラグアイ、コロンビア、エクアドルでも、新規組合の誕生や団体協約の締結が実現した。また、25組合、5連盟の組合員が参加する活発なネットワークが結成された。ガイは、組合間には強い信

開会式



頼感が存在し、LATAMのディスプレイパッチャーとランプ労働者が初めて、国際連帯に加わったことを報告した。

24. スティーブ・コットン書記長代行は、ITFの持つ力の中核は連帯にあり、この4年間、ITFは連帯の強化、アライアンスの構築、他組織との協力による組織拡大に努めてきたと述べた。
25. サプライチェーン・ロジスティクス組織化プロジェクト(SCALOP)ヘッドのインゴ・マロウスキーは、サプライチェーンの中で最も影響力を持つ主要企業をターゲットにするため、交通運輸の外に目を向け始めたと説明した。ITFはインダストリアル宇宙航空産業メーカーの組合と協力している。インダストリアルとITFの航空労組との連帯は非常に重要だ。ITFとインダストリアルは、共にオイル・ガス産業のサプライチェーンに関係しており、労働者の力を築くために、ターゲット(シェブロンを含む)の特定を行っている。
26. スティーブ・コットン書記長代行は、貨物輸送の主要ハブを組織することが重要だと述べた。東アフリカのITFプロジェクトで最も成功したものの一つに、港湾と幹線道路の接続に注目したプロジェクトがある。ATGWU(ウガンダ)のアジズ・キイリヤは、2011年に立ち上げられたITF東アフリカ路面運輸コリドールプロジェクトには、アフリカの5か国の組合が参加しており、国際運転手カードを組合員に配布したことを報告した。シモン・サン(DUK、ケニア)は、モンバサ港と内陸国との接続から、HIV-エイズやコリドール沿いの健康センターをオルグのツールとして活用し、3,570人以上を組織したことを報告した。
27. デーブ・ヘンデル(SIU、米国)は、メキシコ大会で立ち上げられた「今、海賊問題を！」運動は、まだ課題はあるが、使用者や業界団体の協力を得て、各国政府に海賊問題を真剣に対応させることができたことと述べた。また、ITFは、福利団体と協力しながら、船員が解放されるまで、家族を支援したことを報告した。
28. スティーブ・コットン書記長代行は、HIV/AIDSも海賊問題と同

「東アフリカのITFプロジェクトで最も成功したものの一つに、港湾と幹線道路の接続に注目したプロジェクトがある」

様に、労働者に影響が及ぶ問題を深く追及するITFの活動の一例であると述べた。デヴィソンSカンブジ(CEARWU、マラウイ)は、2012年にケニアで設立された USAFIRIは、HIV陽性の交通運輸労働者ためのアフリカ初のネットワークであり、ウガンダ、マラウイ、ガイアナ等の国にも拡大していると報告した。

29. スティーブ・コットン書記長代行は、ITFが重視する、女性に対する暴力撤廃運動を紹介した。ダイアナ・ホランド(UNITE、英国)は、ITFの男性と女性がこの運動を主導してきたことを誇りに思うと述べた。また、2014年にデリーで開催されたITF女性総会では、参加者が女性に対する暴力反対を訴える集会に参加したことを報告し、女性に対する暴力撤廃を組合の主要課題とすることがITF女性委員会の優先課題であると述べた。
30. プレティ・シン(AIRF、インド)が気候変動について発言した。ITFはITUCやITFの青年労働者と協力しながら、気候変動に対する労働組合の対応を世界に訴えるとともに、持続可能な交通運輸を確保するために、公共交通の促進を優先課題としてきたと述べた。
31. スティーブ・コットン書記長代行は、質の高い公共交通をITFの運動の中核に位置づけ、国際公務労連(PSI)と緊密に協力していると述べた。また、ITF路面運輸部会議長を退くマーティン・メイヤーを紹介するとともに、彼の貢献に感謝した。マーチン・メイヤー(ユナイト、英国)は、2013年の公共交通国際連合(UITP)との覚書締結について報告し、この覚書は国際的な使用者団体と初めて締結した合意文書で、

労働組合や団体交渉に対するコミットメントが確認されていると説明した。また、都市交通関連の多国籍企業のITFネットワークには、43か国、85組合の活動家189人が参加しており、情報交換や各企業の活動の監視、国際連帯の要請等を行っていることを報告した。

32. マイケルCメンドーサ(PSU、フィリピン)は、1万人の犠牲者を出したハイナン台風の被災者に食糧、施設、事務所を提供してくれたITFに謝意を表明した。コンラッド・オカ(AMOSUP、フィリピン)は、AMOSUPが研修船を活用して、救援物資を運搬したことを報告するとともに、連帯支援や資金集めに協力してくれたITF加盟組合に感謝した。
33. スティーブ・コットン書記長代行は、アラブ地域の政治変動の際、ITF加盟組合が変化への道筋をつけたと語った。サイード・エル・ハイレッチ(UMT、モロッコ)は、ITFがエジプト、チュニジア、イエメンの労働者を支援した最初の組織だったと述べ、多くの組合がITFに加盟し、力をつけたと述べた。また、いくつかの国で、組合の能力強化のためのトレーナーの訓練が実施され、エジプトで9組合、リビアとイエメンで2組合、クウェートで1組合が新設され、既に団体協約を締結したことを報告した。ピラル・マルカイITFアラブ地域部長は、組合活動を理由に投獄されていたサイード氏の解放は、組合の力の強化によると述べた。パレスチナに関しては、ITFの連帯と財政支援がガザのバス運転手組合(GBDU)にとって大きな意味を持つと述べるとともに、GBDU事務所は2014年末までに完全に運営開始の予定だったが、最近の空爆で破壊されたと述べた。また、ITFの医療物資がガザに運搬されていると述べた。アラブ地域事務所は、グローバル・ネットワーク・ターミナル(GNT)に真の強い組合を作ることを重視しており、アカバ、タンジール、バーレーン、ポートサイド、スエズシティのAPMターミナルの新規組合を強化する一連の行事を実施したことを報告した。
34. スティーブ・コットン書記長代行は、前回大会で規約が改正され、青年労働者を代表する制

度が確保されたことに触れ、以降、青年の活動能力が強化されたと述べた。また、青年は組合の力であることを強調した。青年委員会合同議長を退任するファティマ・アグアド・ケイボ (CCOO、スペイン) は、ITFの各部会を通じた産業別のアプローチが前進のカギであると述べ、全地域で実施した、青年活動家対象の交通運輸と気候変動に関する研修がカギだったと述べた。トラビス・ハリソン (UNIFOR、カナダ) は、ITF青年ネットワークは、2000年5月の200人から2014年1月の650人に(女性220人を含む) 拡大したことを報告した。また、同ネットワークの参加者は欧州が最も多いが、活動が活発なのはアラブ地域だと説明した。

35. スティーブ・コットン書記長代行は、2011年に立ち上げられた「変化を主導する」と題するITFの女性リーダーシップ・プログラムは、女性の能力開発を促進させたと述べた。アン・アンダーソン (CCWU、ガイアナ) は、カリブ海地域のITF加盟組合の女性組合員は、力のある指導者となり、戦略的な計画立案やオルグをツールとして活用することもできるだろうと述べた。
36. スティーブ・コットン書記長代行が国内の加盟組合の団結強化につながっている活動を紹介した。エマニュエル・アベノウ

(FESYTRAT、トーゴ) は、トーゴやニジェール等の加盟組合は強力な加盟組合協議会の下で活動しており、これは、アフリカの加盟組合にとっての重要な優先活動となっていると述べた。スティーブ・コットン書記長代行は、中

37. スティーブ・コットン書記長代行がITFインスペクターを紹介した。インスペクターが登壇し、拍手で迎えられた。ジャクリン・スミス (NSU、ノルウェー) は、2012年の海事円卓会議に新世代の活動家が参加したことや、この4年間にトルコ国際船籍とフェロー諸島船籍の二つの船籍が新にFOCに指定されたことを報告した。また、ITF協約締結船の数が2013年末現在、11,000隻に増えたことや、2010年~2013年に133人のITFインスペクターが37,000隻を査察し、1億3千2百万ドルの未払い賃金を回収したことを報告した。
38. スティーブ・コットン書記長代行は、メリー・ルー (SMOU、シンガポール) のILO理事就任を称えた。メリー・ルーは、2006年の海上労働条約が2012年8月にILO加盟国30か国以上の批准を達成し、2013年に発効したことを報告した。また、ITFはILO漁業労働条約の批准促進のための活動もしていることを報告した。さらに、ILOが水産と

航空に関するグローバル対話フォーラムを開催したことや、ITFがILO、IMO、UNECEと協力して、コンテナ貨物に関する行動規範を誕生させたことを報告した。

39. スティーブ・コットン書記長代行は、クリスティン・ベレ (ver.di、ドイツ) を紹介した。ベレは、多国籍企業に関するOECDコードを紹介し、ITFとUNIがいくつかの国における結社の自由の侵害に関して、OECDに提訴した結果、当該企業の本社経営陣は、ITFおよびUNIと定期的に会合し、組合権の侵害や活動家の虐待の可能性のある事案に対応せざるを得なくなったことや、DHLの組合がオルグを活発に展開していることを報告した。スティーブ・コットン書記長代行は、クリスティン・ベレがITFにおけるVERDIの位置づけを革新的に向上させたことや、VERDIがITFの全部会で非常に活発に活動していることを補足した。
40. スティーブ・コットン書記長代行は、ETFはITFの中でユニークな存在で、ETFのエドワルド・チャガス書記長とETF職員が欧州の政治状況が非常に厳しい中で奮闘してきたことに謝意を表明した。ETFのラース・リングレン (STF、スウェーデン) 会長は、国内旅客鉄道の完全自由化と上下分離を目指す第4鉄道一括法案に反対するETF行動日 (2013年) 等、欧州委員会の立法過程に影響力を行使するETFの活動について報告した。
41. スティーブ・コットン書記長代行が人権および労働組合権を擁護するITFの運動を紹介した。2014年に鉄道の安全上の懸念を訴えて解雇されたタイ国鉄労組の指導者全員が職場復帰を果たした例を紹介した。
42. ビクトール・クレスポ (SGTM、ホンジュラス) は、ITFが港湾労組の設立を支援したことを報告した。クレスポが書記長に選出された時、クレスポと家族は脅迫され、会社からも解雇された。自宅で襲撃された後、家族を守るために家を出なければならなくなった。ITFはクレスポのニカラグアへの亡命を支援し、国際的な圧力の高まりにより、帰国が実現する日を待った。クレスポは、彼を支えてくれた全ての組合に謝意を表明するとともに

「前回大会以降、我々は多くの成果を生み出した」活動報告書を紹介するスティーブ・コットン書記長。



に、ホンジュラスは組合活動家にとって依然として危険な国であるが、クレスポや他の活動家は勝利するまで闘い続けると語った。

43. アントニオ・フリッツITF中南米地域部長が、港湾に武装した軍のグループが存在するが、当該組合は二つのITF加盟組合の団結と団体協約の締結に尽力していると補足した。
44. スティーブ・コットン書記長代行は、ITFは誇れるファミリーだと述べ、スワジランドでバシル・ツワラの釈放を支援した活動を紹介した。一つ一つの勝利が全ての人のものであり、ITFが敗北を受け入れることはなく、だからこそ、ITFは団結と明確なビジョンを必要とすると語った。パディー・クラムリン会長は、組合がITFの指導者であり、希望と勇気を与える存在だと述べた。
45. 次に、各代議員がそれぞれの組合の闘いについて報告した。
46. アニー・スン (SMOU、シンガポール) は、2014年9月にスティーブ・コットン書記長代行がシンガポールを訪問し、交通運輸労働者と対話しながら、自身のビジョンを語ったことを報告した。指導部の交替は組合の生き残りにとって重要であり、組合は将来の指導者を育てるために、特に、女性や青年を教育、指導する必要があると述べた。
47. モハメド・エル・ガリ (CGT、フランス) が、DHL労働者として、世界各地 (特にトルコ) で勇気ある運動を展開してくれたITF加盟組合に感謝した。また、フランスの主な問題は、規制緩和、貧困、カポタージュであり、組合は欧州の賃金労働条件の切り下げを阻止するために、闘わなければならないと述べた。
48. エリック・ファレンピン (FETS-FO、フランス) は、全労働者に影響を及ぼす緊縮政策は一層の規制緩和を意味し、組合はITFと共に、組織を拡大し、反撃しなければならないと述べた。また、低コスト事業者があたりまえの存在になっており、緊縮政策が社会基盤と経済を破壊していると述べた。
49. キャロル・ウン (BAHKICCA、香港) は、英国航空が、主に女

性客室乗務員の定年を45歳に設定しており、香港ではこれが合法であるが、ユナイトの支援を受けながら、この年齢・性差別に関して、英国で訴訟を起こし、女性客室乗務員24人が職場復帰を果たしたことを報告した。オリバー・リチャードソン (ユナイト、英国) は、この闘争は7年間かかったと述べ、組合員のために勝利を収めたキャロルの強さを讃えた。

50. 全国港湾の糸谷欽一郎は、組合員6人を含む2万人の犠牲者を出した2011年の東日本大震災に関するITFの支援に感謝した。また、POCキャンペーンが世界に広がる中で、加盟組合がストを計画した場合の支援をITFに要請した。さらに、組合役員を含む165人が解雇された日本航空の争議に対するITFの支援を要請した。
51. モハメド・マテレ (GUPW、ヨルダン) は、アカバのAPMターミナルでの最後のストは大きな影響をもたらすことができたと報告し、ITF、特にアラブ地域事務所の連帯・支援に感謝した。また、ガザの人々への連帯を再確認した。
52. ハマダン・アル・ハイダリ (アデン・コンテナターミナル労働委員会、イエメン) は、2012年にストを実施した時にITFとの関係が始まったと述べ、ITFの連帯と財政支援のおかげで、投獄されていた仲間の解放を実現できたと報告した。また、イエメンの石油の密輸を阻止するための法廷闘争の支援をITFに要請した。
53. シバ・ゴパール・ミシュラ (AIRF、インド) は、インド鉄道では110万人が雇用されており、AIRFは1924年に設立され、1929年にITFに加盟したと報告した。また、組合は政府の民営化計画を

阻止するために闘わなければならないと述べ、連帯こそ大会で議論すべき問題だと述べた。

54. アラグ・バラスブラマニウム (UNEPASS、マレーシア) は、移民労働者の問題に関する懸念を表明した。交通運輸産業には多くの移民労働者が存在するため、彼らを支援し、組織する機会があると述べた。
55. アジズ・キイリヤ (ATGWU、ウガンダ) は、インフォーマル部門の組織化のITFの取り組みに感謝した。また、ATGWUが空港タクシーおよびトラック運転手の協会や、道路沿いで商売を営むHIV陽性の女性と覚書を締結し、彼らに代って交渉していることを報告した。また、昨年、インフォーマル部門の労働者3,000人を組織したと述べた。
56. ウメシュ・クマル (INTUC、インド) は、インドでは、8つの組合とその産別、交通運輸労働者連絡協議会が労働者の福利向上のために協力していることを報告した。
57. エマニュエル・ガスタブ・コンパオーレ (SUMAC、ブルキナファソ) が、SUMACはアフリカ・マダガスカル航空安全局 (ASECNA) 労組連盟の設立メンバーであると述べ、ASECNAがアフリカ17か国の航空管制を扱う多国間組織で、7,000人が雇用されていることを説明した。SUMACは組織拡大とロビーイング能力の強化が必要であるとして、多国籍企業に関する活動の継続をITFに要請した。
58. リチャード・ダルメディア (SYNATRAMAC、ベニン) は、SYNATRAMAC がITFの支援を受けながら、6,000人を組織しており、民営化は阻止できているが、航空FOCの問題と闘っていると述べた。また、ITFの支援のおかげで、組織拡大と民営化阻止に成功したと述べた。
59. テレンス・タン (SMOU、シンガポール) は、青年組合員の減少を阻止する活動を紹介した。また、SOMUの青年組合員が、執行部の理解をとりつけ、青年のオルグ、ネットワーク、育成のための一連の行事を開催したこと

**「全ての勝利は
全員の勝利であり、ITFは敗北を受け入れない」**

を報告した。さらに、諸外国の組合との交流プログラムをもっと実施するよう、ITFに要請した。

60. ソウリー・ゼイナボウ (SYNATRA、ニジェール) は、SYNATRAが一連の連帯行動に加わったことを報告した。また、女性コーディネーターの任命や、訓練・能力開発支援につながった、SASKの国内プロジェクトに関与できたことに感謝した。さらに、20以上のアフリカ諸国を対象とするプロジェクトを通じて、400人のタクシー運転手を組織したことや、三輪自動車タクシーの組織化を検討していることを報告した。

61. ルシアン・ラザフィンドライブ (SYGMMA、マダガスカル) は、政府がILO海上労働条約批准をついに約束したと報告した。また、ITFが水産部門に注目し、ITF・IUF水産プログラムを実施したことを歓迎した。

62. ジョアチム・メル・デジュリ (SYMICOM、コート・ジボワール) は、西アフリカの海事労働者の重要性を認識した。関連プロジェクトが立ち上げられ、2010年と2013年9月にセミナーが開催され、ナイジェリアにも広がっていったことを報告した。このプロジェクトの継続を希望すると述べた。

63. JR連合の松岡裕次は、2011年の東日本大震災の際、哀悼のメッセージや温かい支援をいただいたことに感謝した。また、2013年に交通基本法の制定を勝ち取ったことを報告した。

64. マーセル・ザンテ (FSTATB、ブルキナファソ) は、SASKのプロジェクトが西アフリカ諸国 (ブルキナファソを含む) の組合の団体協約締結につながったと報告した。また、旧FIOST加盟組合との統合に関して、ITFに謝意を表明し、継続的なITFの支援を要請した。

65. 航空連の内田妙子は、解雇された組合員の迅速な復職のための交渉をJALに求める動議について説明し、この動議への支持を大会代議員に要請した。また、幅広いITFの支援を要請した。

66. ホセ・アートゥロ・ルイ・スランペ (USTAC、グアテマラ) が、グ



第43回世界大会がソフィア (ブルガリア) で開催される。世界大会の東欧での開催は初めて。

アテマラでは毎日約20件の殺人事件が発生する現状について報告した。ここ2年間で500人のバス運転手が殺害され、政府はこれらを若者ギャングの抗争のせいにしてはいるが、組合活動家に対する政治的な動機が原因だと説明した。また、ILOは、組合活動家にとって最も危険な国として、グアテマラとコロンビアを挙げているが、組合はこれまで以上に強くなることができると述べた。さらに、USTACがビクトール・クレスポの解放に貢献したことを誇りに思うと述べ、ITFを中心とする国際連帯を引き続き要請した。

67. 活動報告書は採択された。

グローバル危機からグローバル正義へ：交通労働者の反撃

68. スチュワート・ハワード書記次長が大会テーマ文書について説明した。大会テーマ文書は、今後4年間のITFの活動方針を提案している。地域、部会、作業グループとの幅広い協議を経て作成された、この方針文書には、ITFの力を強化するために必要な4つのレバー (ハブとコリドール、地理的変遷、業界の主なプレーヤー、現場組合員の活性化) が示されている。

69. 引き続き行われた議論で、トニー・シェルダン (TWU、オーストラリア) がTWUのセーフ・レート運動について説明した。サプライチェーンの中で、決定権を持ち、TWU組合員を直接雇用する企業に影響力を持つ、大手企業の責任を

追及する運動だ。世界各地で多発しているトラック関連の死亡事故は、運転手の劣悪な労働条件に起因する。オーストラリアでは、道路輸送の33%が流通関係で、たった二社の需要によるものだ。トラック運転手は、これらの流通二社に直接雇用されているわけではないが、何万人もが経済的に依存している。昨年、TWUは、これらのメガ・リテーラーを顧客とする、未組織企業267社を分析した。メガ・リテーラーは市場支配力を使って、安い運送料の設定、能率給、理不尽な要求、アウトソーシングを行い、これら全てが運転手の疲労、劣悪な車両状態、高速走行、麻薬依存を招き、衝突事故や死傷事故を引き起こしている。組合は市民や政治家のほか、低運賃の圧力にさらされている運送会社とも協力しながら、明確な戦略、ターゲットを持ち、サプライチェーン全体の組織化を進めていく必要がある。

70. スティーブ・ターナー (UNITE、英国) は、ユナイトの港湾ハブプロジェクトに関連して、4つのレバーについて発言した。このプロジェクトは、何十万人もが雇用されるロジスティクス・ゾーンの組織化を目指すものである。短時間あるいはゼロ時間契約の未組織労働者の多くが、派遣会社を通じて、最低賃金で雇われている。現代の港は相互依存的で、国際貿易の85%がサプライチェーンを通じて行われている。組

合は、サプライチェーンの脆弱性を利用すれば、重要セクターへの供給を止め、在庫の流れを組織労働者に依存している企業の「ジャストインタイム・システム」を「ジャスト・ツーレイト（もはや手遅れ）・システム」に変えることができる。真の力を知っている労働者の相互依存ネットワークを構築することもできるかもしれない。英国で、インダストリアルと合同で実施されているパイロット・プロジェクトでは、組織された職場や企業のショッブスチュワード（職場委員）が、研修で顔を合わせている。欧州や他の地域のハブを組織する仲間の組合と関係を築くのが狙いだ。また、サプライチェーンの相互依存性について理解を深め、経済的な影響力を行使する真の雇用主を把握するためのリサーチを行い、争議が発生した場合に、サプライチェーンのトップに君臨する真の意思決定者に働きかけようとしている。

71. サイモン・サン (DWU、ケニア) は、モンバサ港を手始めに、北部のコリドールで組合の力を強化することについて発言した。重要なのは、非正規対策である。DWUは、2011年までの5年間に、5,100人の雇用を正規雇用にさせた。政府はケニア港湾当局の民営化を決定したが、DWUは2011年までの2年間に、反対闘争を展開し、民営化を撤回させた。新政権が再び

モンバサ港の民営化を計画しているが、DWUは、これまでの経験を経て、より力をつけている。現在、交通運輸労組の連合体を結成し、さらに能力を強化しようとしている。

72. イワン・ドゥ・ラ・ガーディア (UCOC、パナマ) は、ハブとしての重要性が高まっているパナマ運河の全組合の連絡調整について報告した。組合認知を求める港湾労働者や民間航空労働者の問題に触れ、労働者のあらゆる権利がパナマ運河当局に侵害されているため、UCOCはILOに提訴せざるを得なかったと述べた。また、パナマはマルチモデルのハブとして重要だが、労働者の権利が犠牲にされてはならないと述べた。

73. 引き続き、代議員の発言が求められた。

74. ティム・ビーティー (米国) は、中華全国総工会 (ACFTU) のオブザーバー参加を歓迎した後、アマゾンについて発言した。アマゾンはロジスティクス・システムに大改革をもたらそうとしている。アマゾンは労使対話に関心がなく、反労組だ。ドイツの倉庫労働者の組織化を例に挙げ、ver.di等の組合がアマゾンに取り組んでいることを称賛した。アマゾンの業務拡大に伴い、アマゾンに対する組合の活動も拡大している。アマゾンは中小規模の市場に進出し、ポーランドやチェコで流通センターを設置し

ている。ドイツの組合がアマゾンの組織化に成功した場合には、スト対策要員を導入するだろう。

75. トニー・シェルダンは、アマゾンが何千人もの運転手の非間接的な雇用主であり、TWUはこのような実質的な雇用主と憲章を締結しようとしていることを補足した。

76. カタリナ・ウェゼニック (ver.di、ドイツ) は、8つのセンターの何千人ものアマゾン労働者の組織化の取り組みについて報告した。ストも数回実施した。アマゾンは将来のオンライン・コマースおよびロジスティクスの一例であり、組合もこれに追いつかなければならない。組合が勝たなければ、基準は瞬く間に切り下げられる。UNIやITFと共に活動できることを嬉しく思う。反アマゾンで共闘していきたい。

77. パディ・クラムリン会長は、UNIや他の国際産別組織 (GUF)、国際労働組合総連合 (ITUC) との一層の協力を賛同し、組合の貴重な資源を重複させることのないよう、将来的に、単一の組織を構築する必要があると述べた。

78. トニー・シェルダンは、TWU は現在、ウールワースの2,500人の労働者や、これとは別の2,000~3,000人の宅配運転手に今後2~3年間、接触することについて、同社と交渉中であることを報告した。一方、コールに関しては、運転手を組織するにはサプライチェーンに圧力をかける必要があることを示すために、直接行動に訴えざるを得なかったと述べた。多くの企業がTWUの運動に理解を示し、企業から企業に圧力をかける機会が生まれている。

79. スティーブ・ターナーは、一企業の財務状況をコントロールするほどの影響力を持ち、組合には何の関心もなく、何百万人もの労働者の雇用契約を一瞬にして変更できる力を持つ、サプライチェーンのトップに君臨する実質的な使用者 (大手銀行やヘッジファンド等) と交渉することはまれであるが、組合は個々の企業をターゲットにするのではなく、産業の枠を超えた組織拡大に努め、影響力を持つ実質的な使用者をターゲットにする必要があると述べた。

組合の力を付けることが重要であると訴えるサイモン・サン (DWU、ケニア)



80. エンリック・オマール・スアレ (SOMU、アルゼンチン) は、海事関連の組合活動家が、パラグアイのSOMUPA労組を新規設立しようとして、弾圧された際、ITFが支援してくれたことに感謝した。SOMUは引き続きボリビアの仲間と協力しながら、FOCキャンペーンを遂行し、組織化や新規組合の設立を目指すとして、ITFの継続的な支援を要請した。また、4億トンもの穀物や大豆がボリビアの水路を経由して輸送されているが、そこで働く労働者には団体協約が締結されていないことを報告した。
81. イワン・ドゥ・ラ・ガーディア (UCOC、パナマ) は、中南米には、労働者を一致団結して立ち上がらせることのできる、よく練られた活動が必要であると述べた。また、中南米地域の組合間の協力強化や、あらゆる分野を包括する戦略が必要であると述べた。
82. マーチン・メイヤー (UNITE、英国) は、底なしの競争を阻止するためのセーフ・レート運動に感銘し、TWUのこの戦略を他国のトラック労組がどう取り入れることができるかを尋ねた。
83. トニー・シェルダンは、実質的な使用者をターゲットにする同様の運動を紹介した。アウトソーシングされたビル管理人の雇用に関して、ビルの所有者の責任を追及する、北米の「正義のための雇用」運動や、小物製品の製造に関して、顧客の大手リテーラーをターゲットにするUNITEの運動は、賃金と労働条件の向上につながった。また、ITFとETFは、実質的な使用者であるリテーラーをターゲットにする国境を越えた運動を東欧で展開した。オーストラリアでは、7つの州・特別地域のそれぞれの法律を適用させ、道路の安全を確保する、企業をターゲットにした運動が行われている。
84. ジャクリーン・スミス (NSU、ノルウェー) は、オーストラリア海事組合 (MUA) が大会議案書の中で提案している労働者の資本プロジェクトを支持する発言を行った。世界の労働者の年金基金は、世界の銀行の資金に匹敵する。この資金のほとんどが、後払いの賃金、つまり、労働者のものである。年金基金や世界

の金融市場に預けられている労働者の資本は、労働運動の価値観に見合う方法、あるいは、協力的な労使関係や労働組合権の尊重に関する基準設定につながる方法で投資されるべきである。ITFがこのような分野に投資を行い、UNIとインダストリアルと協力しながらこの種の活動をしていることを歓迎する。ノルウェーの組合は、ノルウェー政府年金基金の投資先の決定に影響力を行使している。同基金は、世界の交通運輸関連の上場企業多数に投資しており、世界のグローバルファンドの1%以上を保有している。ITFが標的とする企業の株主総会でデモを行い、労働基準を守らないのは、コーポレート・ガバナンス (企業統治) の基準を守らないことと同じであり、組合潰しは良いビジネス戦略とは言えないことを訴え、成果を収めたことを強調した。

85. スティーブ・ターナー (UNITE、英国) は、全ての組合は、労働者の処遇を国ごとに変える多国籍企業に対して、それぞれの国で闘争する義務があると主張した。英国のUNITEは、都市ビルの清掃員の処遇改善のために、ビルのテナントである金融機関を組織し、派遣会社から清掃員に支払われる賃金に責任を持たせた。また、米国では、労働組合とコミュニティーが協力して、ファーストフード会社にフランチャイズ店の労働条件の責任を追及する運動が実際された。
86. ジョー・オフリン (SIPTU、アイルランド) は、実質的な雇用者に関する戦略を歓迎し、このようなグローバルな戦略は大手の組合に限られたものではなく、この戦略の実施によって、全ての組合が恩恵を被ることができると述べた。また、SIPTUのダブリン港湾争議は、ITFとRMTの国際連帯があったからこそ勝利を収めることができた」と報告した。
87. ミック・ドーマン (MUA、オーストラリア) は、石油・ガス等のエネルギー産業の大手企業は冷酷であると述べ、世界第5位のシェブロンについて報告した。反労組のシェブロンがオーストラリアの北西大陸棚の開発に取り掛かった時、MUAを含む複数の組合が合同で最善慣行協定の締結を要求した。しかし、

「多くの企業がTWUの運動に理解を示し、企業から企業に圧力をかける機会が生まれている」

シェブロンは、組合側が先住民の労働者の雇用拡大を要求したため、これを拒否した。MUAがストを構えると、MUAを擁護した。15,000人の組合員を擁護するMUAは、最後までシェブロンと闘う決意であり、ITFファミリーの支援を要請した。

88. トニー・シェルダンは、全ての組合は、その規模に関わらず、闘う意思を持ち、勝利の形をしっかりと認識するべきだと述べた。スティーブ・ターナーは、組合は基本に戻り、闘争とオルグを開始すべきだと訴えた。また、大会テーマ文書を自分たちの問題としてとらえ、活動計画に関与、実践する必要があると述べた。サイモン・サンは、ITFや他の国際産別組織 (GUF) が、組合の原則回帰を支援してくれるだろうと述べた。イワン・ドゥ・ラ・ガーディアは、国際連帯は全ての組合にとって不可欠だと述べた。
89. アブドゥラガニ・セラン (NUSI、インド) は、未組織労働者の組織化 (大手の組合が中小の組合を支援する必要性)、産別の枠を超えた積極的な交流、サプライチェーン関連活動で組合の能力強化を重視する必要性の3つの問題について提起した。
90. ムニンドゥラ・サイキア (NFIR、インド) は、インドの鉄道システムの複雑性や世界経済危機によって、鉄道労働者の労働環境が悪化し、事故も増えていると述べた。また、政府は反労組の決定を次々と行っており、このような状況の中で、組合は団結を深める必要があると述べた。
91. フランク・モリール (BTB、ベルギー) は、オランダのFNV Bondgenotenをも代表し、IKEAのソーシャル・ダンピングに対する闘いについて、ITF



様々な問題を訴えるトニー・シェルダン (TWU、オーストラリア)

の支援を要請した。IKEAは、ベルギーやオランダのトラック運転手の団体協約を遵守し、適正な給与を支払う輸送業者を使うのは止め、今は、東欧から運転手を採用し、ベルギーやオランダで何週間、あるいは何か月も働かせている。彼らの賃金は非常に低く、トラックの中で働き、眠り、生活している。大会代議員が、レイバー・スタートを通じて、IKEA経営にソーシャル・ダンピングを止めるよう要求することを求めた。

92. マラ・メイール・アマロ (SINA、ブラジル) は、ブラジルの新空港の2018年までのコンセッションに関して、全従業員の雇用を保障する団体協約が締結されたことを報告し、ITFとITF加盟組合の支援に感謝した。また、SINAは公務員が享受している権利と同等の権利を民間会社の全労働者が享受できるように活動していると述べた。さらに、組合が力をつけるには、女性の権利強化が重要だと述べた。
93. アラグ・バラスパラマニウム (UNEPASS、マレーシア) は、他の産別の組合 (交通運輸を含む) を横取りしようとしている国際産別組織 (GUF) がいるという苦情を紹介し、これが本当ならば、連帯の精神に傷がつくと述べた。これに対し、パディー・クラムリン会長は、ITFは他のGUFと良好な関係を維持してお

り、全GUFが結集するグローバルユニオン協議会は、半年に一度会合を持ち、問題の解決や、共闘の機会を探っているが、そういう苦情があるなら、同協議会で提起すると回答した。

94. アラン・ストゥール (CGT、フランス) は、今、真に必要とされている反撃を行うために、世界の組合が運動を調整し、協力する必要があると述べた。
95. アズビヨン・ウォール (FAGFORBUNDET、ノルウェー) は、何千人もの労働者の生活がITFやその加盟組合によって向上したが、環境や気候変動の危機を含め、多くの危機が存在すると述べた。また、組合は変化を受け入れる必要があるが、危機を受け入れることはできないと述べた。さらに、公共交通は、地球を救うための一つの方法であると述べた。
96. シェイク・モハンマド・イクバル (PMNOA、パキスタン) は、ダーバン大会で気候変動の問題を提起してから、10数年が経過したと述べ、この問題への取り組みを進めたデビッド・コックロフトに感謝した。
97. スダカール・ラムチャンドラ・アブラージ (MBPTOGEU、インド) は、ITFに新規加盟したMBPTOGEUを代表して、大会に参加できることを嬉しく思うと述べた。MBPTOGEUはインドの全主要港を組織しているが、ムンバイ港では、船舶解

体等の未組織部門を組織する唯一の組合であることを報告した。また、これらの部門の労働者は、飲料水も与えられず、1日たった1ドルで働かされていると述べた。さらに、インドにも民営港湾が導入され、1984以降、港湾産業では採用が凍結され、労働条件は悪化し、労働者は搾取されていると報告した。

98. スティーブ・コットン書記長代行は、代議員の発言を歓迎し、大会テーマ文書は皆のものだと述べた。また、大会テーマ文書には、目標やターゲットが示されており、各部会、委員会は、4年間でこれらを実施していくことを明確にしなければならないと述べた。

99. 大会テーマ文書は採択された。

資格審査委員会の報告

100. 資格審査委員会のアギス・テレンティス議長 (PNO、ギリシャ) が、8月11日に開催された資格審査委員会の報告書を紹介し、20組織以外の大会参加資格が確認されたことを報告した。また、この20組織は、大会中に必要な手続きを完了するまで、オブザーバー資格で参加すると説明した。112か国の378組織 (そのうち13組織は代理参加) から代議員594人、アドバイザー610人が参加し、総投票数は4,114票であることを報告した。また、93人の女性代議員、155人の女性アドバイザーが参加しており、女性代議員数に関する勧告に従っていない組織は8組織だけだったこと、77人の青年代議員、162人の青年アドバイザーが参加しており、青年代議員数に関する勧告に従っていない組織は29組織だけだったことを報告した。さらに、書記長選挙候補者の被推薦者は1名だけだったことも報告した。

101. 報告書は採択された。

決議委員会の報告

102. 決議委員会議長のマーク・ディキンソン議長 (NI、英国) が、8月11日の決議委員会の報告書を紹介し、部会総会に付託される決議について説明した。第1号、第2号、第3号緊急動議は、緊急性が認められ、民間航空部会

「全ての組合は、その規模に関わらず、闘う意思を持ち、勝利の形をしっかりと認識するべきだ」

放、2012年にモロッコの組合指導者のサイド・エル・ハイレヒの解放を実現したことに触れ、ITF書記長を務めたことを誇りに思うと述べた。

106. 全体会議を一旦終了し、部会総会の後、再開することとした。

総会に付託されることになったと述べた。

103. 報告書は採択された。

前ITF書記長の挨拶

104. デビッド・コックロフト前書記長は、1985年にITFで勤務を開始して以来、ITFはより強く、より民主的で、よりグローバルな組織になった、スティーブ・コットン書記長代行やパディー・クラムリン会長等、共に活動した素晴らしい人々のおかげで、ITFをより強く、ダイナミックな組織にすることができたと述べた。

105. デビッド・コックロフト前書記長は、共に活動した多くの仲間たち（初のアジア出身の会長、全インド鉄道員連盟の故ウマルオマル・プロヒット等）に想いを寄せ、ITFの運動はこれまで以上に活発になっていると述べた。また、FOCキャンペーンやIBF交渉は独特な存在であり、力強いITF港湾部会があってこそ可能となっていると述べ、世界の港湾組合の相互連帯や協力は、グローバル・サプライチェーンに関しても、組合運動が有効であることを示していると指摘した。さらに、ITFが勝利を収めた重要な二つの闘い—1998年のオーストラリア海事組合（MUA）とパトリック・ステベドア社との争議および2002年に米国西海岸で発生した国際港湾倉庫組合（ILWU）に対するロックアウトを振り返った。また、欧州運輸労連（ETF）の創設に成功し、その規約がITFに言及していることに触れ、本大会で、ITF規約のETFへの言及が承認されることへの期待を表明した。最後に、2011年にイランの組合指導者のマンスール・オサンルーの解

大会の迅速な運営を確保するために動き回るITFの職員とボランティアスタッフ



107. マーク・ディキンソン（ノーチラス・インターナショナル、英国）が第2回決議委員会報告書を紹介し、追加の緊急動議に関する情報を提供した。決議委員会の付託事項に基づき、決議委員会の最終会合の後に発生した1件の緊急案件—アルゼンチンのスト権—について検討し、第1号動議の第16項にアルゼンチンを加えることで合意した。また、9つのアルゼンチンの加盟組織がこの緊急動議を支持していることを確認した。さらに、大会直前に開催された執行委員会で、決議委員会の任務を拡大させ、決議に関する手続きの見直しや、最善慣行の検討、執行委員会への勧告、大会で採択された活動計画の実施の支援を決議委員会の付託事項に盛り込ませることが承認されたことを報告した。

していないし、ソウルではストを打った鉄道労働者が治安部隊から容赦ない抑圧を受けている。クオアチアではストの間も鉄道の9割を運行し続けなければならなくなっている。欧州では第4の鉄道改革一括法案により、最低限のサービス維持要件を設けようとしている。RMTがロンドンの地下鉄でストを実施した際、スト実施に職場の労働者の半数の同意を必要とする、より厳格な法律の制定をロンドン市長が求めるに至った。そのような基準は、政治の世界に当てはめたら、だれも選出され得ないような厳しい水準だ。新自由主義政策では、組合やストがなければ経済は必ず成長するとされているが、それどころか、団体交渉がなければ、貧富の差はますます悪化する。メイヤーは、スト権なくして団体交渉をするなら、それは団体物乞いであり、それ以上の何物でもないと言った。スト権を守る戦いに協力するよう、組合に訴えた。

第1号動議

人権と労働組合権

108. ACV（ベルギー）の組合員でILO労働者グループの議長、ルス・コルテベックが動議を紹介し、労働者の権利は守られるべきであり、団結権は基本的なものだと述べた。争議権は世界的に認識され、ILO87号条約に規定されている。2012年以降、使用者が争議権は条約によって規定されていないため、各国が国内法でこれを規定しなければならぬはずだと主張し、争議権を攻撃している。使用者は世界的な危機を利用し、世界中で労働組合の弱体化を図っている。2012年以降、ILO労働者グループは使用者側のこの見解に異議を申し立て、解決を見出そうとしてきた。使用者は意図的にILOをないがしろにしようとする姿勢を見せており、そのようなことを許してはならない。ILOは唯一、労働者が意見を述べるのできる国際組織である。今年11月にILO理事会の過半数の賛同が必要になるため、ITUC参加組合は各国政府が正しい結論に達するよう、奨励してほしい。
109. 同動議を提案するにあたり、英国ユニオン労働者のマーティン・メイヤーは、世界中の交運労働者が攻撃を受けていると語った。争議権はニューヨークの公共交通で働く労働者には事実上存在
110. 友愛（アルゼンチン）のフリオ・ソーサが動議を支持した。中南米、特にアルゼンチンの組合は新自由主義政策を信奉する政府と多くの問題を抱え、民営化やレイオフと闘ってきた。地球上どこでも労働者の権利が制限されるべきではないとして、ソーサは全ての国際機関で労働者の権利を擁護するよう、ITFに求めた。
111. 全インド鉄道員連盟のシバ・ゴパル・ミシュラは、インドや他の国でも、団体交渉を持つことが困難になってきていると述べ、ITFと全ての国際産別に労働者や組合権への攻撃と闘うための国際的なキャンペーンを1~2年間展開するべきだと要請した。
112. NFIR（インド）のM・ラガヴァイヤーは、結社の自由やその他の権利に関するILO条約を無視している政府は多く、独占状況により否定されていると述べた。1月にNFIRがストを実施すると警告した際、使用者は交渉のテーブルにやっと就き、交渉は一部成功した。
113. JR総連（日本）の榎本一夫が、ITFは絶えず民主主義の擁護と交運労働者の自由のために立ち上がってきたと加盟組合は確信していると述べた。組合員が過激派、反社会的勢力などと

して不当な攻撃を受けることがあり、JR総連もまた、7名の組合活動家が強要罪に問われ、逮捕された2002年に政府や政府に与する者のネガティブキャンペーンに遭った。榎本は攻撃を受けている組合に連帯を差し伸べることを全加盟組合に要請した。

114. JR連合（日本）の前田庸之がJR総連の発言に異議を唱え、JR総連が既に法廷闘争に負けており、控訴審でも負けていると述べた。

115. CGT（フランス）のリチャード・ジョーベルトは、使用者があの手この手で団体交渉を避けようとしている場合、時に現場の闘いを克服し、その先に行くことは困難であると述べた。全ての組合が一貫性をもち、強力かつ一貫した主張を使用者に対してしていく必要がある。

116. SZH（クロアチア）のカリーナ・ミンダムは労働組合権とILOの力は明確だと述べ、SZHは動議を支持した。今週だけでも300名の鉄道労働者が解雇されたが、うち30名はクロアチアの法律によって守られている労働者の代表である。SZHは法廷やILOでの労働組合を潰そうとする試みとは闘っていく用意がある。

117. KRWU（韓国）のジョンギン・キムは、韓国には新しい法律ができ、労働者の権利が最小限に縮小されたことを報告した。例えば、最低限のサービスが確保されない場合、使用者は外から労働者を連れてくるのが要件となった。キムはITFに支援を求めた。

118. FSC-CCOO（スペイン）のホワン・マヌエル・トゥルジロは、スペイン政府に書簡を送り、40年以上をかけて勝ち取ってきた労働組合の自由を抑圧しないように求めて欲しいとITFに要請した。スペインの労働組合では今、300人の仲間が迫害され、31名が刑を言い渡されている。保守政権により、スペインの労働運動は何年も後退してしまった。

119. SMC-UGT（スペイン）のエデユワルド・ヘルナンデスは、抑圧されているのはスト権だけではない、仲間が実際に投獄されていると述べ、ITFに行動を起こすことを求めた。

120. 動議は修正の上、採択された。

第2号動議

安全で衛生的な職場環境を含む基本的な組合権および民主主義的権利の尊重と遵守の実践をスワジランド政府に求める

121. STAWU（スワジランド）のシマンガ・シヨンゲが動議を提案し、スワジランド政府が労働者やスト権をいかに攻撃しているかを語った。また、地域レベル、世界レベルで人権を擁護し、安全を確保し、環境問題に目を向けるよう、スワジランドに求めることを大会に要請した。シヨンゲはまた強力な代表団をスワジランドに送ってくれたことについて、ITFに謝辞を述べた。代表団のおかげでバジル・スワラは釈放された。

122. SATAWU（南ア）のゼンゾー・マラングが動議を支持した。マラングは、労働組合の活動家を逮捕したり、殺害したりしているスワジランド政府を真に動かすためには、より強い文言の決議を期待していたと述べ、動議の最後の段落と要点を支持すると述べた。

123. 動議は採択された。

第3号動議

チリにおける結社の自由、団体交渉、企業間組合

124. FENASICOCH（チリ）のホセ・サントヴァルは、組合が1966年に結成された際、ストも団体交渉もできなかったが、今現在の民主主義の世でも、使用者がストや団体交渉が経済発展を阻害すると主張しているため、労働組合法で依然としてこれらの権利が否定されていると述べた。現行法では会社が労働者グループ全体ではなく、工場ごとに個別の労働契約を結ぶことができるようになってきているため、2012年にFENASICOCHはこのことをILOに提訴した。労働者がストや団体協約を望めば、次の日にこれを望まない者に置き換えられてしまう。サントヴァルはチリ政

府に新法を制定するよう要請して欲しいとITFに支援を求めた。

125. 動議を支持し、STCLA（チリ）のアーレット・ゲイ・シフェリがチリの法律は異常で、交渉の第二段階に入らないとストが許されないとして述べた。未組織労働者は組合が交渉によって得た条件を自動的に受けるため、組合は毎回ゼロからスタートしなければならない。シフェリもITFからの支援を求めた。

126. 動議は採択された。

第4号動議

ベネズエラ・ボリバル共和国の交通労働者との連帯

127. FBTTT（ベネズエラ）のホセ・ローザルが動議を提案し、ベネズエラへの外国の干渉を組合が断固拒否することが重要だと述べた。労働者に影響を及ぼす決定は、多数者である労働者自身が行うべきだ。新自由主義以外の選択肢があることをベネズエラは示してきたが、国内外にこれに賛同しない者がいる。

128. SNTT（コロンビア）のセテファン・バルボザ・パレンシアが動議を支持し、ベネズエラは最近、変革を遂げ、これが万民に恩恵を与えたが、ベネズエラ政府は国内の寡頭制支配者から激しく批判されているとコメントした。パレンシアは、ベネズエラのこれまでの進歩を支援し、国内外からの脅威に抗議するようITFに要請した。

129. SITRASERMAP（パナマ）のルイス・フルートが、労働組合は一つに団結した中南米の構築を目指して頑張ると述べた。

130. SGTM（ホンジュラス）のピクター・クレスポは、労働運動の出身者がベネズエラの指導者になり、労働者階級を守るために努力していることを誇りに思うべきだと述べた。他の国でベネズエラに倣うべきであり、交運労働者は一つに団結するべきだ。

131. 動議は採択された。

第5号動議

キューバ国民への連帯

132. RMT (英国) のピーター・ピンキーが動議を提案し、この動議は労働者を攻撃するものではなく、キューバ政府を批判する政府を非難するものだと言った。キューバは識字率も高く、乳児死亡率は低い。人権侵害の面で非難されてきたが、労働組合活動家が行方不明になったり、殺害されたりするケースはない。米国以外、キューバに経済制裁を加えている国はない。RMTはキューバの労働者と親交があることを誇りに思っている。

133. ATM (メキシコ) のベニート・バーニエー・ロメが動議を支持し、メキシコの交運労働者はキューバの交運労働者の権利を支援する、キューバへの経済封鎖を終わらせようとITFが続けてきた活動を称えたいと言った。メキシコの組合は、世界中の何百人もの仲間とともに、「キューバの4人組」の自由を要求する。

134. 動議は採択された。

第9号動議

世界平和

135. RMT (英国) のピーター・ピンキーが動議を提案し、英国で第一次世界大戦の開戦が祝われていることを非難し、終戦を祝われるべきだと述べた。戦争によって被害を受けるのは貧しき者であり、戦争が過激主義を生むため、RMTはあらゆる戦争を糾弾する。我々が闘うべき唯一の戦争は対貧困、対不公正、対資本主義の戦争である。

136. 動議は会場から支持され、採択された。

第10号動議

特に航空部門における反労組の湾岸諸国に対する国際キャンペーン

137. LCCA (レバノン) のジョージ・ターキーが動議を提案し、カタル航空とガルフ航空における権利侵害、特に女性の権利侵害

に反対する動議に対する支援を要請した。これらの企業は、労働者の権利を犠牲にしながら、成長を遂げている。

138. FNCT (チュニジア) のカルソム・バルカラが、ペルシャ湾岸諸国の労働者は搾取され、労働組合の権利も保障されていないとして、この動議を支持した。女性労働者は虐待され、性的嫌がらせを受けているばかりか、自宅を捜索されることもある。

139. 動議は採択された。

第11号動議

女性に対する暴力

140. FNV (オランダ) のブリジッタ・パスは、執行委員会の全面的な支援を受けながら、ITF女性委員会はILOや国連と協力しながら、女性に対する暴力撤廃にコミットする加盟組合を支援する、世界規模の強力な取り組みを行っていくことを決意していると述べ、この動議を提案した。また、この世界規模の取り組みは何百万人もの女性交通運輸労働者の生活を変える可能性を秘めており、今後4年間の優先活動となるだろうと言った。さらに、本大会のサイド・イベントで、男性の組合活動家らが女性に対する暴力と闘うことを約束したと報告した。そして、ミック・ドーマンを紹介し、全ての男性参加者が同様の取り組みを行うように要請した。

141. MUA (オーストラリア) のミック・ドーマンは、バングラデシュでは女性に対するアシッド・アタック(酸・塩酸・硝酸など劇物としての酸を女性の顔などにかけて火傷を負わせる行為)が年間8千件にも及んでおり、オーストラリアでは毎週、1人の女性が殺害されており、世界の3分の1の女性が暴力に苦しんでいると報告した。また、このような状況を終わらせる決意を持っている男性がいることを指摘すると同時に、加害者は男性であるのだから、これは男性の問題だと述べた。ドーマンの要請により、会場の男性全員が起立し、女性に対する暴力撤廃への取り組みを誓うとともに、2013年に夫に殺害されたオーストラリアのジュニー・ダウウェル製造労組(AMWU)書記長を追悼した。

142. UNIFOR (カナダ) のラナ・ペインが、この動議は労働組合運動の真の価値に関するものであると述べ、動議を支持した。女性に対する暴力の問題は、平等の問題であり、組合が沈黙しているわけにはいかない。平等や正義のための一歩は、女性に対する暴力撤廃への一歩となる。

143. ATM (メキシコ) のアルマ・テレサ・ゴンザレス・アヴィレは、メキシコでは毎日6人の女性が死亡しており、犯人が法の裁きを受けないで終わるという点において、メキシコは世界最悪の国であると述べた。また、平等なくして、組合の権利など存在せず、各国政府に対して、暴力をなくし、女性を守る義務を果たすよう、強く要請すべきだと述べた。さらに、ATMのメキシコ政府に対する陳情への支持を要請した。

144. NUSI (インド) のアブドゥラ・セラン・ガニは、NUSIが7月に規約を改正し、100年の組合史上初めて、女性委員会を設立したことを報告した。また、女性委員会を持たない組合は、同様の機構を設立するよう、全ての男性参加者に要請した。

145. インドネシア鉄道労組(IRWU)のヘイティ・アリアティは、暴力の報復を恐れることなく、女性の権利のために声を上げる女性指導者を増やすために、IRWUは女性が職場で活躍するための訓練をしていると報告した。

146. PSUP (パキスタン) のアダム・パンジュリは、全ての宗教が女性の権利を保障しており、妻に対する暴力は娘、姉妹、母親に対する暴力と同じであると述べた。

147. NURTW (ナイジェリア) のマリアン・ジュマイ・ベロ・ヤシンは、女性は男性と平等であり、同等の権利を与えられるべきであり、女性が男性より優れている場合は、女性を地位に就かせるべきであると述べた。

148. 動議は採択された。

決議委員会からの動議：パレスチナ

149. パディー・クラムリン会長が、本動議は決議委員会が提案する3つの動議を合わせたものである

と説明し、執行委員会も支持していることを報告した。この動議は、二つの重要部分から構成されており、一つは、ガザの紛争の影響を受けている交通運輸労働者に対して、実質的かつ建設的な支援が求められているため、ITFの人道支援に引き続き協力するよう加盟組合に要請する部分である。MUAは2万ドルの寄付を行うことを発表した。もう一つは、恒久平和の必要性を訴える部分であり、最近、ITUCで採択された決議の文言を意図的に使っている。

150. GUTW (パレスチナ) のナセル・ヨウニスが、70年間も続くパレスチナ人の苦しみについて語った。パレスチナの領土は小さいが、苦しみは大きい。タクシー運転手は、占領地を50キロ進むのに4時間以上かかる。トラック運転手は検問所で何時間も足止めされるが、その分の賃金は支払われない。分離壁によって、家族はバラバラになり、家は破壊され、失業率は65%を超える。労働者は1日14時間も働いているが、トラック運転手は極貧生活を送っている。ガザでは、救援部隊が未だにガレキに埋もれた遺体を発見している。被害者は隣国の病院に収容されたまま。4カ月前、ITFの寛大な寄付を受け、ガザに組合本部を再建することができたが、最近の攻撃で破壊された。いつの日か、自由で独立したパレスチナ国家の首都、イスラエルで、ITFの世界大会が開催されることを願っている。RMTの故ボブ・クロー前書記長にこの報告を捧げる。

151. UMT (モロッコ) のサイド・エル・ハイレヒは、これまでに1,962人以上の民間人がイスラエルの攻撃で死亡し、民家やビルが破壊されていると語った。入植地の建設は阻止すべきであり、既にあるものは撤去すべきである。分離壁も撤去すべきだ。平和の唯一の道は、占領を終わらせることだ。ITFの支援に感謝する。世界中の自由で独立した組合が、パレスチナ人に連帯し、ガザの再建を支援し、入植地建設に関与する全ての企業の製品をボイコットすることを要請する。

152. CC.OO (スペイン) のファティマ・アグアド・ケイボは、組合は社会正義と人道を擁護する義

務があり、ガザの人々が塀のない刑務所で生活している状況を黙認するわけにはいかないと述べた。ITFの青年労働者会議がアンマンで開催された時、ガザが爆撃され、憎しみが増幅していることを聞き、恥ずかしく思った。全ての組合ができることは、国際法や国連決議の遵守と違法入植地関連のボイコットを支援することだ。

153. Ver.di (ドイツ) のクリスティン・ベレは、意見の相違はあるが、ここに集う全ての人々が合意できるのは、戦争は答えではなく、民間人に対する暴力は常に許されないとということだと述べた。また、この地域には持続的な平和が必要であり、ITFファミリーは行動を取り、この動議を支持すべきであると述べた。

154. NTF (ノルウェー) のロイ・エイナー・ニルセンは、2013年にパレスチナを訪問した後、ノルウェーにおける尊重、多様性、人間の尊厳に対する価値観を再評価したと述べた。また、動議が入植地関連のボイコットに触れていない点について、落胆を表明しつつも、動議を支持した。

155. GUDS (リビア) のロイ・エイナー・ニルセンは、ガザで殺害された民間人の三分の一が子供であると述べた。また、南アフリカのボイコットの例を挙げながら、ITF主導によるイスラエル製品およびイスラエルと取引する企業に対するボイコットを動議に盛り込むことを要請した。

156. パディ・クラムリン会長は、規約により、現段階で動議の修正を求めることはできない点を強調した。

157. IE (ノルウェー) のジョニー・ハヴィクは、国際労働組合運動は平和的なものであると述べ、7月20日に、子供たちが眠っている民家が爆撃されたことを非難するとともに、民間人の大量殺戮と国連の収容施設に対する爆撃を戦争犯罪として捜査、追及することを要請した。また、最も重要なのは、ガザの封鎖を解除することだと述べた。

158. ATM (メキシコ) のベニート・バヘナ・ロメは、「蛇を産む母親を殺すべきだ」というイスラエル首相のパレスチナ人に関する恥ず

べき発言を非難してきてほしいとメキシコの労働者から頼まれて来たことと述べた。

159. CGT (フランス) のリチャード・ジョーパートは、戦争が続き、和平協議の再開が繰り返されることは許されないとCGTは主張してきたと述べた。組合は戦争の終結を要求すべきだ。組合間の意見の相違は忘れ、ITFと加盟組合が共に平和のために尽くすべきだ。

160. SATAWU (南アフリカ) のジューン・ドゥベは、殺戮、特に女性や子供の殺戮は非難されるべきであると述べた。

161. GUPW (ヨルダン) のモハメド・マテレは、ガザの人々は自由を求めたために投獄されていると述べた。負傷者はヨルダンの病院に収容されているが、その傷は見たことがないほど深刻だ。ITFと加盟組合はイスラエル製品をボイコットすべきである。これは政治問題ではなく、人道問題だ。世界の共感を呼ぶだろう。

162. PSUP (パキスタン) のアダム・パンジュリは、国連が占領地の人々に対するテロ行為を非難する決議を採択していないことについて、恥を知るべきだと述べた。また、違法な占領を終わらせることを要求した。

163. パディー・クラムリン会長は、各代議員がパレスチナへの物質的支援のコミットメントを組合からとりつけなければならないと述べ、議論をまとめた。また、本大会で確認された強力な支援を伝え、本動議の主旨に沿った行動計画を実施するために、執行委員会の代表団をできるだけ早くガザに派遣すべきだと述べた。

164. 動議は全会一致で採択された。

第12号動議

青年労働者の活動

165. CC.OO (Spain) のファティマ・アグアド・ケイボは、青年全員を壇上に招き、拍手で迎えた。団体交渉や労働組合の権利が攻撃されており、ITFに青年委員会が設立されてから4年が経過し、ITF本部に青年担当専従者

が必要なことが明らかになったと述べ、本動議を提案した。加盟組合からのITFへの出向者2名が、専従者が何ができるかを証明しており、彼らの活躍によって、青年ネットワークは三倍に拡大したと述べた。SOS (シンガポール) のシャロン・リーが本動議を支持した。

166. Ver.di(ドイツ)のヴェラ・ヴィサーが、この動議は非常に重要であり、青年のモチベーションが上がると述べた。

167. Ver.di(ドイツ)のクリスティン・ベレは、青年組合活動家の困難について触れ、彼らがITFの支援をすぐに必要としていると述べた。

168. 動議は採択された。

171. BCFMWU(カナダ)のクリス・アボットは、ブリティッシュ・コロンビアのフェリーが民営化され、サービスの削減や運賃の値上げによって、コミュニティは崩壊しつつあると報告した。交通は公共のためのものであって、利益を追求する企業のためのものではない。FAGFORBUNDET(ノルウェー)のアズビヨン・ウォールは、この野心的なキャンペーンは公共交通を拡充させるためのものであるが、気候変動を防ぐためにもこのキャンペーン必要であると述べた。未組織労働者の組織化が重要であり、非正規労働者の問題が大きな課題だと指摘した。

172. 動議は採択された。

ことも多く、組合運動を弱体化している」と述べた。

176. CC.OO(スペイン)のファティマ・アグアド・ケイポは、スペインの労働組合は、カナダと交渉中の自由貿易協定と同時に、TTIPに反対すべきであると述べた。これらの自由貿易協定は、欧州の社会福祉制度を破壊し、交通運輸だけでなく、あらゆる公共サービスを民営化しようとするものである。欧州は保護と投資を必要としているが、TTIPは労働者を搾取し、法を悪用するものである。組合はこれらの動きを阻止するために、共闘すべきである。

177. 動議は採択された。

第28号動議

「私たちの公共交通」キャンペーンの促進

169. ATU(米国)のエド・ワットは、全ての組合が民営化や規制緩和と闘うべきであると述べ、質の高い公共交通の利点について説明した。公共交通の一つのユニットに対する投資は、4つのユニットにおける経済的利益-排出量および化石燃料消費量の削減、環境に優しい、質の高い雇用の創出-を生み出す。公衆衛生上の利益-都市部における呼吸器系疾患の削減、肥満の減少、渋滞緩和を通じたストレスの軽減-もある。公平性や社会正義の向上や、家計の節約にもつながる。公共サービスの削減や運賃値上げに反対し、組合員の雇用確保や組合の力を強化するために、市民団体と連携する必要がある。ATUは、乗客の理解を得、組合の力をつけるための研修を開発するとともに、ファクトシートを作成した。他の組合にも活用してほしい。

170. CGT(フランス)のアラン・スツールが本動議を支持した。渋滞が深刻な都市部の大多数の住民にとっては、公営の効率の良い公共交通が解決策であることは証明されている。地方自治体の支出削減にもつながる。今日の英国の鉄道の費用は、国営時代の4倍以上だ。「私たちの公共交通」キャンペーンを展開する必要がある。

第2号緊急動議

環太平洋貿易投資パートナーシップ(TTIP)

173. 決議委員会のマーク・ディキンソン議長が、本動議は提案者の協力を得ながら修正し、修文は決議委員会の合意を得ていることを説明した。

174. STF(スウェーデン)のラース・リングレンは、WTOのドーハラウンドの行き詰まりから、欧州と米国が環太平洋貿易投資パートナーシップ(TTIP)を推進していると説明した。組合は、TTIPが雇用機会を創出すると説明されているが、真実ではなさそうだ。TTIPは、紛争解決メカニズムを有する労働法に悪影響を及ぼすことは明らかであり、多国籍企業が利益の損失に関して国を訴える権利を持つことになるだろう。フィリップモリスがオーストラリアを訴えた件は、これらが実際にどのように行われるかを示している。本動議は、国家と投資家の間の紛争解決メカニズム(ISDS)をTTIPから除外することや、ILOの国際基準をTTIPに盛り込ませることを求めている。

175. SEKO(スウェーデン)のヴァレ・カールソンは、残念ながらスウェーデンは欧州の中でも最も民営化や規制緩和を推進している国であり、EUの法規を上回る民営化・規制緩和が行われてい

第3号緊急動議

バルチャー・ファンド(ハゲタカ・ファンド)

178. 本動議は、SOMU(アルゼンチン)のエンリク・オマール・スアレが本動議を提案した。アルゼンチンの交通運輸労働者は何十年にも及ぶ軍事政権下で弾圧を受けてきた。将来の世代は、非民主的政権が蓄積した債務により、発展の見込みのない経済を押し付けられている。ヘッジ・ファンドはこれらの債権を底値で購入し、それらを額面価格で買い取らせ、巨額の利益を得ようとしている。アルゼンチンは既に債務を返済しているが、米国の裁判所は、アルゼンチンから将来の発展を奪おうとしている。国民は、かつての強い港湾産業、商船隊、鉄道産業を取り戻したいと願っている。本動議は、交通運輸産業だけでなく、国全体の苦しみを代弁している。

179. UCOC(パナマ)のイヴァン・ドゥ・ラ・ガルディアは、本動議を支持し、これらのファンドが及ぼすリスクや危険性はよく分かる」とし、外国の裁判所がある国を永久に貧困に貶める判決を下すことは許されないと述べた。また、労働組合は、バルチャー・ファンドが今後、別の国を攻撃する可能性があることを認識し、共同で戦略を立てる必要があると述べた。

180. FBTTT (ベネズエラ) のホセ・ロザルは、ベネズエラ政府は、外国政府の強引な介入政策に反対の声を上げていると述べ、このようなことは、他国にいつでも起こり得ると主張した。
181. FNTTAA (ブラジル) は、モザンビークとアンゴラの組合に代って、本動議の支持を表明した。アルゼンチンで起きていることを他国で許すわけにはいかないと述べた。
182. CONTTMAF (ブラジル) のセヴェリノ・アルメイダ・フィロは、何十年にもわたり累積されてきた国家の債務を罪とみなすべきではなく、労働組合はこのような考え方を是正する義務があると述べた。
183. 動議は採択された。

規約改正動議

184. パディ・クラムリン会長が、執行委員会が提案する規約改正案を紹介した。会長は、規約の重要性を強調し、改正は慎重に、かつ透明性を確保しながら行う必要があると述べた。

規約改正動議A：現行の慣行の反映

185. パディ・クラムリン会長は、本動議は文言の整理に過ぎないと説明した。
186. 動議は採択された。

動議B：執行委員会と運営委員会の強化

187. パディ・クラムリン会長は、本動議は重要な規約改正を意味することを強調した。執行委員会自身は、自身の役割について真剣に検討した結果、より幅広く、包括的に代表することの必要性について合意した。本動議は、産別部会議長、女性委員会議長、青年委員会議長に執行委員会の議席を付与し、それぞれの利益だけでなく、ITF全体の利益のために責任を果たしてもらうことを目的としている。産別部会、地域は、組織化やキャンペーンに

関して、所属組合に対して責任を負うが、産別部会議長は、書記局をリードする政治的責任を負う。

188. ACAV (コロンビア) のマリア・クリスティーナ・カダヴィッドは、地域の参加を保障するために、ITFの全ての意思決定機関および委員会の代表者のバランスを確保するための措置が必要だと述べた。
189. パディ・クラムリン会長がこれに賛同し、現行規約には空白があり、地域の議長選出と執行委員会の議席との関連性をもたせる必要があると述べた。また、本件はかつて議論したことがあつたので、次回大会までに執行委員会で議論することとしたいと述べた。
190. 動議は採択された。

規約改正動議C：副会長

191. パディ・クラムリン会長は、第42回世界大会の会長選挙で激しい議論が行われたが、その際、各地域が一体となって投票すべきだという、好ましくない認識が存在することが分かったと述べ、会長と出身地域に対して責任を負う副会長とを兼務させることは大きな矛盾が生じると指摘した。また、本動議は、会長がITFの全地域、全部会の責任を果たすことができるよう、当該地域の副会長1名を追加する主旨であると説明した。

192. CONTTMAF (ブラジル) のセヴェリノ・アルメイダ・フィロは、加盟組合が団結した強力な連盟であるITFに対する会長のコミットメントを歓迎した。

193. 動議は採択された。

規約改正動議D：欧州運輸労連(ETF)

194. パディ・クラムリン会長は、ETFは重要な組織で、多額の加盟費をITFに納めていると述べた。また、ITFが加盟組織で構成されていることを強調した。

195. 動議は採択された。

規約改正動議E：加盟費問題プロセスの改善作業を支援する

196. パディ・クラムリンは、加盟費の支払いと減額措置の付与に関して、透明性が確保されなければならないとし、これに関して、執行委員会が指針を必要としていると述べた。

197. 動議は採択された。

規約改正動議F：世界大会における女性の利益代表の増加

198. パディ・クラムリン会長が、本動議は2014年4月の執行委員会提案した緊急動議であり、大会の女性代議員をどのように確保するかに関して、激しい、前向きな議論が行われたことを説明した。クラムリンは、女性参加者が認識されるように、全女性参加者を議場前方に招いた。

199. AAA (アルゼンチン) のアリシア・カストロは本動議を提案し、本大会全体を通じて女性を平等に処遇する議論が行われたことを歓迎した。本動議は、大会の女性参加者数が少ないことから発案されたが、本動議の採択によって、今後の大会で、女性がより適切に代表されるようになるだろうと述べた。

200. 動議は採択された。

書記長選挙

201. パディ・クラムリン会長が、全地域の組合から計140件の推薦があり、その全てがスティーブ・コットンを支持していたことを報告した。

202. スティーブ・コットン書記長代行が全会一致でITF書記長に選出された。

203. スティーブ・コットン書記長は大会参加者に感謝し、書記長に選出されて光栄であると述べた。また、この最高の世界大会を受け入れ、ブルガリアの組合の強化につなげたホスト組合に謝意

を表明した。開会時に上映されたビデオは、グローバルな課題やグローバルな意識の必要性を示していた。労働組合運動は、インクルーシブ（誰でも受け入れられる）であり、その本質に戻り、活動計画を実践することで、組合員にとって、よりよい世界を築くことができる。本大会は、ペーパーレスで行っており、サイドイベントも開催し、全ての人の意見を聴くことができるようにしている。加盟組合から伝わってくる喧噪、エネルギーは、加盟組合が活動計画を真に実践できる力を持っていることを意味している。ITFはユニークな組織が集うユニークな共同体だ。しかし、確かに、地域のリーダーと執行委員会の議席をもっと関連させる必要がある。ITFのスタッフは皆優秀だ。デービッド・コックロフト前書記長も、なかなか追いつくことのできない指導者だ。これまでITFで過ごしてきた21年間にいただいた支援、友情に感謝する。今、加盟組合から自身に寄せられた信頼の大きさに驚いている。我々に課せられた仕事は、ITFのために実践することだ。

204. スティーブ・コットン書記長は、インダストリアルユルキ・ライナ書記長を紹介し、国際産別組織との協力やILOの活用新たに組み込んでいくと述べた。
205. インダストリアルユルキ・ライナ書記長は、国境のないグローバルな世界において、5大陸の労働者が賃金・労働条件、職場環境、団結権を求めて闘い、勝利を収めることができると述べ、スト権に対する使用者側からの攻撃にも共に闘わなければならないと訴えた。両書記長は、人々のことを第一に考える経済・社会モデルを達成するための共闘の分野として、航空宇宙、航空、石油、交通運輸、鉱業、海事サプライチェーンを挙げた。組合は団結して、グローバル連帯の新たな時代を立ち上げるべきだと訴えた。

金バッジ

206. ITFへの貢献を称える金バッジが11人に授与された。DWU（ケニヤ）のスザン・アヨイ、AAA（アルゼンチン）のアリシア・カス

トロ、ITFのデービッド・コックロフト前書記長、RMT（英国）の故ボブ・クロウ、Ver.di（ドイツ）のステファン・ヘインリッヒ、NI（オランダ）のヒルケ・ヒルケマ、UNITE（英国）のマーチン・メイヤー、UNIFOR（カナダ）のグレッグ・マイルス、VERDI（ドイツ）の故バーバラ・ラスマン、SMC-UGT（スペイン）のアンパロ・サンチェスの11人である。

207. 前回大会以降、本大会までの金バッジ授与者は、UNITE（英国）のグラハム・スティープソン、VIDA（オーストリア）のウィリ・ハベルツェル、SATAWU（南アフリカ）のジェーン・バレット、IAM（米国）のロバート・ローチ（以上、2012年に授与）である。サービス連合（日本）の大木哲也には2014年初頭に授与した。

部会総会の報告

208. SIU（米国）のデーブ・ヘンデルが船員部会総会の報告書を紹介した。報告書は採択された。
209. CC.OO（スペイン）のエンリク・カルモナが民間航空部会総会の報告書を紹介した。報告書は採択された。
210. ILWU（米国）のレイ・ファミラーセが港湾部会総会の報告書を紹介した。報告書は採択された。
211. サービス連合（日本）の後藤常康が観光部会総会の報告書を紹介した。報告書は採択された。
212. NSU（ノルウェー）のレナ・ダイリンが 船員港湾合同総会の報告書を紹介した。報告書は採択された。
213. FAGFORBUNDET（ノルウェー）のアズビヨン・ウォールが都市交通委員会の報告書を紹介した。報告書は採択された。

214. UNITE（英国）のマーチン・メイヤーが路面運輸部会総会の報告書を紹介した。報告書は採択された。また、新議長のトニー・シェルダンを紹介した。
215. NLF（ノルウェー）のオイステン・アスラクセンが鉄道部会総会の報告書を紹介した。

216. SZH（クロアチア）のカタリーナ・ミンダムが、解雇された鉄道労働者300人のためのSZHの支援闘争について、支援を要請した（第1号動議に関する議論を参照のこと）。パディ・クラムリンが、書記局が現状に対する大会の見解を強く表明する声明文を作成すると回答した。報告書は採択された。
217. UNITE（英国）のダイアナ・ホルランドが女性総会の報告書を紹介した。報告書は採択された。
218. NI（スイス）のニック・ブラムレーが内陸水運部会総会の報告書を紹介した。報告書は採択された。
219. NSU（ノルウェー）のジョニー・ハンセンが 水産部会総会の報告書を紹介した。報告書は採択された。
220. UNIFOR（カナダ）のトラビス・ハリソンが青年総会の報告書を紹介した。報告書は採択された。また、新共同議長のシャロン・リー（SOS、シンガポール）を紹介した。

財務諸表と監査報告（2010～2013年）

221. スティーブ・コットン書記長が、内部監査人が提案する財務諸表と監査報告書について説明した。
222. ASLEF（英国）のサイモン・ウェラーが、構造的な欠陥に関する、財政見直しグループの勧告が実施されていることを嬉しく思うと述べた。また、独立的な検証グループの設立や、財政計画に関して、より透明性の確保された、制度的なアプローチがとられるようになったことを歓迎した。
223. 財務諸表と監査報告書は承認された。

加盟費

224. パディ・クラムリン会長が、加盟費値上げの上限を2015年が£1.55、2016年が£1.60、2017年が£1.65、2018年が£1.70とする勧告を含む報告書を提案した。

225. 航空連合（日本）の松岡宏治がこれらの値上げに反対したが、ITFがコスト削減に一層努力し、福利基金への依存度を減らすならば、勧告を支持すると述べた。

226. パディ・クラムリンは、加盟組合はITFの加盟人員戦略に責任を持って、貢献してきた、このことは、引き続き行われるだろうと述べた。また、大会テーマや大会決議の実施によって、加盟組合への圧力は緩和されるだろうと述べた。勧告は採択された。

加盟人員戦略

227. スティーブ・コットン書記長が、実数登録の問題を検討するために設立された運営委員会加盟問題作業グループの結論の実施を執行委員会に任せることについて、大会の承認を求めた。

228. Ver.di(ドイツ)のトーベン・シーボルトは、運営委員会加盟問題作業グループは減額措置の手続きおよび基準に関する執行委員会への勧告について作業していると報告した。

229. SUR(ロシア)のユリ・スコルコフは、減額措置を受けている組合が、加盟費完納人員ではなく、登録人員に基づいて投票権を得るならば、規約が誤って解釈されていると述べた。また、これを許せば、他の組合にとって不公平な措置となり、規約第4条が規定する平等の原則に反すると述べた。

230. パディ・クラムリン会長は、本件は正に、運営委員会加盟問題作業グループで検討されていると述べた。

231. 提案は承認された。

運営委員・執行委員、監査役、書記長、会長、副会長の選挙

会長選挙

232. MUA(オーストラリア)のパディ・クラムリン会長が再選された。

副会長選挙

233. 副会長選挙結果は次の通り。

アフリカ・アラブ: Zenzo Mahlangu (SATAWU、南アフリカ)
アジア・太平洋: CA Rajasridhar (AIRF、インド)
欧州: Lars Lindgren (STF、スウェーデン)
中南米・カリブ: Julio Sosa (友愛、アルゼンチン)
北米: John Baker (ILA、米国)
女性: Brigitta Paas (FNV、オランダ) ※2014年-2016年
Ekaterina Yordanova (FTTUB、ブルガリア) ※2016年-2018年

執行委員選挙

234. 執行委員選挙の結果は次の通り。

アフリカ・アラブ
Zenzo Mahlangu (SATAWU、南アフリカ)
Marcel Zante (FSTATB、ブルキナファソ)
Said El-Hairech (UMT、モロッコ)
Najeem Usman Yasin Alhaji (NURT、ナイジェリア)
Dorothy Nandera (ATGWU、ウガンダ)

アジア・太平洋
Paddy Crumlin (MUA、オーストラリア)
CA Rajasridhar (AIRF、インド)
Hanafi Rustandi (KPI、インドネシア)
森田保己(全日本海員組合、日本)
藤井一也(私鉄総連、日本)
Kyeong Doo Yeom (FKSU、韓国)
Conrad Oca (AMOSUP、フィリピン)
Mary Liew (SMOU、シンガポール)
Leslie Devendra (SLNSS、スリランカ)

欧州
Lars Lindgren (STF、スウェーデン)
Brigitta Paas (FNV、オランダ)

Ekaterina Yordanova (FTTUB、ブルガリア)

Roman Hebenstreit (VIDA、オーストリア)

Serge Piteljon (CGSP、ベルギー)

Predrag Brazzoduro (SUC、クロアチア)

Jan Villadsen (3F、デンマーク)

Kaia Vask (EMSA、エストニア)

Arto Sorvali (AKT、フィンランド)

Patrick Hurel (FEETS-FO、フランス)

Christine Behle (VERDI、ドイツ)

Alexander Kirchner (EVG、ドイツ)

Len McCluskey (UNITE、英国)

Steve Todd (RMT、英国)

Remo di Fiore (FIT-CISL、イタリア)

Igors Pavlovs (LSUMF、ラトビア)

Nikolay Nikiforov (ROSPROFZHEL、ロシア

※2014-2016年)

Yuri Sukhorukov (SUR、ロシア ※2016-2018)

Miguel Ángel Cilleros Sanchez (SMC-UGT、スペイン)

内部監査人の選出

235. 内部監査人に以下が選出された。

Andy Bain (TSSA、英国)

Mike Jess (NI、英国)

Simon Weller (ASLEF、英国)

本部所在地

237. ITF本部を引き続きロンドンに置くことが合意された。

その他

238. UMTUF (ウクライナ) の権利停止継続の執行委員会の勧告が承認された。

239. パレスチナの加盟組合、およびオーストラリア交通運輸労組 (TWU) が次回大会の受け入れを申し出た。

中南米・カリブ

Julio Sosa (La Fraternidad、アルゼンチン)

Severino Almeida Filho (CONTTMAF、ブラジル)

Arlette Gay Schifferli (STCLA、チリ)

Benito Bahena y Lome (ATM、メキシコ)

北米

John D Baker (ILA、米国)

Peter Kennedy (UNIFOR、カナダ)

Sito Pantoja (IAM、米国)

Terri Mast (ILWU、米国)

Robert Scardelletti (TCU、米国)

閉会

240. パディ・クラムリン会長が、ITFの全職員、ブルガリアのボランティアスタッフ、技術員を壇上に招き、すばらしい大会運営に感謝した。受け入れ組合のエアカテリーナ・ヨルダノバが全関係者に謝意を表明するとともに、ステイブ・コットン新書記長に祝辞を述べた。

241. パディ・クラムリンが閉会を宣言した。

部会、女性委員会、青年委員会の議長

Oliver Richardson (民間航空部会)

Paddy Crumlin (港湾部会)

Johnny Hansen (水産部会)

Nick Bramley (内陸水運部会)

Øystein Aslaksen (鉄道部会)

Tony Sheldon (路面部会)

David Heindel (船員部会)

後藤常康 (観光部会)

Diana Holland (女性委員会)

Sharon Li (青年委員会)

Travis Harrison (青年委員会、2014-2016年)

Julian Ariel Sosa Capello (青年委員会、2016-2018年)

国際運輸労連 (ITF)

第43回世界大会

大会決議

第1号決議:	人権および労働組合権	28
第2号決議:	安全で衛生的な職場環境を含む基本的な組合権および民主主義的権利の尊重と遵守の実践をスワジランド政府に求める	29
第3号決議:	チリにおける結社の自由、団体交渉、企業間組合	30
第4号決議:	ベネズエラ・ボリバル共和国の交通労働者との連帯	31
第5号決議:	キューバ国民への連帯	32
第6号決議:	アルゼンチンの経済を阻害するバルチャーファンド (ハゲタカ・ファンド) の行動を非難する	32
第7号決議:	世界平和	33
第8号決議:	パレスチナ	33
第9号決議:	環大西洋貿易投資パートナーシップ (TTIP) に関するITFの見解	34
第10号決議:	特に航空部門における反労組の湾岸諸国に対する国際キャンペーン	35
第11号決議:	ITFの「私たちの公共交通」キャンペーンの促進	36
第12号決議:	女性に対する暴力	36
第13号決議:	青年労働者の活動	37
第14号決議:	ギリシア人船員の基本的権利に対する攻撃	38
第15号決議:	船内の業務、疲労、配乗	39
第16号決議:	船員の公正な処遇	39
第17号決議:	雇用詐欺	40
第18号決議:	欧州の海運	40
第19号決議:	特にパキスタンに関する商船の危機	41
第20号決議:	チリ国際船籍	42
第21号決議:	内陸水運労働者のためのILO条約	42
第22号決議:	漁業産業	43
第23号決議:	新自由主義的鉄道政策	43
第24号決議:	メキシコシティの交通運輸と移動	44
第25号決議:	日本航空による不当解雇	45
第26号決議:	MH17後の航空の安全と保安	46
第27号決議:	マレーシア航空	46

第1号決議：
人権および労働組合権

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 国際運輸労連（ITF）は、規約上、「民主主義と自由の擁護」のために闘い、国際労働機関（ILO）の目的と理念に全面的に賛同すると謳っていることを想起し、
2. ILO条約、特に、結社の自由と団結権の保護に関する第87号条約および団結権と団体交渉権に関する第98号が、労働組合権を支持していることを認識し、
3. さらに、労働組合権は「経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約」、「市民的および政治的権利に関する国際規約」、「欧州人権条約」、「アフリカ人権憲章」、「米州人権条約」等の国際および地域の法律文書で保護されていることを認識し、
4. 労働組合権は人権であると世界人権宣言で謳われており、労働組合権の尊重は民主主義の基本的条件であると確信し、
5. 人権は、普遍的かつ不可侵、不可分の権利であり、ジェンダー、国籍、人種や皮膚の色、年齢、性的嗜好、身体障害または信念に基づく差別なしに全ての人に適用されなければならないと考え、
6. 全ての労働組合権の完全行使は、全労働者の基本的権利であるとともに、交通運輸労働者の雇用条件および福利、また、交通運輸労働者と利用者の安全の向上のための必須要件であることを確認し、
7. スト権のない団体交渉は団体で懇願するだけになりかねず、また、意義ある団体交渉の浸食は、大勢の労働者に最低限の賃金を払う一方、自分たちには最大限の富を抽出する権限を使用者に与えることとなり、民主主義自体の存続に多大な危険を及ぼすものと確信し、
8. 2014年5月の国際労働組合総連合（ITUC）の大会で発表された世界の権利指標は、この一年間で少なくとも35か国の政

府が、民主的な権利、適正な賃金、より安全な労働条件、安定雇用の要求を拒否する戦術として、労働者を逮捕、投獄したり、少なくとも9か国で、労働者を脅すための労働者の殺害や行方不明が一般的に発生していたり、少なくとも53か国で、労働条件向上のための交渉を試みた労働者が解雇されたり停職処分を受けたり、少なくとも87か国の法律や慣行によって、一定の職種労働者がスト権を奪われたりしていることを明らかにしていることを認識し、

9. ITFが交通運輸産業における人権・労働組合権の侵害を監視したところ、権利に対する攻撃は特に交通運輸労働者において深刻であり、この傾向は、資本や、より多くの収益に対する飽くなき欲求、交通運輸に従事する人々の権利よりも人や貨物の自由な移動を擁護する政府の動向と関連していることに留意し、
10. さらに、都市交通労働者を含む（ただしこれに限定されない）交通運輸労働者は、スト権の全面禁止、あるいはスト権を著しく制限する、公共業務、不可欠業務、最低業務要件によって、スト権をますます剥奪されている労働者グループの一つであることに留意し、
11. 大手企業・金融機関およびそれらに与する政府や政府機関等の政治的、組織的同調者が、メディアと共謀して、特に2007年～2008年の世界金融危機の開始以来、労働組合権を擁護・拡大するための自由かつ民主的な労働組合の取り組みを攻撃、阻止したり、いくつかのケースにおいては、労働組合の活動を「過激派」「非合法」と称して、集団的な攻撃を加えたりする国際あるいは国レベルの運動を強化していることを考慮し、
12. 世界銀行が最近発行した報告書「ビジネス環境の現状（Doing Business）」は、労働基準の切り下げは各国政府が目指すべきものという考え方に同意していることに留意し、
13. 使用者は、反労組専門の弁護士事務所やコンサルタントの活用から、労働者の代表組織を弱体化させるための御用組合や偽の組合の設立に至るまで、労働組

合権や労働組合の活動を制限するための活発な戦術をますます用いるようになっていることを認識し、

14. 主にITFが訴えられたバイキング訴訟の2007年の欧州裁判所の判決後、世界中、特に、EU域内において、労働組合権に対する司法の攻撃が増えていることに留意し、
15. 国際使用者連盟（IOE）が、結社の自由、団体交渉、ILOで長年確立しているスト権等の諸権利に対して、イデオロギーに基づく攻撃を行っていることを非難し、
16. 最近、ギリシャ、ポリビア、チリ、オーストラリア等の国で、特に公共および民間部門の交通運輸労働者のスト権を制限する国内法規が採択されたり、不当な最低業務法や不可欠業務規則が強行されたり、交渉のしくみが細分化されたり、罰金や投獄の脅しを通じて労働組合を無力化させるための口実として、労働組合に対する政府の調査機関や委員会の設立が行われていることを懸念を持って留意し、
17. イラン、韓国、トルコ、ホンジュラス、スワジランド、フィリピン等の国のITF加盟組合が、組合役員解雇、拘留、逮捕から、組合の敷地内への立ち入り、組合の所有物の押収、殴打、暴力、嫌がらせ、長期投獄、殺害にいたるまで、種々の組合活動に対する介入に直面していることを嫌悪し、
18. カタールやアラブ首長国連邦等の国で交通運輸労働者の基本的な労働組合権が完全に否定され続けていることを嘆き、
19. これらの国のITF加盟組合が抑圧に直面しながらも、勇気を持って労働組合権を擁護していることを称えらるとともに、これらの権利は我々労働組合運動における歴史的戦士の存在なしにはあり得なかったことを想起し、
20. ITFに以下を要請する。
 - ・ 交通運輸産業およびその他の産業におけるスト権を含む労働組合権の擁護を2014年～2018年のITF活動計画にしっかりと加えること。

・ 加盟組織、ITUC、他の国際産別組織（GUF）、関連NGOと協力して、普遍的かつ保障された労働組合権のための闘い、維持、促進のために活動し、交通運輸労働者の戦略的役割が労働組合権をめぐる国際活動にとって不可欠な一部であるとしかり理解されるようにすること。

・ 特に、国、使用者、世銀グループ、国際金融機関（IMF）、地域開発銀行、世界貿易機関（WTO）、国際自由貿易協定の締結国に対して、労働組合権に関する一貫した国際方針の意義ある認識・適用を要求すること。

・ 紛争中の組合や、基本的権利が脅かされたり、尊重されなかったり、使用者、政府、政府機関やその同調者が主導するネガティブキャンペーンの対象とされている組合に対して、時宜にかなった連帯や強力な支援を差し伸べることにコミットすること。

第2号決議：安全で衛生的な職場環境を含む基本的な組合権および民主主義的権利の尊重と遵守の実践をスワジランド政府に求める

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. スワジランドで絶対君主制が樹立されたことにより、スワジランド国民は世界にも類を見ない最も独裁的かつ反民主的な政権を押し付けられていることを認識する。このような形態の政府は集会を開く権利、政府への代表者を選出する権利など、国民の基本的な民主主義的権利と保護を拒否するものである。最近実施された議会選挙は国際基準を満たしていないため、国民からは相手にされていない。
2. スワジランド政府が数えきれない事例において、基本的な労働者の権利や国際労働基準を蹂躪してきたことが判明していることに留意し、
3. 合法的な組合の抗議運動が警察からの嫌がらせ、暴行、逮捕の対象となっていることに留意する。2012年7月に逮捕されたスワジランド運輸合同労組（STAWU）のバジル・スワラ法律部長は2014年2月にITFが視察団を送った後にやっと釈放された。
4. さらに、政府が労働ナショナルセンターのスワジランド労働組合会議（TUCOSWA）の登録を取り消し、労働者の結社の自由権を拒否している点に留意し、
5. 2011年のスワジランドのHIV/エイズ感染率は26%と世界でも有数の高さであり、この影響を最も受けているのは労働者、とりわけバス運転手やトラック運転手などの路面運輸労働者であることに留意し、
6. ITF、ILO、ITUC、南部アフリカ開発機構（SADC）、アフリカ連合（AU）、EU、国連、アムネスティ・インターナショナル、英連邦など複数の国際機関がスワジランドにおける人権と労働組合権の侵害について報告していることに留意し、
7. ITFがスワジランドの当局に労

働権の侵害をやめるよう求めるいくつかの決議を採択したことに留意する。例えば、2012年7月24-25日に南アフリカのダーバンで開催されたITFアフリカ路面運輸部会総会、2012年11月12-13日にカナダのトロントで開催されたITF路面部会総会、2013年9月22-27日にアジアパシフィックで開催されたITFアフリカ地域総会などで決議が採択された。

8. ITFが2014年2月にハイレベルの視察団を派遣したことが、実際にバジル・スワラの釈放につながったことを祝い、
9. 今世界大会はスワジランド政府に以下を求める：
 - ・ 合法的な組合活動に参加した組合員に対する嫌がらせをやめる。
 - ・ 団結権を含む労働者の結社の自由、団体交渉権、自由に組合の指導者を選ぶ権利を全面的に認める。さらに、政府は採択した全てのILO条約を尊重するべきだ。
 - ・ スワジランド労働組合会議（TUCOSWA）を全面的に承認し、労働ナショナルセンターの結成や運営へ政府の関与を止める。ナショナルセンターはILO基準に従って権利を享受できてしかるべきだ。
 - ・ 独立系の政党などの民主主義的な組織に自由な運営を認め、自由かつ民主主義的な選挙を実施する。
10. 今世界大会はITFに以下を求める：
 - ・ 国民の侵すことのできない基本的民主主義的権利を激しく侵害している責任をスワジランド政府に追及するため、ILO、SADC、AU、EU、国連など、地域または世界レベルの人権団体やそのほかの関係団体と連絡を取り合う。
 - ・ 劣悪な安全、衛生、環境条件に関する問題を関連の国際または地域の環境団体や安全団体に提起する。
 - ・ 基準順守が融資の条件にな

るべき場合には、安全衛生や環境基準の問題を世界銀行、アフリカ開発銀行などの機関に提起する。

この問題に関して、交運労働者の殉職をなくすという唯一の目的のために、スワジランドの交通運輸労働者とその使用者が意識を向上できるような、実際に実行可能なプログラムを作成することを検討する。

第3号決議：チリにおける結社の自由、団体交渉、企業間組合

2014年8月10～16日にソフィア(ブルガリア)で開催された第43回ITF世界大会は、

1. チリが、結社の自由と団体交渉に関するILO第87号条約および98号条約を1989年2月1日に批准していながら、これらを遵守していないことに留意する。これは、交通運輸労働者を含む多くの労働者が不安定な労働条件に苦しんでいるだけでなく、チリの法律が実質的に企業間組合の団体交渉を禁じており、代わりに、大手の組合ほど力が強くない小規模組合の設立を奨励しているからである。
2. さらに、企業は、組合が交渉で勝ち取った利益を、組合員であるか否かにかかわらず、全ての従業員に付与することが許されており、従業員は組合に加入したり、組合費を払ったりせずに、組合員が勝ち取った利益を享受できるため、このことが、組合非加入を促す不当なインセンティブとなっている。さらに、このような状況は、経営が、労働者に理不尽な圧力をかけたり、組合に加入しないように積極的に促したり、組合に加入した労働者に罰則を与えることを奨励している。
3. スト権は、歪曲的・制限的な基準・手続きによって、また、使用者がスト権を行使した労働者を入れ替える等の様々な措置を講じることを許す法規によって、侵害されている。当該法は、使用者が企業間組合の認知・交渉を拒否し、非代表的な労働者団体と交渉することを認めている。
4. 同様に懸念されるのが、このような労働組合の弱体化によって、使用者が、労働者が歴史的に勝ち取ってきたが、労働法では保障されていない権利・利益を取り除くことが可能になっている点である。
5. 企業間組合による団体交渉の実質的禁止を原因とする労働組合の細分化、結社の自由を侵害した使用者に対する効果的かつ明確な制裁の欠如、労働者の入れ替えを含むスト権の制限、非民主的な時代に公布された労働法を原因とする、歴史的な権利に

対する無差別な攻撃は、ILOの原則に反するとともに、チリの発展と社会正義に貢献することができる強い、代表的な労働組合の設立を妨げている。

6. 労働組合運動は、2013年4月22日にILOに提訴し、組合加入や大規模かつ代表的な労働組合、特に企業間組合の設立を促し、ILOの普遍的原則に従って、団体交渉を行うことを使用者に求める公正な労働法の必要性を説く国会決議案を起草した。
7. よって、以下を宣言する。
 - ・ 我々は、組合を通じて団体交渉を行うことを望む労働者に対するチリ政府の差別については、政権にかかわらず、いかなるものにも反対する。
 - ・ 我々は、労働法第334条の2が、誠実に団体交渉を行うように企業に求めるべきところを、従業員を代表する労働組合との交渉拒否権を使用者に認めている点において、チリ政府と議会は、企業間組合が団体交渉のために労働者を代表する権利を侵害していると考える。
 - ・ 我々は、チリにおいて、スト権が欠如していることや、実質的にILOの諸原則を意図的に侵害している労働法の不備や手続きを企業が利用・悪用していることを非難する。
 - ・ 我々は、チリ政府が、これらの法律の悪用の撤廃や、結社の自由および団体交渉の制限なき尊重を保障するために労働法の改正を要求してこなかったことを遺憾とする。
 - ・ 国内および国際の労働組合運動が団結して、労働者保護のための労働法改正(第334条の2Aの即時撤廃を含む)や企業間組合のための加盟組合協議会の認知について民主的に決定する議論の場を設けるよう、チリ政府に要請することを求める。
 - ・ 本大会が、チリの労働組合、特に、企業間組合の真の正義と労働者の権利尊重を求める闘いを全面的に支持するとともに、加盟組合に対し

て、チリ大統領宛の書簡の送付という形で支援を表明するよう要請することを求める。

第4号決議: ベネズエラ・ボリバル共和国の交通労働者との連帯

2014年8月10～16日にソフィア(ブルガリア)で開催された第43回ITF世界大会は、

以下を考慮する:

1. 国の主権と独立は普遍的原則であり、各国は、国民が歴史的にもつ権利よりも利益を優先させ、生産や持続可能な開発よりも投機的投資を促し、また労働法の変更を強行するために失業を生み、労働者が解雇される脅威と闘いながらこれまでに獲得してきた権利を奪うような、容赦なき新自由主義を実施しようとする試みに代表される経済面、政治面、社会面の苦しみと闘うすべを探していかなければならない。
2. ベネズエラ・ボリバル共和国はウゴ・ラファエル・チャベス・フリーアス前大統領の指導力のもと、公共・社会投資など、政府のあらゆる側面で市民が意思決定に参加することを含む明確な経済施策を打ち出し、医療サービスを強化し、非識字を撲滅し、国連開発計画(UNDP)の統計が示す通り、乳児死亡率を低下させ、あらゆる公職について憲法による国民投票を行うなど、民主主義を無制限に尊重することを促進し、女性の保護法と公職における女性の半数参加を要件とすることを発表し、特にアウトソーシングを禁じて罰し、団体交渉を強制とし、新自由主義政策を推進するために使用者が不当解雇を行うことを禁止する「有機的労働法」を発表した。
3. 現職のニコラス・マドゥロ・モロス大統領は労働者出身であり、元メトロバスの車掌で、ITFの組織産業の組合員でもあった。モロス大統領は、チャベス前大統領が実施したように、自らの政権が政府の民主化を維持・発展させ、21世紀にあたり社会主義を擁護する決意をもって示すために具体的行動を取ったが、そのために、法律や憲法指令を守らない右翼グループからクーデターや暗殺などの攻撃を受けている。
4. 偽りの平和的デモを国内外の(右翼)グループが組織し、その際に、公共交通システムを安全かつ効率的に運行する職務を全うし

ていたに過ぎない防衛手段のない労働者に対して身体的攻撃を加えた。また、何も無いところから社会的危機を生み出そうとする目論見で、公共交通輸送車両に放火などの破壊行為を行った。

5. この攻撃の結果、35名の仲間が負傷し、鉄道車両や都市交通車両など、様々な交通輸送車両が略奪されたり、破壊されたりしたが、労働者がこれらの車両を回復したために、市民へのサービスを継続することができた。
6. ベネズエラの労働運動は全労働者の力を結集する必要があることを理解しているため、ITFの支援を受け、ボリバル主義交通労働者連合を結成した。同組織は各産業で労働組合どうしが合併することを進めており、そうすることで、生活改善、民主主義法の擁護、社会的プロセスとしての雇用保障のためや国を守るために闘っている全ての働く男女を全国で結集しつつある。

以下に合意する:

7. 他国の政府から干渉されることなく、主権をもって自らの法律を決定し、自らの政府を民主主義的に選出することができる国民の奪うことのできない権利を認める。
8. 欧州、アジア太平洋地域、アフリカ、南北アメリカにおいて数千万人ももの失業を招いた新自由主義政策を退け、労働者が長年の闘争の結果、勝ち取ってきた権利が無視されていることを非難する。
9. いかなる国における交通運輸労働者に対する攻撃も拒否する。
10. 国内レベルで活動を統一し、組織も統合するよう努力し、組合員のより良い生活条件や雇用保障のための闘いを支援できるように、少なくとも、連合や総連を形成するよう全ての交通運輸労組に求める。
11. ベネズエラの労働組合を称え、ベネズエラ・ボリバル共和国の数十万人の労働者を加入させるよう求める。
12. 加盟組合を守り、失業や不安定雇用と継続的に闘うため、地域レベル、世界レベルで一致団結

することを促進することを目指すITFの決意を確認する。

第5号決議：キューバ国民への連帯

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. メキシコ大会の重要な決議、特に、キューバ側が国際連帯へのコミットメントを示し、ITFがキューバとの協力・関与を促進し、国連が違法と認める制裁の中止を求める上で重要な役割を果たさなければならないと確信していることを歓迎している点を認識し、
2. キューバのラウル・カストロ大統領が、最近行われたネルソン・マンデラの葬儀で米国のバラク・オバマ大統領と握手するという象徴的な意思表示を歓迎し、
3. キューバ国民の主権および外部からの干渉なしに自由に自分たちの運命を決定する権利を認識し、
4. パディー・クラムリンITF会長、デビッド・コックロフト書記長、ボブ・クローRMT前書記長、アントニオ・フリッツITF中南米地域事務所長により構成される歴史的なITF代表団が、SNTTPの執行委員会を訪問し、また、その後、SNTTP代表団がITF執行委員会を訪問したことに特に留意し、
5. ITFに加盟する中南米の民間航空労組、鉄道労組、港湾労組等とキューバの労働者との間に構築された前向きな関係や、メキシコ大会決議の積極的な実施を認識し、
6. 長期的和解の障害の一つは、米国で投獄された「5人のキューバ人」の3人が未だに投獄されている点であることに留意し、
7. メキシコ決議の完全実施のために、この活動を引き続き加盟組合および書記局のレベルで実施することをITF全加盟組織に求める。

第6号決議：アルゼンチンの経済を阻害するバルチャーファンド（ハゲタカ・ファンド）の行動を非難する

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 2014年6月16日に米連邦最高裁が、バルチャーファンドに対するアルゼンチン政府の上告を棄却したが、これらのバルチャーファンドはアルゼンチン政府の元々の債権者から値下がりした債権を底値で買い取り、合法的な手段を通じて全額の利払いを求めており、こうすることで、利回りの僅かな上昇で、少額の初期「投資」に多額な利益がもたらされることを考慮し、
2. これらのバルチャーファンドの一つであるNMLキャピタル（エリオット・マネージメント・コーポレーションの子会社）は、旅客輸送の多国籍企業であるナショナル・エクスプレスの最大株主（22%）であり、ナショナルエクスプレスの米国部門、ダーラム・スクール・サービスは反労組の企業であるという事実を認識し、
3. NMLキャピタルは2008年にアルゼンチン国債を約5千万米ドルで購入したが、米国の判決によって、それらの国債を8億米ドル以上で買い取らせることが可能となり、たった6年間で1,600%の利回りを確保したことを考慮し、
4. エリオット・マネージメント・コーポレーションと、その創設者でCEOのポール・シンガーは、2002年にガーナでアルゼンチンの訓練船、フリゲート艦リベルタードを拘留したことで既にITFに非難されていることを想起し、
5. 先に出されたバルチャー・ファンドに有利な判決は、多くの政府、国際産別組織（GUF）のほか、国際通貨基金（IMF）からも強い批判を招いたことを想起し、
6. 米国の裁判所は、少数のならず者の投機家の利益を支持することで、10数年前のアルゼンチン政府の債務不履行の後に大幅な債務減免に自主的に応じた9割以上の債権者に対するしっかりした返済を脅かすことを懸念と共に留意し、

7. バルチャー・ファンドが、途上国の債務再編への努力を台無しにさせたり、国家が国際法の下に国民を守る権利を奪ったりすることを許さないことが重要であることを認識し、
8. アルゼンチンとその労働者にとってのみならず、世界の全ての国にとって、また各国が経済を刺激し雇用を創出する能力にとっての深刻な脅威を防ぐ必要性があることを確信し、
9. アルゼンチンの経済を阻害することを目的とし、同国の労働力に直接的な影響が及ぶ、バルチャー・ファンドの容赦なき利益戦略を非難し、
10. バルチャー・ファンドに対するアルゼンチン政府の上告を棄却した2014年6月16日の米連邦最高裁の決定を非難し、
11. 米連邦最高裁の決定を拒否するとともに、国家経済の発展を支援し、ひいては、雇用拡大につながる、国家債務に関する公正、独立的かつ透明な仲裁制度の創設に向けた活動を開始するよう、関係規制機関に求める国際社会の要請に加わる。

第7号決議：世界平和

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 現在の資本主義の危機が世界に深い不安定の時期をもたらしたことを認識し、
2. この危機の結果、帝国主義国家間の争いが一層激しくなり、これらの国々はその経済的、財政的支配力の下、侵略戦争を通じて、領土拡大を模索することとなったと確信し、
3. リビアやマリ戦争は、国民の意思に反し、また、ITF加盟組合の利益にも真向から反し、特定の階級の利益のために実施されたことに留意し、
4. さらに、シリアに対する継続的侵略に留意し、あらゆる種類の帝国主義的侵略の終焉を求め、
5. 北大西洋条約機構（NATO）のような侵略的軍事同盟を否定し、主権国家間の相互尊重と自由な協力に基づく世界平和を求める。

第8号決議：パレスチナ

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. ガザの紛争が継続中であり、主に民間人の犠牲者1962人を生み出していることに驚愕し、
2. 以下を宣言する、国際労働組合総連合（ITUC）の「ガザに関する行動」を支持することを確認し、

「ガザの死傷者の圧倒的多数は、どこにも逃げることができずに閉じ込められた民間人である。ここ数日間、民間施設および国連のインフラ（民家、学校、病院、ガザ唯一の発電所等）は破壊され、現在およびこの軍事行動が停止された後もずっと、パレスチナの人々に深刻な影響をもたらすだろう。これらの行動や無差別攻撃を正当化できるものは何もない。

労働者とその家族は、交渉による即時停戦と190万人の封鎖の中止を求める世界の訴えに賛同している。また、我々は、国際社会が喫緊に必要とされているガザへの人道支援（食糧、飲料水、医療、発電機等）を行うことを要請する。しかし、イスラエルとパレスチナの人々の間の恒久平和と相互理解の唯一の方法は、パレスチナの領土の占領を止めることだ。

よって、我々は、全ての国が交渉による即時停戦の仲裁を支援することを求める。民間人に対する攻撃は国際法に反し、我々は国連が求めているアカウンタビリティ（説明責任）と正義を支持する。従って、直接的・間接的な武器の輸送の即時全面禁止を求める。しかしそれだけでは終わらない。米国やエジプトだけでなく、国際社会全体が、両者を交渉のテーブルに着かせ、占領の集結と両者に安定と尊重の精神を根付かせる解決策に到達させるための行動を直ちに取らなければならない。」

3. ITFと加盟組合がいち早くガザに医療物資や人道支援を提供したことを讃え、全てのITF加盟組合にITFガザ基金を支援するよう要請する。
4. 以下の文言を含む、ITUCの2014

年5月のベルリン総会の声明「労働者の力の構築：平和と民主主義」を支持する：

「国際法と、特に国連安全保障理事会の第242号決議および338号決議の正当性に従い、我々は、イスラエルによるパレスチナの占領を非難し、イスラエルとパレスチナの公正かつ持続可能な平和のための動員を行う。

ITUC は以下を求める：

- ・ イスラエルによる違法な入植地建設を終わらせ、既存の入植地を撤去し、1967年6月4日時点の境界線に従い、イスラエルがパレスチナの土地から撤退する。また、違法な分離壁を撤去する。
 - ・ これらの要求は、パレスチナの人々の自決権と、東エルサレムを首都とする、自由かつ独立したパレスチナ国家を樹立する権利を確認し、公平、正義、包括的な平和の達成を支持する」
5. 国際労働界の積極的なキャンペーンとともに、このITUCの大会決議を全面的に支持し、懸命に取り組む。

第9号決議：環大西洋貿易投資パートナーシップ (TTIP) に関するITFの見解

2014年8月10～16日にソフィア(ブルガリア)で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 国際運輸労連 (ITF) が150 各国、700 労組を代表し、世界中で470 万人の組合員の利益を擁護していることに留意し、
2. 欧州と米国の貿易をさらに自由化することを目的とした、環大西洋貿易投資パートナーシップ (TTIP) の交渉を開始する権限が当事者 (欧州と米国) に与えられたことを受け、ITF は以下の立場をとる。
3. 金融危機後において、労働者の状況を改善し、行き詰まった多国間協議を再活性化させる可能性のある、多様性の向上、グローバル規制の枠組みの改善、投資の流れ、成長など、ITF はこのような大規模のパートナーシップ協定がもたらし得る恩恵に関して様々な報告がなされていることを認識する。しかし、ITF は欧州委員会が出した雇用創出と成長に関する最も野心的な予測すら、控えめなものである点にも留意する。さらに、ITF は、現行の低関税に反映されるように、欧州と米国は投資や貿易の面で既に比較的小互いに開かれていることも認識する。また、ITF は公正な貿易と持続可能なグローバル化を擁護しており、TTIP によって、万が一EU 域内市場が南部のEU 加盟国やアフリカ・カリブ海・太平洋 (ACP) 諸国や後発開発途上国 (LDC) との貿易を減少させることになった場合、ITF は貿易の交渉者に悪影響を緩和することを要求する。
4. ITF はTTIP 交渉を始める前に、以下の二つの条件が満たされることを要求する。第一に、欧州も米国もともに法制度が成熟していることを考慮し、国家と投資家との紛争解決メカニズム (ISDS) を交渉の対象から外さなければならない。法律や政治に対し、企業がそこまで大きな権力をふるうべきではない。国家は多国籍企業が国家を訴えることを恐れることなく、独自に政治的決定が行えなければならない。第二に、社会的 (賃金の) ダ

ンプングを避けるため、ITF はILO の中核的労働基準や、社会権、労働権に関するEU の最低基準を認識する法的拘束力をもつ条項を貿易協定に含めることを求める。このため、EU の交渉者は米国の交渉者がILOの全ての中核的基準を批准することを求めるべきだ。社会保障、団体交渉、労働時間、雇用条件、公衆衛生、情報、協議に関する権利や保護を包含する欧州法やEU 各国の法律や規則が、貿易の非関税障壁 と見なされるべきではなく、TTIP によって異議が申立てられるべきではない。

5. ITF は欧州委員会と米国の同等機関に、交通運輸に関する欧州の社会的パートナーと包括的な協議を適切なタイミングで行うことを含め、社会的パートナーが各産業で発生する可能性のある影響を評価することができるよう、透明性の高い交渉を行うことを要求する。
6. 交通運輸産業を産業の成長を確保する上での重要産業と認識し、それゆえに、TTIP 交渉においても、特別の位置づけをもたせることをITF は要求する。
7. 特に、創出される雇用の質についてなど、ITF は欧州委員会の雇用創出に関する主張に慎重に対応し、社会面や環境面の基準を含む、厳格な持続可能性影響アセスメントが社会的パートナーとの協議のもとに実施されるまで、市場開放の提案はなされるべきではないと考える。
8. 自然人の移動 (第4 モード) の存在を通じ、サービスの提供に関する条項をさらに自由化することは、移民の搾取的な労働関係を促進したり、地域の賃金や労働条件に下方圧力をかけたりするリスクがあるため、ITF はこれに反対する。交渉により、労働法や社会法のもとに地域社会が既に備えている要素に異議が唱えられるべきではないとITF は要求する。あらゆる人間が法の前で平等であることと、差別から保護されることは、普遍的権利である。越境労働者 (大部分は女性) の不公正処遇など、労働者の権利の侵害を阻止する条項を盛り込むことを労働組合との協議により、追求するべきだ。
9. ITF は、TTIP に強力な環境保護

条項を包括させるべきと考える。

10. ITF はTTIP によって、公共調達が開かれ、自由化されるべきではないと考える。税金が持続可能で、地域や社会、環境の発展、特に、公契約の労働条項に関するILO 第94 号条約を確実に考慮した形で使われるように担保するため、物やサービスを購入するにあたり、公的機関は社会的、環境的基準を活用することができてしかるべきだ。そのような政策が貿易の障壁と見なされることがあってはならない。
11. ITF は戦略的かつ長期的視野で TTIP を観察し、今後の二国間の貿易協定に影響を及ぼすべく、TTIP が「優れたスタンダード」を満たした協定になるよう担保することをTTIP 交渉者に求める。

第10号決議：特に航空部門における反労組の湾岸諸国に対する国際キャンペーン

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. アラビア湾を拠点とする反労組の航空会社（カタール航空、エミレーツ航空、エティハド航空等）の著しい、かつグローバルな成長に留意し、
2. アラブ地域の他の航空会社は、ITF加盟組合を認知、交渉していることに留意し、
3. アラブ地域および世界の組織された航空会社は、競争上、不当に不利な状況に置かれ、それらの湾岸の航空会社に路線を奪われており、これが、ITF民間航空部会加盟組合の雇用や組合員数に影響を及ぼしていることに留意し、
4. ITF女性総会が、特に、女性の生活に対する組織的管理および女性の基本的な人権・市民権への攻撃にまで至っているカタール航空の侵害に対応する決定を行ったことに留意し、
5. 本総会は、
 - ・ 団結権の尊重の確保を目的とする、特に民間部門における反労組の湾岸諸国に対する国際運動を開始するよう、ITF民間航空部会に要請する。
 - ・ 人権、ジェンダーの権利、労働組合権に対する侵害が発覚、公になっているカタール航空の慣行を非難する。
 - ・ 2014年3月8日の国際女性デーにITFの女性が、カタール航空の女性交通運輸労働者への支援、連帯、姉妹愛の強力なメッセージを発信する等の行動をとったことを称賛し、
 - ・ オンラインとオフラインの両方による署名や運動を含む、カタール航空に関する拡大キャンペーンを、国際労働組合総連合（ITUC）の「再投票を求め運動（Return the Vote

campaign)」(カタールが労働者の権利侵害の経歴を改めない限り、国際サッカー連盟(FIFA)に2022年ワールドカップ開催国の変更を要請するもの)と緊密に協力しながら立ち上げるよう、ITFに要請する。

第11号決議：ITFの「私たちの公共交通」キャンペーンの促進

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. さらなる民営化、規制緩和、自由化などを通じ、公共交通労働者と公共交通労組に対する攻撃が続いていることを憂慮し、
2. ストライキ、労働者の動員、政治的口癖活動などを通じ、反撃しているITF加盟組合を歓迎し、
3. さらに、人間よりも利益を重視し、公共交通システムの促進を放棄する新自由主義的攻撃に代わるITF交通政策を早急に策定する必要性に留意し、
4. 公共交通インフラへの公共投資とネットワークの拡大により、良質の緑の雇用が生まれ、10億英ポンド（約1,700億円）の投資ごとに40億英ポンド（約6,800億円）の恩恵が世界経済に及ぶことを認識し、
5. 以下のような新たな公共交通インフラ・プロジェクトの雇用面の恩恵に留意し、
 - ・ 新インフラ建設段階での建設労働と新しい列車、路面電車、フェリー、バスなどのサプライチェーンに関連する製造業雇用の創出。
 - ・ 公共交通の運行と保守の分野での長期雇用の創出。
6. 公共交通は平均して自家用車の2.5倍エネルギー効率がよく、公共交通が都市交通のエネルギー消費に占める割合はわずか10%にすぎないことに留意し、自家用車からのモーダルシフトを奨励することで、二酸化炭素の排出量が削減でき、化石燃料への依存度を下げ、大気汚染を減らすなどの環境面での恩恵が極めて大きいことを確信し、
7. 公的な説明責任と公共交通の管理は、新自由主義的な競争のモデルや利益のための民間所有ではなく、市町村や国が所有することが最も理に適っている点に合意し、
8. 組織化運動の展開や、課題に対応するために組合員を教育する

ことを通じ、より強力な組合を構築する必要性を強調し、

提案されている「私たちの公共交通」キャンペーンのもと、包括的なプログラムを発展させることをITFと公共交通を組織する加盟組合に要請する。同キャンペーンは以下の4つの基準を包括する。

- ・ 公共交通システムのさらなる民営化、規制緩和、自由化に抗議し、既に民営化された公共交通システムの再公有化を目指すキャンペーン。
- ・ 公共交通やサービスへの投資の環境面や経済面での恩恵を促進することを含む、新自由主義的課題の代案としての公共交通政策を策定する。
- ・ 未組織労働者の組織化プロジェクト
- ・ 公共交通の擁護のため、乗客を組織するプロジェクト

第12号決議：女性に対する暴力

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 国連の調査によると、3人に1人の女性が生涯に暴力を経験しており、この傾向は、地球上のあらゆる社会の日常で発生していることを言明し、
2. ITF規約は、その主要目的の一つとして、「加盟組織が、その組合員の経済的、社会的、職業上、教育上および文化的利益を国際的に擁護かつ促進することを、援助する。これには、万人への機会均等（一中略一）が含まれる」と掲げていることを想起し、
3. ITFは、2002年のバンクーバー大会での決定以来、女性委員会を中心に、11月25日の女性に対する暴力撤廃の国際デーに取り組んできたことを認識し、
4. 女性に対する暴力に関する教育活動や行動指針の発行等、この分野における先駆的な活動を実施してきた女性委員会を称え、
5. メキシコのATM、カナダのUnifor、ブルガリアのFTTUB、オーストラリアのMUA等、多くのITF加盟組合が、意識を向上させ、犯罪の報告を奨励し、職場暴力や家庭内暴力等の犯罪の被害者を支援し、団体交渉や会社の方針改善を勝ち取り、コミュニティー団体と協力し、法改正の圧力を増すために、様々な活動や運動を立ち上げてきたことに留意し、
6. しかしながら、ITF加盟組合が、女性交通運輸労働者が職場や家庭で経験する暴力のレベルが上がっていると報告していることを認識し、
7. 2010年のITFメキシコ大会で提起されたように、メキシコで「フェミサイド（女性殺し）」が法の裁きを受けず、その結果、女性の死亡に関連する何千件もの麻薬犯罪や組織犯罪が調査も処罰もされないままとなっている問題を特に強調し、
8. ITFに以下を要請する。
 - ・ 職場暴力を対象とする国際法規を求める運動をILOのレベルで展開する。

- 女性に対する暴力の無罪放免を終わらせるために、メキシコ連邦政府に圧力をかける運動を立ち上げることで、メキシコの加盟組合を支援する。

- 職場暴力や家庭内暴力が職場に与える影響を測定するための職場調査を実施または参加することをITF加盟組合に奨励する。

- 女性に対する暴力に関する文言を団体協約に盛り込ませるよう交渉することを加盟組合に奨励する。

第13号決議：青年労働者の活動

2014年8月10～16日にソフィア(ブルガリア)で開催された第43回ITF世界大会は、

- 今日の青年交通運輸労働者は、現在および将来の労働運動のリーダーであると認識し、
- もともと2006年のダーバン大会で開始された、ITF青年活動に対する青年労働者の参加増について進展がなされていることを認識し、
- ITF産別部会が青年交通運輸労働者の活動を増加させたことを認識し、
- ITFの地域のほとんどで青年交通運輸労働者の活動レベルが増えていることを認識し、
- 青年交通運輸労働者総会、2回の青年交通運輸労働者サマースクール、青年交通運輸労働者プログラムが成功裏に実施されたことを認識し、
- 数か国において、多数の組合・組織で青年交通運輸労働者委員会が成功裏に設立、認知されたことを認識し、

本大会は、

- 青年活動家の重要性や、彼らを訓練して、より重要な責任を負わせる必要性が高まっていることに留意し、
- 各部会および地域は、大きく異なる問題やニーズを抱えていることに留意し、
- 各部会・地域に適切な青年交通運輸労働者組織を設立することは、これら特定の懸念への対応にとって重要かつ為になることに留意し、
- 将来立ち上げられるべき青年交通運輸労働者プログラムには大きな可能性が秘められているが、資源が限られていることに留意し、

さらに、本大会は、

- 青年交通運輸労働者活動を増加させるために、青年機構の創設をITF加盟組合に促すよう、ITFに要請し、

- ITF書記局に専従のコーディネーター1名を配置することは、青年交通運輸労働者問題の重視を求める要請に大きくかなうと認識し、

- 今日および明日の組合指導者の成功に向けて、より深い責任感とコミットメントを持ってもらうために、青年交通運輸労働者プログラムにしっかりと焦点をあて、かつ継続的に実施していくために青年交通運輸労働者コーディネーター1名を書記局が確保するのを支援するよう、世界大会で加盟組合に要請する。事務的な支援は必要に応じて行われるべきである。当面の活動は以下の通りだが、これらに限定されない。

- 既に実施中の活動を支援したり、成長と向上の余地がある分野の活動を促進したりすることによって、ITFの産別部会、部署、地域の青年交通運輸労働者プログラムに貢献する

- ITF加盟組合と連携し、青年交通運輸労働者のオルグ活動を支援し、全加盟組合がより組織的な方法で青年交通運輸労働者をオルグすることに焦点をあてる

- ITF書記局、執行委員会、青年委員会、加盟組合の間で連携をとる

- 青年交通運輸労働者の組合員の統計やマッピングを継続し、グローバルな青年交通運輸労働者のネットワークを拡大させる

- 青年交通運輸労働者委員会を退任した委員数名に引き続き関与してもらうことを目的とする「青年交通運輸労働者諮問グループ」の設立を青年交通運輸労働者計画の中に盛り込ませるよう書記局を支援する。

- 大会から大会までの期間において、各地域総会や世界のレベルで、青年交通運輸労働者ための行事をしっかりと実施する

- ITFの活動を青年交通運輸労働者にとって、より関係のあるものするとともに、青年

交通運輸労働者の問題をITFの優先活動計画に盛り込ませることを目的とする、青年交通運輸労働者の「グローバル関与プログラム」を促進させる

- ・ 当面は、グローバル・デリバリー (SCALOP チーム)、便宜港湾 (港湾部会)、LATRM (民間航空部会)、質の高い公共サービス (路面運輸部会) 等の優先活動を通じて、青年交通運輸労働者がオルグ・プロジェクトやキャンペーン・プロジェクトに関与するのを支援し、その後、他の産別活動 (女性活動計画を含む) に拡大させていく
- ・ ITF 本部を通じて行われている活動と地域の優先活動との重要な連携を確保し、地域における青年交通運輸労働者の関与を支援する
- ・ 他の国際産別組織 (GUF) やその青年労働者プログラムとの緊密な協力を、当面は一般的な協力体制が既に存在するところ (例えば、UNI、インダストリアル、IUF、PSI 等) から行き、その後、他に拡大していく。
- ・ 青年交通運輸労働者の活動を促進させるために、青年交通運輸労働者のための積極的なインターンシップ制度を開発・促進する
- ・ ITF の財政を守るために、このような青年交通運輸労働者のエンパワーメント活動のために外部から資金を募る方法を検討する

14. 本決議が実際に実施され、財政的に支援される方法を直ちに決定するとともに、進捗状況を書記局から定期的に報告を受けるよう執行委員会および運営委員会に要請する。

第14号決議:ギリシア人船員の基本的権利に対する攻撃

2014年8月10~16日にソフィア (ブルガリア) で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 基本的な権利と原則に関する2006年海上労働条約の第3条には、「加盟国は、自国の法令が、この条約に関しては、結社の自由及び団体交渉権の実効的な承認などの基本的な権利を尊重することを確認する」と書かれていることを想起し、
2. 上記の条約が2014年1月4日にギリシアでは発効したことに留意し、
3. さらに、ILO (国際労働機関) の目標と目的について1944年5月10日にフィラデルフィアで採択された宣言の第1条には、「ILO設立の基本原則と、特に表現の自由と結社の自由が進歩を持続するためには不可欠である」と記され、さらに、団体交渉権を実効的に承認することはILOの基本的な目的であることを認識し、
4. ギリシア政府が海上労働条約の要件を国内で実施するにあたり、省庁の決定を通じ、2013年7月5日に規則を発布した。その第6条には、「適用できる有効な海事関係の労働協約が存在しない場合は、船員の雇用条件は自由に契約当事者間で決めることができ、書面の雇用契約書に盛り込まれる」と規定されていることを認識し、
5. さらに、憲法で保障されており、奪うことのできないギリシア人船員のストライキ権を攻撃する試みで、ギリシア政府が、ストが指令された場合には必ず、当該の島嶼に関して最低限のサービスは保証されるとする法案を作成したことも認識し、
6. ギリシア人船員は、過去の船員の歴史の中で、非民主主義的かつ反社会的な民間動員策を4度も押し付けられた経験がある点に留意し、
7. 上述のギリシア政府による二つの行動は、ILO (国際労働機関) の基本的権利と原則の甚大なる侵害であり、ギリシアの船員組合に対する直接の攻撃であることに留意し、

8. 国内外の法律に違反するギリシア政府の行動を非難・糾弾し、

9. ITF書記局に以下を求める:

- ・ 決議が提起した問題に関して効果的かつ迅速な措置を講じるよう、ギリシア政府に要請するとともに、ILO事務総長にこの決議の内容を伝える。
- ・ 正式にギリシア政府、特に海運・エーゲ海相に抗議し、ギリシアが果たすべき国際的義務について認識させる。

第15号決議：船内の業務、疲労、配乗

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 過少員数と長時間労働を原因とする過重労働や疲労の結果として生じる職務遂行能力の低下は、海事産業に蔓延する問題であり、船員の命や船舶の安全、海洋環境を危険にさらす事故につながることを認識し、
2. さらに、各国政府は、競争優位を確保し、船籍登録を誘致するために、配乗基準を非現実的なまでに低く設定していることが多い点に留意し、
3. 十分かつ効果的・効率的な配乗を行い、船舶の安全・安定、海上における安全航行・運航、港湾における安全な運航、負傷または人命の損失の防止、海洋環境および財産の損害回避、疲労回避を通じた船員の福利・健康を確保するために、特定の船舶の船内に存在する実際の運航条件を考慮した「最小安全配員原則」に関する決議A.1047(27)（2014年1月1日に発効）を国際海事機関（IMO）が最近、採択し、過少員数の問題に対応したことに留意し、
4. さらに、IMOは、これに伴い、各国政府がIMO決議A.1047(27)の「最小安全配員原則」を考慮した、透明性のある手続きに従って、配乗基準を定めることを求めるために、SOLAS条約V章14規則を改定したことに留意し、
5. 全ての船主および政府が、船内の実際の運航条件を考慮した適切な配乗基準を、監視可能な透明性の確保された手続きによって設定するための新規定を完全に認識しているわけではない、あるいは積極的に実施するわけではないことを懸念し、
6. 以下を要請する。
 - ・ ITF書記局は、配乗基準を決定するための新たな国際基準を全てのITF加盟船員組合に完全に認識させる。
 - ・ ITF書記局は、船主や旗国の配乗基準設定主管庁が開かれた透明性のある手続きを通じて、これらの新国際基準

を遵守するよう、運動を開始する。

ITF書記局およびITF加盟船員組合は、各国の規制当局が配乗基準設定に関する新規定を全面的に実施すること、および最小安全配員を設定する上で考慮された運航要件あるいは制限および勤務時間の短縮について、透明性の確保された方法で示している文書を船内に備置しておくことを主張する。

第16号決議：船員の公正な処遇

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 上陸休暇という基本的人権を奪われたり、海難事故の捜査中に基本的かつ正当な法的保護を拒否されたりする問題が続いていることで、船員の採用・維持に影響が及んでいることを認識する。
2. 船員の公正な取扱いの欠如は、国際貿易が依存する海上労働力の将来の質に影響を及ぼすとともに、海運や環境の将来的安全を脅かすことを認識する。
3. 経験を積んだ多くの船員が、特定のポート・ステート（入港国）に入港する船舶への乗船を、船員に敵対的な環境を理由に、拒否していることに留意する。
4. 船員は独特の弱い立場に置かれていることを懸念する。仕事の性質上、一度の航海で多数の国の法制度に直面することもある。事故の際は、外国で不慣れな、あるいは未知の法律や手続きの下で、尋問を受けたり、刑事責任を負わされたりする可能性がある。一部の国においては、船員の側に犯意や過失が一切ない事故においてでさえ、刑事訴追される可能性がある。
5. 海洋汚染絡みの注目を集める事故においては、訴追の目的が、当該政権の政治的なニーズを満たすために、責任を押し付ける文化の中で、スケープゴートを見つけ出し、処罰する必要性があるためであることもある。あるいは、訴追の動機が、国自身の事故の責任から世間の目を逸らすためであることもある。その結果、船員は、正義の追及を主目的としない、政治的な見せしめ裁判で裁かれることとなりかねない。このような行為は、海事産業全体の評判を汚し、公正な正義ではなく、政治的な動機に資することとなる。
6. 外国で、政治的な圧力がかかっているかもしれない環境にいる船員個人に対して、国家の全権力・資源が向けられる場合は、適正手続きの保障という基本的人権の尊重を確保することが切実に求められることに留意する。

7. 8年前の2006年4月の国際海事機関 (IMO) 第91回法律委員会において、「船員の公正な取扱い」の原則を定義する決議が採択され、ガイドラインの継続的見直しが合意されたことを想起する。

8. IMO加盟国による、「船員の公正な取扱い」に関するガイドラインの採択および実施は、満足なものとは言えないことは明らかである。ガイドラインの継続的見直しは、満足いかない状況が続いていることに対して、行動を起こすことを示唆している。

9. よって、海難事故の際の「公正な取扱い」の原則を見直すだけでなく、その範囲を拡大し、上陸休暇や陸上施設を利用する権利を含めるとともに、「船員の公正な取扱い」に関する原則を国策事項として採用、実施することを加盟国に求めることで、ガイドラインの強制適用を達成する方法に焦点を当てるため、「船員の公正な取扱い」に関するIMO/ILO合同特別専門家作業部会の再開に向けて、ITF書記局が必要なあらゆる行動を取ることを決議する。

第17号決議：雇用詐欺

2014年8月10～16日にソフィア (ブルガリア) で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 存在しない仕事を船員に紹介する詐欺的な配乗代理店の様々な問題が続いていることを懸念を持って留意し、
2. このような詐欺師は、クルーズ船等の船の仕事 (通常は旅行を伴う仕事) を巧みに約束し、その後、ビザや就労許可の申請料金を要求し、最も弱い立場にある者を餌食にすることが多いことを想起し、
3. ITFが他の国際的な利害関係者と協力し、このような慣行を暴露する「ネーム・アンド・シェイム (名前を公表して恥をかかせる)」運動を行い、このような行為の裏にいる者に法の裁きを受けさせるために最善を尽くすことを要請し、
4. 船員がこのような問題を認識し、無防備な人々を餌食にする犯罪者らに身ぐるみ剥がされることのないよう、取るべき予防措置について知っておくよう、ITFが活動することを求める。

第18号決議：欧州の海運

2014年8月10～16日にソフィア (ブルガリア) で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 2009年の欧州運輸労連 (ETF) 大会 (ポンタ・デルガダ) の第8号決議「EU船員憲章」を想起し、
2. 欧州の真正な第一船籍が全体的に減少し続ける一方、欧州-EUが所有・管理する便宜置籍船 (FOC) が着実に増加していることを深い懸念と共に留意し、
3. FOCは社会的・民主的コントロールの及ばない資本の一形態であり、さらに、FOCという手段を利用する欧州の船主は欧州地域における船員の雇用を奪い、その結果、一部の国においては、高い失業率が発生していることを認識し、
4. 欧州委員会 (EC) が船主の要求に応じて導入した自由競争主義政策の結果として生じた、特にEUに関連する諸課題に効果的に対処するために、ETF海運部会および運営委員会が極めて困難かつ逆境の中で実施してきた活動を称賛し、
5. 欧州およびEUの海運を新たな方向に方向転換させ、最低限、以下を確保する喫緊の必要性があると強く確信し、
 - ・ 欧州の船員、職員、部員のために、より多くの、よりよい雇用を確保すること。
 - ・ 「国家補助金ガイドライン」の趣旨に合うように「コミュニティー船員」を定義し直し、同ガイドラインの導入目的に資するようにすること (EU船主が管理する便宜置籍船にこのような国家補助金を交付しないことを含む)。
 - ・ 欧州の船員、職員、部員の訓練、採用、雇用展望を改善し、彼らを維持することによって、究極的には、欧州の専門知識や海事技術を保持すること。
 - ・ 欧州海域を航行する船舶の、より安全で質の高い雇用条件 (最大労働時間や最

低休息時間を含む)を確保すること。

- ・ 域内のフェリー部門にける公平な競争の場の確保を目的とする「欧州のフェリーサービスに関するITF共通方針」、いわゆる「アテネポリシー」の実施のための法的枠組みを構築するために、EU配乗指令を復活させる。
- ・ 各国の団体交渉制度を強化するとともに、ILOの中核条約で保障されているこのような制度の破壊を目的とするいかなる試みにも反対する。
- ・ 船員の疲労やストレスを効果的に減退させ、究極的には船上生活の安全を守ることのできる、透明性があり、義務的かつ適切な配乗スケールを決定する。
- ・ 船主やEU議員の間で「公正な運輸」のコンセプトを促進させる。
- ・ 「海難事故の際の船員の公正な処遇に関するIMO/ILOガイドライン」と「海難および海上インシデントの調査のためのIMOコード」の両方をEU法に格上げする。

以下を要請する。

6. 欧州の各国政府、機関、関係する政策立案者が、欧州船員と共に、持続可能な欧州海運界のための上述の最低限の提案の促進をできるだけ速やかにしっかりと実施すること。
7. 上述の目的の達成のために、ITF書記局はその専門知識を提供し、ITF加盟船員組合は欧州の仲間たちを支援、連帯すること。

第19号決議：特にパキスタンに関する商船の危機

2014年8月10～16日にソフィア(ブルガリア)で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 以下について、懸念と共に留意し、
 - ・ ITFは六十数年以上にわたり便宜置籍(FOC)に反対する運動を成功裏に行ってきたが、世界のFOC船腹量は増加の一途をたどる一方、自国籍船船腹量は減少し、また、パキスタンの自国籍船舶数は、1970年には71隻だったが、今日は9隻まで減少していること。
 - ・ 船員は、自国籍船での雇用喪失により、FOC船での雇用を探さざるを得ないこと
 - ・ 現在の金融危機によって、途上国、特にパキスタンは、船舶の調達に向けた投資や自国籍船隊の強化を行うことが不可能になっていること。
 - ・ 途上国または先進国からの大量の資本逃避が、パキスタンの財政問題および貧困の主要因であること。
 - ・ パキスタンとインドの海運協定。
 - ・ カデット(見習い船員)の適切な居住設備の欠如。
 - ・ 船員の犯罪人扱い。
2. 世界の困窮船員に支援や援助を差し伸べているITFを高く評価し、
3. 以下を決議する。
 - ・ FOCへの投資という各国のトレンドによる資本の投資を回避し、特にパキスタンのような途上国の船員の雇用機会創出のために、自国籍船へ回帰するよう各国政府に圧力をかける。
 - ・ 職員および部員のための無差別の訓練制度を一層減らす必要性をパキスタン政府に訴える。
 - ・ 南アジアの交通運輸における地域協力で、港湾と海運

の役割を促進させるための2006年12月14日の海運協定を全面的に実施するよう、インドおよびパキスタン政府に訴える。

- ・ 全ての新造商船に適切なカデットの居住スペースの確保を強制するとともに、技術不足を防ぐために、新造船を含むあらゆる船舶のトン計算から除外することを求める。
- ・ 基準以下船の追放のためにあらゆる努力を行う。
- ・ 船員の虐待や犯罪人扱いを減らし、海運産業特有の疲労問題への対策・手段を講じる。

第20号決議：チリ国際船籍

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. ITFに加盟し、2013年のITF米州地域総会に参加したチリの船員組合は、チリ政府がチリ船主協会と共にチリ国際船籍（RICH）を創設する計画を立てていることを非難し、
2. 次の通り、チリの海事組合に対する支援を改めて表明し、
 - ・ この計画の影響を直接受ける船員団体との協議が行われていない、いかなる施策にも反対する。
 - ・ チリ政府のこの施策は、チリ商船隊の何千人もの労働者の雇用を破壊すると確信する。
 - ・ チリにおけるRICHの導入は、自国籍船からこの新たな船籍への転換を促すと同時に、我々、労働組合が団体協約および何年にも及ぶ組合闘争を失うこととなる。
 - ・ この施策は、チリ人船員の代わりに安価な外国人船員の雇用を許すものであり、特に、チリ人船員の賃金は、ITFのTCCあるいはIBFの賃金よりも約34%高いため、労働者間の社会的ダンピングを促すことに留意する。
 - ・ 我々はこの施策の導入を非公式の情報源から知ることとなったこと、また、政府は当該作業部会において、影響を受ける船員組合への配慮を行っていないことを遺憾とする。
 - ・ この種の施策は労働組合が検証できること、また、当該作業部会への船員の参加が考慮され、商船の発展と労働者への恩恵をもたらす社会条項が盛り込まれる限り、我々は、国民の適切な監視を受け、成長と発展を目指す、いかなる提案にも確固たる支援を行うことを認識する。
3. よって、自らの利益を擁護するチリの船員組織を全面的に支援するとともに、ITF本部や地域事

務所を通じて、チリ政府およびチリ船主協会に書簡を送付し、このような施策への反対を表明するよう、本大会に要請する。

第21号決議：内陸水運労働者のためのILO条約

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 内陸水運は、最も環境に優しく、最も安価な交通運輸産業の一つであり（燃料費の安さは鉄道の2～5倍、自動車の40～60倍である）、産業の発展と共に、特に、途上国の大規模河川沿いの人口密集地域における質の高い雇用の増加につながることを認識し、
2. 大会決議第41号（第42回ITF大会、メキシコシティ、2010年）が、内陸水運労働者のための国際最低基準の設置のための対策を講じることを要請していることを想起し、
3. 内陸水運労働者のための包括的条約とより詳細な勧告の採択をILOに提起するよう、ITFに要請する。

第22号動議:漁業産業

2014年8月10~16日にソフィア(ブルガリア)で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 以下に留意する:

- ・ 漁業資源は食用たんぱく生産の重要な部分を占めている。世界の漁獲量は1950年には168万トンであり、1996年に8,640万トンでピークに達したことを想起しておく。2010年の世界の漁業生産量は1億5,500万トン、漁獲量は7,740万トンだった。
- ・ 欧州連合は中国、ペルーに次ぎ、第三の水産大国だ。2013年に欧州で消費された漁業生産物の7割以上が輸入されたものだった。
- ・ 漁獲の大部分が依然として違法・無規制・無報告(IUU)漁業に依存している。2008年9月29日に発表されたIUU漁業に関する欧州理事会(EC)規則1005/2008では漁獲量だけが考慮されるが、いかなる社会的要件も設定されていない。
- ・ 拡大する市場の需要と効果的な監視と管理策を実施することが困難なことがIUU漁業の従事者にインセンティブを与える要素になっている。
- ・ 2014年3月24日にEU理事会はベリーズ、コロンビア、ギニアなど、IUU漁業を実施していることが証明された国との水産物の貿易に関する一連の施策を発表した。これら3か国の旗を掲げる漁船の漁獲物がEU諸国に輸入されることはもはや許可されなくなる一方、EU加盟国の漁船がこれら3か国の水域で漁業を行うことも許可されなくなる。

2. さらに、「サブスタンダード(基準以下)」の国の旗を掲げる漁船に継続的な操業を許し、労働者を搾取して得た漁獲物を合法的な市場で売ることを許可する一方で、純粋な環境政策をもとに海洋を「保護する」ことは不適切かつ悲惨なことであることをさらに認識し、

3. あらゆる交通運輸労組が主張を行い、交渉する中で、企業の社会的な責任の文脈で推奨されているモデルに基づく新たなアプローチを採用することを提案する。

4. このモデルを活動家が理解し、実施するための訓練を促進するべきであり、訓練には継続的なグローバル化と交通運輸の規制緩和とともに発生する新たな課題を包括するべきである。

5. さらに、労働組合は尊敬される交渉相手としてのイメージを完璧なものとするため、長期的には交通輸送活動を中心に活動するボランティアグループ、ユーザーや消費者、環境保護団体、研究者や開発者のチームなどとも協力するすべを学ぶ必要があることも提案し、

6. ITF水産委員会は、世界の漁業産業で働く漁船員が耐え難い搾取、および(あるいは)甚だしい人権侵害に苦しめられている事態を憂慮していることにさらに留意する。このこともIUU漁業を大きく助長する要因となった。

7. 漁業産業におけるそのような許容できない慣行を見て見ぬふりをしている世界中の多くの水産会社や政府の行動を糾弾し、

8. 労働条件をディーセントな(人間らしい)レベルまで引き上げることともに、複雑な搾取や酷使と闘うという問題を労働組合の主要なアプローチとするべき点にも留意し、

9. さらに、漁船員の大半が真正な労働組合に加入していないことを認識し、

10. ITFが「漁獲から売り場まで(キャッチャー・トゥー・カウンター)」キャンペーンを、標的とする分野で漁船員を組織する際の労働組合の手段として維持することを提案し、

11. 水産業の便宜置籍船(FOC)に関する議論を進展させたり、セミナーを実施したりすることを含め(水産のITFインスペクターの役割を発展させる活動の継続も含まれるだろう)、適切な資金を割り当てることをITFに求める。これにはITFファミリーの一員として漁船員が利用する支援・援助システムの見直しも含めるべきだ。

第23号決議:新自由主義的鉄道政策

2014年8月10~16日にソフィア(ブルガリア)で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 1980年代末に最初に人気を博した、細分化・自由化・民営化の新自由主義的鉄道政策は、2008年に世界を席卷した経済危機が、グローバル資本主義のための支配的イデオロギーのパラダイムとしての新自由主義の有効性に疑問を投げかけたにもかかわらず、依然として鉄道産業で推進的なトレンドとなっていることに留意し、

2. ITF加盟の韓国鉄道労組(KRWU)が2013年12月に実施した23日間ストと、スト支援のためにITFおよび世界の組合が実施した国際連帯行動は、韓国政府による鉄道細分化・民営化の試みに対する闘争であるのみならず、世界の鉄道労働者が新自由主義的な鉄道政策を前に、もはや引き下がることはないという宣言であることを認識し、

3. さらに、韓国政府と同様、各国政府や欧州委員会等の政府間組織が新自由主義的な鉄道改革を追及しているが、組合がこれに反撃していることを認識し、

4. 各国政府や世界の鉄道産業の使用者が、公共の鉄道サービスを維持するために不可避である営業赤字を、労働者の雇用・労働条件を脅かす構造改革を実施するための口実にしていることを強調し、

5. 新自由主義的細分化・自由化・民営化によって引き起こされる諸問題を含む産業の傾向について情報交換したり、主要な使用者や政府を標的とする連帯行動を実施したりすることは、新自由主義的鉄道政策に反対する国内および国際の運動を強化するとともに、これらの運動をグローバルな運動にまとめるのに役立つことを強調し、

6. 以下を実施することで、新自由主義的鉄道政策への反対闘争を行っている世界の組合間のコミュニケーションと連帯を大幅に強化することをITF書記局およびITF加盟組合に要請する。

- ・ 新自由主義政策反対闘争に

従事したことがある、あるいは現在従事している鉄道労組間の定期的なコミュニケーションのためのシステムを構築する。

- ・ 特に、過去に新自由主義政策反対闘争を行ったことのある組合の経験が、現在同様の運動を行っている組合にとって重要な資源になる場合において、加盟組合間の情報・戦略交換を強化する
- ・ 主要な政府および使用者に反対する合同の連帯行動にコミットする
- ・ このような行動を動員・実施するためのシステムを構築する

第24号決議: メキシコシティの交通運輸と移動

2014年8月10-16日にブルガリアのソフィアで開催された第43回ITF大会は、

1. 移動に関する問題は、世界の主要都市の無秩序な成長とは切り離して考えられないということに留意する。メキシコシティもその例外ではない。世界で2番目に過密な都市と見なされており、交通が経済活動に影響を与え、国際競争力を低下させ、何百万人ものメキシコ人の時間を奪い、結果として生活の質を低下させている。
2. メキシコシティの拡大(メキシコ国家統計地理情報局(INEGI)によると、2010年には連邦区に800万人以上が居住していた)に伴い、移動、幹線道路の管理、交通運輸、そして生活の質への需要が高まっている。またメキシコシティの都市インフラの加速度的な成長は、環境を汚染する温室効果ガスの排出増加にもつながっており、その76%は交通運輸に由来するものである。したがって交通運輸は、国際的な環境に対する圧力や関連する社会的影響を通じ、持続可能な開発という観点において多大な影響力を持っている。
3. メキシコ人は自宅から職場までの移動を効率的な交通運輸と輸送システムに頼っており、交通運輸と移動のしやすさは需要の根幹を成している。連邦区交通省(SETRAVI)によると、メキシコシティでは1日の移動者数が420万人に達し、一方で、連邦区内の交通運輸網は全長1万キロを超える。これらの数字は、メキシコシティのインフラがどれほど消耗し、また移動の問題がいかに重要であるかを証明するものである。
4. もう一つの要因は、走行する車両数の増加である。日々増加する車両数(2013年には毎日496台が増加)によって、移動に4~6時間もかかるなど、より多くの時間を要するようになり、また心身にさらなる疲労を生みだしている。
5. 近代的で柔軟な交通運輸を目指す上で、メキシコシティの移動の問題は重要である。メキシコシティが2013年に「持続可能な

交通賞」を受賞したこともあり、移動の問題は、意識向上と新しい移動文化創造のための公共政策に対する多大な関心と呼んだ。持続可能な移動というものが、交通手段としての自家用車の利用やエネルギー源としての石油の使用を減らすことで、今よりも経済・社会・環境的に少ないコストで人々や物資の輸送を可能にするシステムであるとすれば、それはすなわち現在と未来の世代の生活の質を守るために、人間の行動を変化させようとしていることを意味している。

6. 今やメキシコシティの交通運輸の重要性は明らかであり、早急な改革が必要な部門の1つである。ご存知のように、都市の損耗や渋滞の原因となっている自家用車という輸送形態が、市内の移動の30%を占めており、それが開発交通という現象につながっている。一方、自家用車を使わない移動を魅力あるものにするため、公共交通や非駆動系交通への投資を推進する必要がある。
7. 現在、メキシコシティは、メトロ、ライトレール、郊外鉄道、トロリーバス、メトロバスやMexibus(BRT)、エコバス、マイクロバス、ミニバス、タクシーなどの交通機関を通じて移動手段を提供している。その他、車の使用と大気汚染物質排出の削減に役立つ選択肢として、最近では自転車の利用もある。しかし、これらのサービスはさまざまな問題を抱えており、結果として公共交通は低品質で計画の不十分なものとなっている。
8. 以上のことから、持続可能な公共交通、つまり技術的に可能で、市民の移動需要を十分に満たし、迅速かつ円滑でシンプルな人の流れを生みだし、環境を汚染せず、制度的な支援組織があり、構築・長期的な維持が財政的に実行可能な交通運輸の推進と発展が、メキシコシティの本質的な要求の中心であると言える。しかし、最も重要な要素は人間に関わる部分である。
9. これらを達成するため、メキシコ路面電車労働者連合は、便利、安全、効率的、無公害の交通手段である路面電車、ライトレール、トロリーバスといった電動の交通ネットワークの発展を推進しており、また管理、維持、

利便性、運行範囲、運行計画、安全の問題にも取り組んでいる。これらは、未来の移動を担う交通手段である。

10. 以上のことから、メキシコシティにおける前述の交通機関の利用促進のため、国際運輸労連(ITF)に支援を求める。社会的、環境的な負担を最小化し、社会全体の利益を最大化するような移動モデルの構築が優先課題となる。電動の公共交通(トrolleyバス、ライトレールやハイブリッドバス)は、著しく増加する自家用車や、環境を悪化させているフランチャイズ化された無秩序な公共交通(マイクロバス、ミニバス、タクシー)に取って代わる将来の選択肢の一つと言える。これらを踏まえた上で、電気車両の台数を増やし、それにより環境への配慮を続けていく利点を強調するため、ITFのグローバルレベルの目的に即した形で、連邦区の行政の長であるミゲル・アンヘル・マンセラ・エスピノサ宛(gobiernodf@df.gob.mx)に書簡を送るよう求める。

11. 質の高い生活を実現することが、メキシコシティのずさんな交通計画の問題解消につながると認識している。世界の主要都市で交通形態が変化しているように、メキシコシティがすべての人にとって持続可能な交通運輸を重視し、人に優しい包括的な場所となるための都市設計構想、そして将来のニーズを十分に満たすような都市部での移動の必要性を強調する。

第25号決議：日本航空による不当解雇

2014年8月10～16日にソフィア(ブルガリア)で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 日本航空(JAL)が会社更生法のもとに更生計画を進める中、84名の客室乗務員と81名の運航乗務員が解雇され、解雇された165名のうち、客室乗務員71名、運航乗務員70名が解雇無効を求め、東京地方裁判所、次いで控訴裁判所にそれぞれ訴訟を起こしたことを認識する。本大会はまた、東京高等裁判所が東京地方裁判所の判決を支持し、165名の解雇は有効であるとの判決を、客乗裁判では2014年6月3日に、乗員裁判では6月5日に下したことに留意する。
2. 東京高等裁判所が2012年6月に出されたILO勧告について客乗判決では一切触れず、乗員裁判においては『本件に関して何らかの具体的措置を我が国の国家機関に要請するものではなく、労働組合において中心的役割を担ってきた者を解雇してはならないという内容のものとはいえない』と述べていることを留意する。
3. JALの当時の最高経営者が「経営上解雇の必要がなかった」と証言し、「人員削減目標を達成していた」との被解雇者側の立証の当否が明らかにされないままに、裁判所が更生計画に人員削減が書かれていることを根拠に解雇有効との判決を下したことに留意する。
4. 会社更生計画が履行される過程で生じた人員削減策に関して、裁判所による十分な証拠調べが尽くされずその結果として事実認定を誤るような場合には、労働者の基本的権利が侵害され損なわれる可能性があることを憂慮する。
5. 裁判所が「整理解雇の人選基準」として「年齢」と「病歴」を合理的と判断したことについて留意する。
6. 被解雇者の中に現職の委員長及び多くの労働組合活動家が含まれ実質的に労働組合の弱体化を招いていることに憂慮する。

7. この解雇問題がITF及びIFALPAを含む支援を受けてILO結社の自由委員会に申し立てを行い、同委員会から日本政府対して「会社と労働組合が復職について交渉をするよう指導する」勧告を出されていることに留意する。

8. JALの不当解雇以降、これまで1820名の客室乗務員を採用し、現在新人パイロットの公募を開始する一方、被解雇者の職場復帰にむけた労働組合との交渉が実質的に行われないことに留意する。

9. 本大会は日本政府に対してはILO勧告の履行を、そしてJALに対しては早期全員の復職を求めるJAL被解雇者の闘いを引き続き支援することを決議する。

第26号決議：MH17後の航空の安全と保安

8月10日～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. クアラルンプールからアムステルダムへ向かうマレーシア航空MH17便が2014年7月17日に墜落した悲劇に世界の交通労働者が大きなショックを受けていることを認識する。
2. 我々の兄弟姉妹が何ら罪のない犠牲者298名に含まれていたことや、このテロ行為の影響が世界中のITF加盟組合に直ちに及んでいることを考慮する。我々の心は、この悲惨な出来事の影響を受けた全ての人々と共にある。
3. MH17便の墜落の責任が誰にあるかと、これは明らかにテロ行為であり、適切な捜査が実施され、科学的な判断が行われるべきであると考え。航空事故調査官には、残骸の痕跡から墜落原因を特定するために必要な手段と条件が与えられるべきである。
4. MH17便の悲劇的墜落の前に、ウクライナ軍用機が撃墜され、紛争地域の上空を飛行する危険性が既に指摘されていたものの、この危険なルートの飛行禁止措置は出されていなかったことに留意する。紛争開始以来、多くの航空会社がこの地域の飛行を自主的に回避していたが、迂回することで燃料費がかさみ、減益を意味することから、回避を選択しなかったものもあった。
5. 航空業界が進む国際的な自由化、規制緩和、熾烈な競争を背景に、ここ20数年間、容赦なきコスト削減が行われてきたことを考慮する。これらの厳しい市場環境の中で、多大な商業的圧力を背負った航空会社は、利益と競争力を守るために、労働者や旅客の命を危険にさらす等のリスクを冒すこととなる。
6. 飛行ルートの保安・安全のアセスメントを危険にさらす大規模かつ長期的な武力紛争を回避するための適切な手続きを考案し、個々の航空会社の判断に委ねることのないようにすることをICAOに要請する。今日のグローバル化した世界においては、ICAO理事会が航空労働者

および旅客の保安・安全を確保するための決定を許されるべきである。

7. 各国政府、業界、航空労組間の新たなレベルの協力を求める。航空運送事業の日々の現実に直面している人々や、自らの命が危険に晒されている人々の声を適切に反映させることが不可欠である。

第27号決議：マレーシア航空

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 未だ解決を見ていないMH370便の行方不明事件から5か月も経たないうちに、東ウクライナでMH17便が悲劇的な墜落に遭ったことにより、マレーシア航空が再び混乱に陥っていることを考慮し、
2. マレーシア航空の労働者に思いを馳せ、連帯を差し伸べる時であることを認識し、ITF加盟組合の組合員は、客室乗務員乗務員であれ、地上勤務員であれ、15名の客室乗務員を含む298人のむこの人々の命を奪った恐ろしい墜落事故に個人的に心を痛めている。
3. 現在、マレーシア航空の将来に疑念が持たれているが、そのようなことがあってはならない。またもや、外部的ショックがもたらす経済的な影響により、個々の航空労働者が苦しめられている。雇用や労働条件の面で航空労働者が直接的につけを支払うことが当然視されている。
4. また、マレーシアの国際貿易は航空や航空労働者に依存しており、マレーシアの経済のかなりの部分が航空サービスに依存していることを考慮し、政府がこれ以上深刻な経済的影響を避けたいのであれば、国の航空産業の中核を担っている国営航空を保護する必要がある。
5. 航空産業がこれ以上テロ行為の犠牲になることを許すべきではないため、公共の利益のための前向きな方策を取ることをマレーシア政府に求める。世界中の航空労組の仲間の一員として、マレーシア政府が決意をもって積極的に航空産業を支援することを期待する。
6. 航空輸送はもはや単なる商業サービスと見なされるべきではない点で合意することをマレーシア政府と世界中の政府に求める。航空産業は保安コストが高く、政治情勢に脆弱であるが、このことは、航空輸送が特別な取り扱いを受けるべきことを意味している。
7. 悲しみに暮れているマレーシア

航空の労働者の雇用と労働条件を守るため、マレーシア政府とITF加盟のマレーシア航空従業員労組 (MASEU) が協力し、マレーシアに相応しい効果的かつ適切な解決法を見出すよう求める。

第43回世界大会の動議の取り扱い

動議番号	表題	審議した会議	結果	決議番号	備考
1	人権および労働組合権	全体会議	そのまま採択	1	
2	安全で衛生的な職場環境を含む基本的な組合権および民主主義的権利の尊重と遵守の実践をスワジランド政府に求める	全体会議	そのまま採択	2	
3	チリにおける結社の自由、団体交渉、企業間組合	全体会議	そのまま採択	3	
4	ギリシア人船員の基本的権利に対する攻撃	船員総会	そのまま採択	14	
5	ベネズエラ・ポリバル共和国の交通労働者との連帯	全体会議	そのまま採択	4	
6	キューバ国民への連帯	全体会議	修正後、採択	5	決議委員会の第2報告書(43cRCom Report2) 参照
7	パレスチナ	全体会議	撤回	—	
8	中東	全体会議	撤回	—	
9	世界平和	全体会議	修正後、採択	7	
10	特に航空部門における反労組の湾岸諸国に対する国際キャンペーン	全体会議	そのまま採択	10	
11	女性に対する暴力	全体会議	そのまま採択	12	
12	青年労働者の活動	全体会議	修正後、採択	13	決議委員会の第2報告書(43cRCom Report2) 参照
13	全加盟組織に開かれたITF執行委員会	全体会議	撤回	—	
14	メキシコシティー・ポリシー: 自国籍船; 相互尊重と連帯	船員港湾合同総会	撤回	—	
15	外航船の交渉プロセスにおける労働供給国労組の役割	船員港湾合同総会	公正慣行委員会 (FPC) に付託	—	
16	便宜置籍船 (FOC) に関するITFポリシーを見直す必要性について	船員港湾合同総会	公正慣行委員会 (FPC) に付託	—	
17	FOC船で働く船員の年金	船員港湾合同総会	提案者欠席により不採択	—	
18	チリ国際船籍	船員港湾合同総会	そのまま採択	20	
19	船員の福利	船員総会	提案者欠席により不採択	—	
20	船内の業務、疲労、配乗	船員総会	修正後、採択	15	船員総会報告書(43cSConf Report) 参照
21	船員の公正な処遇	船員総会	修正後、採択	16	船員部会総会報告書(43cSConf Report) 参照
22	雇用詐欺	船員総会	そのまま採択	17	
23	欧州の海運	船員総会	そのまま採択	18	
24	特にパキスタンに関する商船の危機	船員総会	そのまま採択	19	
25	内陸水運労働者のためのILO条約	内陸水運総会	そのまま採択	21	

26	漁業産業	水産総会	修正後、採択	22	決議委員会の第2報告書 (43cRCom Report2) 参照
27	新自由主義的鉄道政策	鉄道総会	そのまま採択	23	
28	ITFの「私たちの公共交通」キャンペーンの促進	全体会議	そのまま採択	11	
29	メキシコシティの交通運輸と移動	都市交通総会	そのまま採択	24	
	日本航空による不当解雇	民間航空総会	そのまま採択	25	決議委員会の第1報告書 (43cRCom Report) 参照
	MH17後の航空の安全と保安	民間航空総会	そのまま採択	26	決議委員会の第1報告書 (43cRCom Report) 参照
	マレーシア航空	民間航空総会	そのまま採択	27	決議委員会の第1報告書 (43cRCom Report) 参照
	環大西洋貿易投資パートナーシップ (TTIP) に関するITF の見解	全体会議	そのまま採択	9	決議委員会の第2報告書 (43cRCom Report2) 参照
	アルゼンチンの経済を阻害するバルチャーファンド (ハゲタカ・ファンド) の行動を非難する	全体会議	そのまま採択	6	決議委員会の第2報告書 (43cRCom Report2) 参照
決議委員会	パレスチナ	全体会議	そのまま採択	8	決議委員会の第2報告書 (43cRCom Report2) 参照
A	現行の慣行の反映	全体会議	そのまま採択	—	
B	執行委員会と運営委員会の強化	全体会議	そのまま採択	—	
C	副会長	全体会議	そのまま採択	—	
D	欧州運輸労連 (ETF)	全体会議	そのまま採択	—	
E	加盟費問題プロセスの改善作業を支援する	全体会議	そのまま採択	—	
F	世界大会における女性の利益代表の増加				
	全体会議	修正後、採択	—	修正動議 (43c修正動議) 参照	

資格審査委員会の報告

1. 資格審査委員会が2014年8月11日に開催された。委員は次の通り。
 - アフリカ・アラブ
Lucien Razafindraibe (SYGMMA、マダガスカル)
 - アジア・太平洋
CA Rajasridhar (AIRF、インド)
Mary Liew (SMOU、シンガポール)
 - 欧州
Agis Tselentis (PNO、ギリシャ)
Flemming Smidt (3F、デンマーク)
Jaime Peacock (UNITE、英国)
Torben Seebold (VERDI、ドイツ)
 - 中南米・カリブ
Ann Anderson (CCWU、ガイアナ)
 - 北米
Ingo Esders (ILA、米国)
Leslie Dias (UNIFOR、カナダ)
 - オブザーバー
Simon Weller (加盟問題検証グループ)
Diana Holland (女性委員会)
Travis Harrison (青年委員会)
2. PNO (ギリシャ) のアギス・テレンティスを議長に選出し、資格審査委員会の報告者を議長が兼務することで合意した。
3. 執行委員会の勧告を承認し、以下に合意した。
 - ・ 2014年度加盟費を完納済の組合および未納加盟費の支払い計画が加盟問題検証グループ (MVG) に承認された組合の大会参加資格承認を大会に勧告すること。
 - ・ MVGの決定の実施を資格審査委員会に任せることについて、大会の承認を勧告すること。
4. ライブの審査プロセスが初めて導入され、資格審査委員会開催後にもデータ更新が可能となった。最新データは添付の通り。
5. 2014年8月11日(月)午前10時までに登録された代議員の資格審査の結果、304組織が規約第17条(4)を満たしていると判断され、大会資格が即時確認された(別紙1)。MVGにより加盟費納入計画を承認された19組織の資格も即時確認された(別紙2)。
6. 20組織が規約第17条(4)を満たしていないと判断され、オブザーバー資格での参加となった(別紙3)。大会開催中に加盟費を完納した場合の資格変更の権限が資格審査委員会議長とMVGに付与された。
7. 8月11日(月)午前10時より後に到着した代議員の資格を審査、決定し、資格審査委員会を代表して行動する権限が資格審査委員会議長とMVGに付与された。
8. 大会開始4週間前までに委任状を提出した3組織(表1参照)が、規約17条(4)を満たし、代理参加となることが確認された。
9. 大会開始4週間前までに委任状を提出したが、規約17条(4)を満たしていない2組織(表2参照)の代理参加が認められないことが確認された。
10. 大会開始前4週間を過ぎてから委任状を提出した10組織(表3参照)の代理参加が確認された。

表1

組合	代理に指名された組合
1. MSG (日本)	全国港湾 (日本)
2. 全自交労連 (日本)	私鉄総連 (日本)
3. SINCOMAR (ポルトガル)	SEMM (ポルトガル)

11. 資格審査委員会の勧告とそれに伴う議長の実行に基づく代議員名簿が配布される。これによると、112か国の378組織（うち13組織が代理参加）から代議員594人、アドバイザー610人が参加する。総投票数は4,114。
12. これまでに、女性代議員93人、女性アドバイザー155人の登録が確認された。資格審査委員は、規約第4条(5)の勧告「代表団が4人以上から構成される場合は、少なくとも1人の女性代議員を確保するように努力する」に従っていない参加組織が8組織だけだったことを嬉しく感じた。
13. 執行委員会提案の規約改正動議F「世界大会における女性の利益代表の増加」および「大会だけでなく、ITF機構や加盟組合の機構においても」女性の利益代表の増加を求める修正提案6に留意した。
14. これまでに、35歳未満の代議員77人、アドバイザー162人の登録が確認された。資格審査委員は、規約4条(5)の勧告「代表団が6人以上から構成される場合は、少なくとも1人の青年代議員を確保するように努力する」に従っていない参加組織が29組織だけだったことを嬉しく感じた。
15. 女性あるいは青年の代議員確保を遵守していない加盟組合のリストを添付する（別紙4および5）。
16. 規約第17条(4)を満たす加盟組織から、書記長候補者として1名が推薦されたことに留意した。
17. ITFの役職の候補者推薦は、規約第17条(4)を満たす加盟組織、あるいはMVGに加盟費納入計画を承認された加盟組織からのみ受け付けることで合意した。
18. また、動議の提案およびセコンド（支持）は、代議員資格を有する者、つまり、所属組織が規約第17条(4)を満たしている、あるいは、MVGに加盟費納入計画を承認されている者のみが行うことで合意した。

表2

組合	代理に指名された組合
1. ギリシャ港湾労連 (ギリシャ)	汎ギリシャ船員連盟 (PNO) (ギリシャ)
2. SMMCMM (ポルトガル)	SITEMAQ (ポルトガル)

資格審査委員長
アギス・テレンティス

表3

組合	代理に指名された組合
1. ロシア航空労組 (ロシア)	ロシア・コミュニケーション労組 (ロシア)
2. キルギス鉄道運輸建設労組 (キルギスタン)	ロシア鉄道運輸建設労組 (ロシア)
3. ロシア航空レーダー・無線ナビゲーション・コミュニケーション労組 (ロシア)	ロシア鉄道運輸建設労組 (ロシア)
4. ロシア自動車・路面運輸労組 (ロシア)	ロシア鉄道運輸建設労組 (ロシア)
5. アゼルバイジャン共和国海運独立労組 (アゼルバイジャン)	ロシア船員組合 (ロシア)
6. 西ロシア船員海事労組 (ロシア)	ロシア船員組合 (ロシア)
7. ロシア航空管制官連盟 (ロシア)	ロシア船員組合 (ロシア)
8. イラン商船員組合 (イラン)	FIT-CISL (イタリア)
9. ISASCATI (イタリア) *	FIT-CISL (イタリア)
10. UILTRASPORTI (イタリア)	FIT-CISL (イタリア)

*部分参加。代議員が退場した後に投票が実施された場合、FIT-CISL に委任。

決議委員会の第一 報告書

1. 2014年8月11日に決議委員会が開催された。委員は次の通り。
アフリカ・アラブ
George Turkieh (LCCA、レバノン)
Tabudi Abner Ramakgolo (SATAWU、南アフリカ)
アジア・太平洋
George Abraham (AEIG、インド)
Mich-Elle Myers (MUA、オーストラリア)
Jose Raul Lamug (AMOSUP、フィリピン)
欧州
Mark Dickinson (NI、英国) (議長)
Brigitta Paas (FNV、オランダ)
Katrien Verwimp (ACV-Transcom、ベルギー)
Jan Villadsen (3F、デンマーク)
Fátima Aguado Queipo (FSC-CC.OO、スペイン)
Katarina Mindum (RTUC、クロアチア)
中南米・カリブ
Ivan de la Guardia (UCOC、パナマ)
2. 北米
Owen Herrnstadt (IAM、米国)
Travis Harrison (UNIFOR、カナダ)
2. 英国のマーク・ディキンソンを議長に選出し、決議委員会の報告者を議長が兼務することで合意した。
3. 非公式の決議作業グループの報告書が執行委員会で審議され、執行委員会の勧告が決議委員会に出されたことに留意した。
4. 緊急動議の提出を2014年8月11日午後5時に締め切ることが執行委員会で承認されたことに留意した。
5. 第14号動議「メキシコシティー・ポリシー：自国籍船、相互尊重、連帯」は撤回されたので、修正動議も議論されないことに留意した。
6. 修正動議に関する大会議案書（43c修正動議）において、第15号動議に対する修正提案4の部分に、編集上の誤りがあった。

表 1.

動議	標題	修正動議
1	人権および労働組合権	無
2	安全で衛生的な職場環境を含む基本的な組合権および民主主義的権利の尊重と遵守の実践をスワジランド政府に求める	無
3	チリにおける結社の自由、団体交渉、企業間組合	無
5	ベネズエラ・ボリバル共和国の交通労働者との連帯	無
6	キューバ国民への連帯	無
10	特に航空部門における反労組の湾岸諸国に対する国際キャンペーン	無
11	女性に対する暴力	無
12	青年労働者の活動	無
13	全加盟組織に開かれたITF執行委員会	無
28	ITFの「私たちの公共交通」キャンペーンの促進	無
A	現行の慣行の反映	無
B	執行委員会と運営委員会の強化	無
C	副会長	無
D	欧州運輸労連 (ETF)	無
E	加盟費問題プロセスの改善作業を支援する	無
F	世界大会における女性の利益代表の増加	修正提案6

たことに留意した。 ※交運労協注：日本語版は修正済

- i. 以下の通り、線で消した言葉を削除し、下線の文言を加え、第6段落を修正する：

したがって、2011年11月の公正慣行委員会・運営グループ(FPC-SG)でメキシコシティ・ポリシーの実施について採択されたガイドラインに明記された基準を実施するよう、ITF船員部に要求する。それにより、受益船主国の組合と労働供給国の組合は、FOC船に関する交渉プロセスにおいて、また、可能な場合、類似の二国間関係を自国籍船の組合と労働供給国の組合の間で醸成し、自国籍外航商船での二国間関係において、積極的な役割を主張することができるだろう。その結果、労働供給国の船員が継続して適切な保護と社会保障を職場や、居住地において受けられるようになり、船員の最大の利益を確保する上で正当であり、理に適っている。

表 2

動議	標題	修正動議
15	外航船の交渉プロセスにおける労働供給国労組の役割	修正提案 4 修正提案 5
16	便宜置籍船 (FOC) に関するITFポリシーを見直す必要性について	無
17	FOC船で働く船員の年金	無
18	チリ国際船籍	無

表 3

動議	標題	修正動議
4	ギリシア人船員の基本的権利に対する攻撃	無
19	船員の福利	無
20	船内の業務、疲労、配乗	無
21	船員の公正な処遇	無
22	雇用詐欺	無
23	欧州の海運	無
24	特にパキスタンに関する商船の危機	無

表 4

動議	標題	修正動議
25	内陸水運労働者のためのILO条約	無

表 5

動議	標題	修正動議
26	漁業産業	無

表 6

動議	標題	修正動議
27	新自由主義的鉄道政策	無

表 7

動議	標題	修正動議
29	メキシコシティの交通運輸と移動	無

表 8

動議	標題
第1号緊急動議	日本航空による不当解雇
第2号緊急動議	MH17後の航空の安全と保安
第3号緊急動議	マレーシア航空

7. 表4の動議を全体会議に付託することで合意した。
8. 第7号動議、第8号動議、第9号動議の提案者がこれらの動議の内容について協議しており、これらの動議の次回決議委員会への付託を検討することに合意した。
9. 表5の動議を船員港湾合同総会に付託することで合意した。
10. 表6の動議を船員部会総会に付託することで合意した。
11. 表7の動議を内陸水運部会総会に付託することで合意した。
12. 表8の動議を水産部会総会に付託することで合意した。
13. 表9の動議を鉄道部会総会に付託することで合意した。
14. 表10の動議を都市交通委員会に付託することで合意した。
15. 複数の緊急動議が受理されたことに留意した。表11の動議(別紙1)は真に緊急の性質を持つという基準を満たしているため、民間航空部会総会に付託することが合意された。

16. これらの他に、産別の問題に関する3つの緊急動議を議論したが、真の緊急性の基準を満たしていなかったため、大会議論に付されないこととなった。
17. 緊急動議の受付を締め切った後に、緊急動議について議論する

ための決議委員会を開催し、その報告書を大会に提出することで合意した。また、次回決議委員会の前に開催される総会に提出された緊急動議については、対応の権限を決議委員会議長に付託することで合意した。

第1号緊急動議：日本航空による不当解雇

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 日本航空（JAL）が会社更生法のもとに更生計画を進める中、84名の客室乗務員と81名の運航乗務員が解雇され、解雇された165名のうち、客室乗務員71名、運航乗務員70名が解雇無効を求め、東京地方裁判所、次いで控訴裁判所にそれぞれ訴訟を起こしたことを認識する。本大会はまた、東京高等裁判所が東京地方裁判所の判決を支持し、165名の解雇は無効であるとの判決を、客乗裁判では2014年6月3日に、乗員裁判では6月5日に下したことに留意する。
2. 東京高等裁判所が2012年6月に出されたILO勧告について客乗判決では一切触れず、乗員裁判においては『本件に関して何らかの具体的措置を我が国の国家機関に要請するものではなく、労働組合において中心的役割を担ってきた者を解雇してはならないという内容のものとはいえない』と述べていることを留意する。
3. JALの当時の最高経営者が「経営上解雇の必要がなかった」と証言し、「人員削減目標を達成していた」との被解雇者側の立証の当否が明らかにされないままに、裁判所が更生計画に人員削減が書かれていることを根拠に解雇有効との判決を下したことに留意する。
4. 会社更生計画が履行される過程で生じた人員削減策に関して、裁判所による十分な証拠調べが尽くされずその結果として事実認定を誤るような場合には、労働者の基本的権利が侵害され損なわれる可能性があることを憂慮する。
5. 裁判所が「整理解雇の人員基準」として「年齢」と「病歴」を合理的と判断したことについて留意する。
6. 被解雇者の中に現職の委員長及び多くの労働組合活動家が含まれ実質的に労働組合の弱体化を招いていることに憂慮する。

7. この解雇問題がITF及びIFALPAを含む支援を受けてILO結社の自由委員会に申し立てを行い、同委員会から日本政府に対して「会社と労働組合が復職について交渉をするよう指導する」勧告が出されていることに留意する。

8. JALの不当解雇以降、これまで1820名の客室乗務員を採用し、現在新人パイロットの公募を開始する一方、被解雇者の職場復帰にむけた労働組合との交渉が実質的に行われないことに留意する。

9. 本大会は日本政府に対してはILO勧告の履行を、そしてJALに対しては早期全員の復職を求めるJAL被解雇者の闘いを引き続き支援することを決議する。

提案者：

JALキャビンクルーユニオン（CCU）

第2号緊急動議：MH17後の航空の安全と保安

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. クアラルンプールからアムステルダムへ向かうマレーシア航空MH17便が2014年7月17日に墜落した悲劇に世界の交通労働者が大きなショックを受けていることを認識する。
2. 我々の兄弟姉妹が何ら罪のない犠牲者298名に含まれていたことや、このテロ行為の影響が世界中のITF加盟組合に直ちに及んでいることを考慮する。我々の心は、この悲惨な出来事の影響を受けた全ての人々と共にある。
3. MH17便の墜落の責任が誰にあると、これは明らかにテロ行為であり、適切な捜査が実施され、科学的な判断が行われるべきであると考え。航空事故調査官には、残骸の痕跡から墜落原因を特定するために必要な手段と条件が与えられるべきである。
4. MH17便の悲劇的墜落の前に、ウクライナ軍用機が撃墜され、紛争地域の上空を飛行する危険性が既に指摘されていたものの、この危険なルートの飛行禁止措置は出されていなかったことに留意する。紛争開始以来、多くの航空会社がこの地域の飛行を自主的に回避していたが、迂回することで燃料費がかさみ、減益を意味することから、回避を選択しなかったものもあった。
5. 航空業界で進む国際的な自由化、規制緩和、熾烈な競争を背景に、ここ20数年間、容赦なきコスト削減が行われてきたことを考慮する。これらの厳しい市場環境の中で、多大な商業的圧力を背負った航空会社は、利益と競争力を守るために、労働者や旅客の命を危険にさらす等のリスクを冒すこととなる。
6. 飛行ルートの保安・安全のアセスメントを危険にさらす大規模かつ長期的な武力紛争を回避するための適切な手続きを考案し、個々の航空会社の判断に委ねることのないようにすることをICAOに要請する。今日のグローバル化した世界において

は、ICAO理事会が航空労働者および旅客の保安・安全を確保するための決定を許されるべきである。

7. 各国政府、業界、航空労組間の新たなレベルの協力を求める。航空運送事業の日々の現実に直面している人々や、自らの命が危険に晒されている人々の声を適切に反映させることが不可欠である。

提案者：

オーストラリア交通運輸労組 (TWU)

第3号緊急動議：マレーシア航空

2014年8月10～16日にソフィア(ブルガリア)で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 未だ解決を見ていないMH370便の行方不明事件から5か月も経たないうちに、東ウクライナでMH17便が悲劇的な墜落に遭ったことにより、マレーシア航空が再び混乱に陥っていることを考慮し、
2. マレーシア航空の労働者に思いを馳せ、連帯を差し伸べる時であることを認識し、ITF加盟組合の組合員は、客室乗務員乗務員であれ、地上勤務員であれ、15名の客室乗務員を含む298人のむこの人々の命を奪った恐ろしい墜落事故に個人的に心を痛めている。
3. 現在、マレーシア航空の将来に疑念が持たれているが、そのようなことがあってはならない。またもや、外部的ショックがもたらす経済的な影響により、個々の航空労働者が苦しめられている。雇用や労働条件の面で航空労働者が直接的につけを支払うことが当然視されている。
4. また、マレーシアの国際貿易は航空や航空労働者に依存しており、マレーシアの経済のかかなりの部分が航空サービスに依存していることを考慮し、政府がこれ以上深刻な経済的影響を避けたいのであれば、国の航空産業の中核を担っている国営航空を保護する必要がある。
5. 航空産業がこれ以上テロ行為の犠牲になることを許すべきではないため、公共の利益のための前向きな方策を取ることをマレーシア政府に求める。世界中の航空労組の仲間の一員として、マレーシア政府が決意をもって積極的に航空産業を支援することを期待する。
6. 航空輸送はもはや単なる商業サービスと見なされるべきではない点で合意することをマレーシア政府と世界中の政府に求める。航空産業は保安コストが高く、政治情勢に脆弱であるが、このことは、航空輸送が特別な取り扱いを受けるべきことを意味している。
7. 悲しみに暮れているマレーシア

航空の労働者の雇用と労働条件を守るため、マレーシア政府とITF加盟のマレーシア航空従業員労組 (MASEU) が協力し、マレーシアに相応しい効果的かつ適切な解決法を見出すよう求める。

提案者：

マレーシア航空従業員組合 (MASEU)

決議委員会の第二 報告書

1. 2014年8月13日に決議委員会を開催した。委員は次の通り。

アフリカ・アラブ地域
George Turkieh (LCCA, Libanon)
Tabido Abner Ramakgolo (SATAWU, Sydafrika)

アジア太平洋地域
George Abraham (AIEG, Indien) Mich-Elle Myers (MUA, Australien)
Jose Raul Lamug (AMOSUP, Filipinerna)

欧州
Mark Dickinson (NI, Storbritannien)
(ordförande) Birgitta Paas (FNV, Nederländerna) Katrien Verwimp (ACV-Transcom, Belgien)
Jan Villadsen (3F, Danmark)
Fatima Aguado Queipo (FSC CCOO, Spanien)
Katarina Mindum (RTUC, Kroatien)

中南米・カリブ
Ivan de la Guardia (UCOC, Panama)

北米
Owen Herrnstadt (IAM, USA)
Travis Harrison (UNIFOR, Kanada)
2. 決議委員会の委員と第7号動議、第8号動議、第9号動議の提案者との協議を経て、決議委員会は、新たな動議（別紙1）を全体会議に提案することとする。また、第9号動議の提案者が第5項の削除に合意したが、修正版（別紙2）として、全体会議で議論することとする。
3. 第13号動議は、提案者が撤回した。
4. 執行委員会が設定した締切日までに提出された次の緊急動議（別紙3）を全体会議に付託する。

第4号緊急動議
環大西洋貿易投資パートナーシップ (TTIP) に関するITFの見解

第5号緊急動議
アルゼンチンの経済を阻害するバルチャーファンド（ハゲタカ・ファンド）の行動を非難する
5. 締切日までに提出された他の3本の緊急動議は、真の緊急性という基準を満たしていないため、議論しないことで合意した。
6. 第6号動議、第12号動議、第26号動議の提案者と協議した結果、修正案について合意に達した。修正版は別紙4の通り。
7. この決議委員会の後に発生したその他の問題を処理する権限を決議委員会議長に与えることで合意した。
8. 大会の直前に開催された執行委員会において、決議委員会への付託事項に、決議のプロセスの見直し、最善慣行の検討、執行委員会への勧告、大会で採択された4か年活動計画の実施の支援を加えることで、大会で選出される決議委員会の権限を拡充することが合意されたことに留意する。

別紙1

決議委員会提案動議：パレスチナ

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. ガザの紛争が継続中であり、主に民間人の犠牲者1962人を生み出していることに驚愕し、
2. 以下を宣言する、国際労働組合総連合（ITUC）の「ガザに関する行動」を支持することを確認し、

「ガザの死傷者の圧倒的多数は、どこにも逃げることができずに閉じ込められた民間人である。ここ数日間、民間施設および国連のインフラ（民家、学校、病院、ガザ唯一の発電所等）は破壊され、現在およびこの軍事行動が停止された後もずっと、パレスチナの人々に深刻な影響をもたらすだろう。これらの行動や無差別攻撃を正当化できるものは何もない。

労働者とその家族は、交渉による即時停戦と190万人の封鎖の中止を求める世界の訴えに賛同している。また、我々は、国際社会が喫緊に必要なとされているガザへの人道支援（食糧、飲料水、医療、発電機等）を行うことを要請する。しかし、イスラエルとパレスチナの人々の間の恒久平和と相互理解の唯一の方法は、パレスチナの領土の占領を止めることだ。

よって、我々は、全ての国が交渉による即時停戦の仲裁を支援することを求める。民間人に対する攻撃は国際法に反し、我々は国連が求めているアカウンタビリティ（説明責任）と正義を支持する。従って、直接的・間接的な武器の輸送の即時全面禁止を求める。しかしそれだけでは終わらない。米国やエジプトだけでなく、国際社会全体が、両者を交渉のテーブルに着かせ、占領の集結と両者に安定と尊重の精神を根付かせる解決策に到達させるための行動を直ちに取らなければならない。

3. ITFと加盟組合がいち早くガザに医療物資や人道支援を提供したことを讃え、全てのITF加盟組

合にITFガザ基金を支援するよう要請する。

4. 以下の文言を含む、ITUCの2014年5月のベルリン総会の声明「労働者の力の構築：平和と民主主義」を支持する：

「国際法と、特に国連安全保障理事会の第242号決議および338号決議の正当性に従い、我々は、イスラエルによるパレスチナの占領を非難し、イスラエルとパレスチナの公正かつ持続可能な平和のための動員を行う

ITUCは以下を求める：

- ・ イスラエルによる違法な入植地建設を終わらせ、既存の入植地を撤去し、1967年6月4日時点の境界線に従い、イスラエルがパレスチナの土地から撤退する。また、違法な分離壁を撤去する。
 - ・ これらの要求は、パレスチナの人々の自決権と、東エルサレムを首都とする、自由かつ独立したパレスチナ国家を樹立する権利を確認し、公平、正義、包括的な平和の達成を支持する」
5. 国際労働界の積極的なキャンペーンとともに、このITUCの大会決議を全面的に支持し、懸命に取り組む。

提案者：

決議委員会

別紙2

第9号動議：世界平和

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 現在の資本主義の危機が世界に深い不安定の時期をもたらしたことを認識し、
2. この危機の結果、帝国主義国家間の争いが一層激しくなり、これらの国々はその経済的、財政的支配力の下、侵略戦争を通じて、領土拡大を模索することとなったと確信し、
3. リビアやマリ戦争は、国民の意思に反し、また、ITF加盟組合の利益にも真っ向から反し、特定の階級の利益のために実施されたことに留意し、
4. さらに、シリアに対する継続的侵略に留意し、あらゆる種類の帝国主義的侵略の終焉を求め、
5. 北大西洋条約機構（NATO）のような侵略的軍事同盟を否定し、主権国家間の相互尊重と自由な協力に基づく世界平和を求める。

提案者：

全英鉄道海事運輸労組（RMT、英国）

別紙3

第4号緊急動議: 環大西洋貿易投資パートナーシップ (TTIP) に関するITFの見解

2014年8月10~16日にソフィア(ブルガリア)で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 国際運輸労連 (ITF) が150か国、700労組を代表し、世界中で470万人の組合員の利益を擁護していることに留意し、
2. 欧州と米国の貿易をさらに自由化することを目的とした、環大西洋貿易投資パートナーシップ (TTIP) の交渉を開始する権限が当事者 (欧州と米国) に与えられたことを受け、ITFは以下の立場をとる。
3. 金融危機後において、労働者の状況を改善し、行き詰まった多国間協議を再活性化させる可能性のある、多様性の向上、グローバル規制の枠組みの改善、投資の流れ、成長など、ITFはこのような大規模のパートナーシップ協定がもたらし得る恩恵に関して様々な報告がなされていることを認識する。しかし、ITFは欧州委員会が出した雇用創出と成長に関する最も野心的な予測すら、控えめなものである点にも留意する。さらに、ITFは、現行の低関税に反映されるように、欧州と米国は投資や貿易の面で既に比較的小互いに開かれていることも認識する。また、ITFは公正な貿易と持続可能なグローバル化を擁護しており、TTIPによって、万が一EU域内市場が南部のEU加盟国やアフリカ・カリブ海・太平洋 (ACP) 諸国や後発開発途上国 (LDC) との貿易を減少させることになった場合、ITFは貿易の交渉者に悪影響を緩和することを要求する。
4. ITFはTTIP交渉を始める前に、以下の二つの条件が満たされることを要求する。第一に、欧州も米国もともに法制度が成熟していることを考慮し、国家と投資家の間の紛争解決メカニズム (ISDS) を交渉の対象から外さなければならない。法律や政治に対し、企業がそこまで大きな権力をふるうべきではない。国

家は多国籍企業が国家を訴えることを恐れることなく、独自に政治的決定が行えなければならない。第二に、社会的 (賃金の) ダンピングを避けるため、ITF はILOの中核的労働基準や、社会権、労働権に関するEUの最低基準を認識する法的拘束力をもつ条項を貿易協定に含めることを求める。このため、EUの交渉者は米国の交渉者がILOの全ての中核的基準を批准することを求めるべきだ。社会保障、団体交渉、労働時間、雇用条件、公衆衛生、情報、協議に関する権利や保護を包含する欧州法やEU各国の法律や規則が、貿易の非関税障壁と見なされるべきではなく、TTIPによって異議が申立てられるべきではない。

5. ITF は欧州委員会と米国の同等機関に、交通運輸に関する欧州の社会的パートナーと包括的な協議を適切なタイミングで行うことを含め、社会的パートナーが各産業で発生する可能性のある影響を評価することができるよう、透明性の高い交渉を行うことを要求する。
6. 交通運輸産業を産業の成長を確保する上での重要産業と認識し、それゆえに、TTIP交渉においても、特別の位置づけをもたせることをITFは要求する。
7. 特に、創出される雇用の質についてなど、ITF は欧州委員会の雇用創出に関する主張に慎重に対応し、社会面や環境面の基準を含む、厳格な持続可能性影響アセスメントが社会的パートナーとの協議のもとに実施されるまで、市場開放の提案はなされるべきではないと考える。
8. 自然人の移動 (第4モード) の存在を通じ、サービスの提供に関する条項をさらに自由化することは、移民の搾取的な労働関係を促進したり、地域の賃金や労働条件に下方圧力をかけたりするリスクがあるため、ITFはこれに反対する。交渉により、労働法や社会法のもとに地域社会が既に備えている要素に異議が唱えられるべきではないとITFは要求する。あらゆる人間が法の前で平等であることと、差別から保護されることは、普遍的権利である。越境労働者 (大部分は女性) の不公正処遇など、

労働者の権利の侵害を阻止する条項を盛り込むことを労働組合との協議により、追求するべきだ。

9. ITFは、TTIP に強力な環境保護条項を包括させるべきと考える。
10. ITF はTTIPによって、公共調達が開かれ、自由化されるべきではないと考える。税金が持続可能で、地域や社会、環境の発展、特に、公契約の労働条項に関するILO第94号条約を確実に考慮した形で使われるように担保するため、物やサービスを購入するにあたり、公的機関は社会的、環境的基準を活用することができてしかるべきだ。そのような政策が貿易の障壁と見なされることがあってはならない。
11. ITFは戦略的かつ長期的視野で TTIP を観察し、今後の二国間の貿易協定に影響を及ぼすべく、TTIPが「優れたスタンダード」を満たした協定になるよう担保することをTTIP交渉者に求める。

提案者:

スウェーデン運輸労組

第5号緊急動議：アルゼンチンの経済を阻害するバルチャーファンド（ハゲタカ・ファンド）の行動を非難する

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 2014年6月16日に米連邦最高裁が、バルチャーファンドに対するアルゼンチン政府の上告を棄却したが、これらのバルチャーファンドはアルゼンチン政府の元々の債権者から値下がりした債権を底値で買い取り、合法的な手段を通じて全額の利払いを求めており、こうすることで、利回りの僅かな上昇で、少額の初期「投資」に多額な利益がもたらされることを考慮し、
2. これらのバルチャーファンドの一つであるNMLキャピタル（エリオット・マネージメント・コーポレーションの子会社）は、旅客輸送の多国籍企業であるナショナル・エクスプレスの最大株主（22%）であり、ナショナルエクスプレスの米国部門、ダーラム・スクール・サービスは反労組の企業であるという事実を認識し、
3. NMLキャピタルは2008年にアルゼンチン国債を約5千万米ドルで購入したが、米国の判決によって、それらの国債を8億米ドル以上で買い取らせることが可能となり、たった6年間で1,600%の利回りを確保したことを考慮し、
4. エリオット・マネージメント・コーポレーションと、その創設者でCEOのポール・シンガーは、2002年にガーナでアルゼンチンの訓練船、フリゲート艦リベルタードを拘留したことで既にITFに非難されていることを想起し、
5. 先に出されたバルチャー・ファンドに有利な判決は、多くの政府、国際産別組織（GUF）のほか、国際通貨基金（IMF）からも強い批判を招いたことを想起し、
6. 米国の裁判所は、少数のならず者の投機家の利益を支持することで、10数年前のアルゼンチン政府の債務不履行の後に大幅な債務減免に自主的に応じた9割以上の債権者に対するしっかりした返済を脅かすことを懸念と共に留意し、

7. バルチャー・ファンドが、途上国の債務再編への努力を台無しにさせたり、国家が国際法の下に国民を守る権利を奪ったりすることを許さないことが重要であることを認識し、
8. アルゼンチンとその労働者にとってのみならず、世界の全ての国にとって、また各国が経済を刺激し雇用を創出する能力にとっての深刻な脅威を防ぐ必要性があることを確信し、
9. アルゼンチンの経済を阻害することを目的とし、同国の労働力に直接的な影響が及ぶ、バルチャー・ファンドの容赦なき利益戦略を非難し、
10. バルチャー・ファンドに対するアルゼンチン政府の上告を棄却した2014年6月16日の米連邦最高裁の決定を非難し、
11. 米連邦最高裁の決定を拒否するとともに、国家経済の発展を支援し、ひいては、雇用拡大につながる、国家債務に関する公正、独立かつ透明な仲裁制度の創設に向けた活動を開始するよう、関係規制機関に求める国際社会の要請に加わる。

提案者：

AAA、APA、APLA、ASFA、CCU OMM、CONR、Fraternidad、SO MU、UPSA、Ferrovial（以上アルゼンチン）

別紙4

第6号動議：キューバ国民への連帯

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. メキシコ大会の重要な決議、特に、キューバ側が国際連帯へのコミットメントを示し、ITFがキューバとの協力・関与を促進し、国連が違法と認める制裁の中止を求める上で重要な役割を果たさなければならないと確信していることを歓迎している点を認識し、
2. キューバのラウル・カストロ大統領が、最近行われたネルソン・マンデラの葬儀で米国のバラク・オバマ大統領と握手するという象徴的な意思表示を歓迎し、
3. キューバ国民の主権および外部からの干渉なしに自由に自分たちの運命を決定する権利を認識し、
4. パディー・クラムリンITF会長、デビッド・コックロフト書記長、ボブ・クローRMT前書記長、アントニオ・フリッツITF中南米地域事務所長により構成される歴史的なITF代表団が、SNTTPの執行委員会を訪問し、また、その後、SNTTP代表団がITF執行委員会を訪問したことに特に留意し、
5. ITFに加盟する中南米の民間航空労組、鉄道労組、港湾労組等とキューバの労働者との間に構築された前向きな関係や、メキシコ大会決議の積極的な実施を認識し、
6. 長期的和解の障害の一つは、米国で投獄された「5人のキューバ人」の3人が未だに投獄されている点であることに留意し、
7. メキシコ決議の完全実施のために、この活動を引き続き加盟組合および書記局のレベルで実施することをITF全加盟組織に求める。

提案者：

全英鉄道海事交運労組（RMT、英国）

第12号動議：青年労働者の活動

2014年8月10～16日にソフィア（ブルガリア）で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 今日の青年交通運輸労働者は、現在および将来の労働運動のリーダーであると認識し、
2. もともと2006年のダーバン大会で開始された、ITF青年活動に対する青年労働者の参加増について進展がなされていることを認識し、
3. ITF産別部会が青年交通運輸労働者の活動を増加させたことを認識し、
4. ITFの地域のほとんどで青年交通運輸労働者の活動レベルが増えていることを認識し、
5. 青年交通運輸労働者総会、2回の青年交通運輸労働者サマースクール、青年交通運輸労働者プログラムが成功裏に実施されたことを認識し、
6. 数か国において、多数の組合・組織で青年交通運輸労働者委員会が成功裏に設立、認知されたことを認識し、

本大会は、

7. 青年活動家の重要性や、彼らを訓練して、より重要な責任を負わせる必要性が高まっていることに留意し、
8. 各部会および地域は、大きく異なる問題やニーズを抱えていることに留意し、
9. 各部会・地域に適切な青年交通運輸労働者組織を設立することは、これら特定の懸念への対応にとって重要かつ為になることに留意し、
10. 将来立ち上げられるべき青年交通運輸労働者プログラムには大きな可能性が秘められているが、資源が限られていることに留意し、

さらに、本大会は、

11. 青年交通運輸労働者活動を増加させるために、青年機構の創設をITF加盟組織に促すよう、ITFに要請し、

12. ITF書記局に専従のコーディネーター1名を配置することは、青年交通運輸労働者問題の重視を求める要請に大きくかなうと認識し、

13. 今日および明日の組合指導者の成功に向けて、より深い責任感とコミットメントを持ってもらうために、青年交通運輸労働者プログラムにしっかりと焦点をあて、かつ継続的に実施していくために青年交通運輸労働者コーディネーター1名を書記局が確保するのを支援するよう、世界大会で加盟組織に要請する。事務的な支援は必要に応じて行われるべきである。当面の活動は以下の通りだが、これらに限定されない。

- ・ 既に実施中の活動を支援したり、成長と向上の余地がある分野の活動を促進したりすることによって、ITFの産別部会、部署、地域の青年交通運輸労働者プログラムに貢献する

- ・ ITF加盟組合と連携し、青年交通運輸労働者のオルグ活動を支援し、全加盟組合がより組織的な方法で青年交通運輸労働者をオルグすることに焦点をあてる

- ・ ITF書記局、執行委員会、青年委員会、加盟組合の間で連携をとる

- ・ 青年交通運輸労働者の組合員の統計やマッピングを継続し、グローバルな青年交通運輸労働者のネットワークを拡大させる

- ・ 青年交通運輸労働者委員会を退任した委員数名に引き続き関与してもらうことを目的とする「青年交通運輸労働者諮問グループ」の設立を青年交通運輸労働者計画の中に盛り込ませるよう書記局を支援する。

- ・ 大会から大会までの期間において、各地域総会や世界のレベルで、青年交通運輸労働者ための行事をしっかりと実施する

- ・ ITFの活動を青年交通運輸労働者にとって、より関係のあるものするとともに、青年

交通運輸労働者の問題をITFの優先活動計画に盛り込ませることを目的とする、青年交通運輸労働者の「グローバル関与プログラム」を促進させる

- ・ 当面は、グローバル・デリバリー（SCALOPチーム）、便宜港湾（港湾部会）、LATRM（民間航空部会）、質の高い公共サービス（路面運輸部会）等の優先活動を通じて、青年交通運輸労働者がオルグ・プロジェクトやキャンペーン・プロジェクトに関与するのを支援し、その後、他の産別活動（女性活動計画を含む）に拡大させていく

- ・ ITF本部を通じて行われている活動と地域の優先活動との重要な連携を確保し、地域における青年交通運輸労働者の関与を支援する

- ・ 他の国際産別組織（GUF）やその青年労働者プログラムとの緊密な協力を、当面は一般的な協力体制が既に存在するところ（例えば、UNI、インダストリアル、IUF、PSI等）から行い、その後、他に拡大していく。

- ・ 青年交通運輸労働者の活動を促進させるために、青年交通運輸労働者のための積極的なインターンシップ制度を開発・促進する

- ・ ITFの財政を守るために、このような青年交通運輸労働者のエンパワーメント活動のために外部から資金を募る方法を検討する

14. 本決議が実際に実施され、財政的に支援される方法を直ちに決定するとともに、進捗状況を書記局から定期的に報告を受けるよう執行委員会および運営委員会に要請する

提案者：

AAA（アルゼンチン）

FSC-CCOO（スペイン）

シンガポール船員組合（SOS）

Ver.di（ドイツ）

第26号動議:漁業産業

2014年8月10~16日にソフィア(ブルガリア)で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 以下に留意する:

- ・ 漁業資源は食用たんぱく生産の重要な部分を占めている。世界の漁獲量は1950年には168万トンであり、1996年に8,640万トンでピークに達したことを想起しておく。2010年の世界の漁業生産量は1億5,500万トン、漁獲量は7,740万トンだった。
- ・ 欧州連合は中国、ペルーに次ぎ、第三の水産大国だ。2013年に欧州で消費された漁業生産物の7割以上が輸入されたものだった。
- ・ 漁獲の大部分が依然として違法・無規制・無報告(IUU)漁業に依存している。2008年9月29日に発表されたIUU漁業に関する欧州理事会(EC)規則1005/2008では漁獲だけが考慮されるが、いかなる社会的要件も設定されていない。
- ・ 拡大する市場の需要と効果的な監視と管理策を実施することが困難なことがIUU漁業の従事者にインセンティブを与える要素になっている。
- ・ 2014年3月24日にEU理事会はベリーズ、コロンビア、ギニアなど、IUU漁業を実施していることが証明された国との水産物の貿易に関する一連の施策を発表した。これら3か国の旗を掲げる漁船の漁獲物がEU諸国に輸入されることはもはや許可されなくなる一方、EU加盟国の漁船がこれら3か国の水域で漁業を行うことも許可されなくなる。

2. さらに、「サブスタンダード(基準以下)」の国の旗を掲げる漁船に継続的な操業を許し、労働者を搾取して得た漁獲物を合法的な市場で売ることを許可する一方で、純粋な環境政策をもとに海洋を「保護する」ことは不適

切かつ悲惨なことであることをさらに認識し、

3. あらゆる交通運輸労組が主張を行い、交渉する中で、企業の社会的な責任の文脈で推奨されているモデルに基づく新たなアプローチを採用することを提案する。
4. このモデルを活動家が理解し、実施するための訓練を促進するべきであり、訓練には継続的なグローバル化と交通運輸の規制緩和とともに発生する新たな課題を包括するべきである。
5. さらに、労働組合は尊敬される交渉相手としてのイメージを完璧なものとするため、長期的には交通輸送活動を中心に活動するボランティアグループ、ユーザーや消費者、環境保護団体、研究者や開発者のチームなどとも協力するすべを学ぶ必要があることも提案し、
6. ITF水産委員会は、世界の漁業産業で働く漁船員が耐え難い搾取、および(あるいは)甚だしい人権侵害に苦しめられている事態を憂慮していることにさらに留意する。このこともIUU漁業を大きく助長する要因となった。
7. 漁業産業におけるそのような許容できない慣行を見て見ぬふりをしている世界中の多くの水産会社や政府の行動を糾弾し、
8. 労働条件をディーセントな(人間らしい)レベルまで引き上げることともに、複雑な搾取や酷使と闘うという問題を労働組合の主要なアプローチとするべき点にも留意し、
9. さらに、漁船員の大半が真正な労働組合に加入していないことを認識し、
10. ITFが「漁獲から売り場まで(キャッチャー・トゥー・カウンター)」キャンペーンを、標的とする分野で漁船員を組織する際の労働組合の手段として維持することを提案し、
11. 水産業の便宜置籍船(FOC)に関する議論を進展させたり、セミナーを実施したりすることを含め(水産のITFインスペクターの役割を発展させる活動の継続も含まれるだろう)、適切な資

金を割り当てることをITFに求める。これにはITFファミリーの一員として漁船員が利用する支援・援助システムの見直しも含めるべきだ。

提出者:

Fédération Générale des Transports et de l'Equipelement - CFDT (フランス)

ニュージーランド海事組合 (MUNZ)

ニュージーランド商船組合 (NZMSG)

各部会・委員会総会の報告書
青年総会、女性総会の報告書

港湾部会総会報告書

1. 港湾部会総会は2014年8月12日に開催された。

議題1: 報告者の選出

2. レイ・ファミラッセ (ILWU、米国) が報告者に選ばれた。

議題2: 大会テーマ文書

3. 大会テーマ文書が設定した広範な組織化戦略の文脈の枠組みにおける、港湾部会の優先課題と向こう4年間の活動計画について、港湾部長がプレゼンを行った。議題2と3を一緒に扱い、このプレゼンを受けて会場から多くの意見が上がったが、提起された主な問題は以下の通りだった:

- ・ 港湾の民営化
- ・ グローバル・ネットワーク・ターミナル (GNT) への対応と組織化
- ・ 連帯能力の強化
- ・ 港湾の自動化

4. これら全ての問題に共通するテーマは、巨大なグローバル企業が運営・管理している港と、小規模の民営化港の両方で、企業が利益を上げる一方、労働者や組合の力を弱体化させようとしている点だ。議論から、以下の戦略を含む、これらの問題への対応策が浮き彫りになった:

- ・ 組合間の調整
- ・ 港湾産業の変化に対応するため、異なる交通産業が緊密に連携する。
- ・ 船員との関係を強化し、便宜港湾との闘いにおいて、船員からより積極的な支援を求める。
- ・ 中国の労働組合を含めた、国内、地域内における組合同士の関係の改善。
- ・ GNT横断的に労働者や組合の連帯を構築する。
- ・ 組合を破壊することを目的とした自由化には反対し、自動化導入にあたっては、交渉権、新規雇用、訓練、自動化の恩恵の分配、時短や社会

条項の導入などに関して最低基準を設置することを要求する。

5. 港湾部会は、新たな課題に取り組む前に、主なキャンペーンに集中し、それを優先化し、勝利を収める必要がある点が認識された。

6. 総会は大会テーマ文書を提案通り採択した。

議題3: 4カ年活動計画

7. 議題3の議論は上述の議題2の議論とともに行われた。

8. 議長が議論をまとめ、特にGNTキャンペーンを強化するため、効果的なりサーチやマッピング、コミュニケーション、ネットワーク構築を通じ、港湾部会が課題に直面する準備を進めることの必要性を強調した。活動計画実施のために資源を確保しなければならなかったが、そうして確保した資源は、地域での実施のため、地域にも割り振られるべきだ。

9. 総会は港湾部会の2014-2018年の活動計画を提案通り、承認した。

議題4: 動議

10. 決議委員会によって本総会に付託された動議はなかったが、オーストラリア海事組合 (MUA) が提出したテーマ文書の別紙2 (自動化について) を議論した。

議題5: 選挙

11. 以下の役員が選ばれた:

議長

Paddy Crumlin (MUA, オーストラリア)

第1副議長

Ray Familathe (ILWU, 米国)

第2副議長

Torben Seibold (Verdi, ドイツ)

女性代表

Monique Verbeeck (BTB, ベルギー)

青年代表

Anthony Dailey (SITREBALCRI, パナマ)

一般委員

Arasu Duaraisamy (SPWU, シンガポール)
 Joe Fleetwood (MUNZ, ニュージーランド)
 糸谷欽一郎 (全国港湾、日本)
 P M Mohammed Haneef (CPSA, インド)
 Marc Loridan (BTB, ベルギー)
 Steve Biggs (UNITE, 英国)
 Aleksejs Holodnuks (UTAF, ラトビア)
 Niek Stam (FNVB, オランダ)
 Jose M Pérez Vega Artime (UGT, スペイン)
 Said El-Hairech (UMT, モロッコ)
 Simon Sang (KDWU, ケニア)
 Daniel Owusu - Koranteng (MDU, ガーナ)
 Alvin Sinclair (BITU, ジャマイカ)
 Roberto Coria (SGGM, アルゼンチン)
 Mark Gordienko (ILWU, カナダ)
 John Baker, (ILA, 米国)

承認オブザーバー Vasilij Kozarenko (DUR, ロシア)

12. 総会参加者は別紙1の港湾部会委員会の構成に合意した。
13. 総会参加者は公正慣行委員会・運営グループ (FPC-SG) の委員として、以下のメンバーを推薦することで合意した：

アフリカ・アラブ

Said El Hairech (UMT, モロッコ)

アジア太平洋

PM Mohammed Haneef (CPSA, インド)
 玉田雅也 (日本)
 Joe Fleetwood (MUNZ, ニュージーランド)

欧州

Marc Loridan (BTB, ベルギー)
 Pantelis Stavrou (キプロス)
 Aleksejs Holodnuks (ラトビア)
 Niek Stam (オランダ)

中南米・カリブ

Michael Annisette (SWWTU, トリニダードトバゴ)

北米

Mark Gordienko (ILWU, カナダ)

議題6: その他

14. 港湾部長がポーラ・ハミルトン部次長が、ITF内部で3年間、他の部署に異動することになったと報告し、ハミルトンのこれまでの貢献と努力に対し、謝辞を述べた。

15. 議長は港湾部会を代表し、港湾部会の第1副議長を退任するラース・リンドグレンのこれまでの貢献に謝辞を述べた。
16. その他の討議事項はなかった。

別紙1

港湾部会委員会

2014年8月12日時点

港湾部会役員	
議長	Paddy Crumlin (MUA, オーストラリア)
第1副議長	Ray Familathe (ILWU, 米国)
第2副議長	Torben Seebold (ver.di, ドイツ)
女性代表	Monique Verbeek (BTB, ベルギー)
青年代表	Anthony Dailey (SITREBALCRI, パナマ)
アフリカ・アラブ	
議長	Judith Abuka (DWU, ケニア)
委員	Simon Sang (KDWU, ケニア)
委員	Daniel Owusu-Koranteng (MDU, ガーナ)
委員(アラブ地域)	Said El-Hairech (UMT, モロッコ)
アジア太平洋	
議長	Yong Soo Chi (KFPTWU, 韓国)
委員	Arasu Duaraisamy (SPWU, シンガポール)
委員	Joe Fleetwood (MUNZ, ニュージーランド)
委員	糸谷欽一郎 (全国港湾、日本)
委員	P M Mohammed Haneef (CPSA, インド)
欧州	
議長	Terje Fenn-Samuelsen (NTF, ノルウェー)
委員	Marc Loridan (BTB, ベルギー)
委員	Steve Biggs (UNITE, 英国)
委員	Aleksejs Holodnuks (UTAF, ラトビア)
委員	Niek Stam (FNVB, オランダ)
委員	Jose M Pavez Vega Artime (UGT, スペイン)
中南米・カリブ	
議長	Mayo Uruguai Fernandes (CONTTMAF, ブラジル)
委員	Alvin Sinclair (BITU, ジャマイカ)
委員	Roberto Coria (SGGM, アルゼンチン)
北米	
議長	John Baker (ILA, 米国)
委員	Mark Gordienko (ILWU, カナダ)

水産部会総会報告書

1. 水産部会総会は2014年8月13日に開催された。

議題1: 報告者の選出

2. ジョニー・ハンセン(ノルウェー)が報告者に選ばれた。

フレミング・シュミット(デンマーク)と近英夫(日本)が投票立会人に選ばれた。

ヘレン・マッカーラ(ニュージーランド)とルシアン・ラザフィンドライブ(マダガスカル)が投票集計人に選ばれた。

議題2: 大会テーマ文書

3. 総会参加者は、全体会議で採択された大会テーマ文書に明記された戦略を歓迎した。
4. 全日本海員組合の高橋が3年半前の東日本大震災の際に支援と連帯を寄せてくれたITFと加盟組合に謝辞を述べた。総会参加者は、水産加工業は依然として震災の影響を受けているが、前進しており、政府の継続的支援により、間もなく通常にもどることが期待できるとの報告に留意した。

議題3: 4カ年活動計画

5. ITF/IUFプログラムリーダーが水産部会と国際食品労連(IUF)が実施している活動についてプレゼンを行い、労働者を搾取する非道な組織との闘いと、プログラムのこれまでの成功に焦点をあてた。また、パプアニューギニアを例に挙げ、今後の計画を述べた。
6. 総会参加者は、現在まで、同プログラムを成功に導いてきたプログラムリーダーの功績を称え、謝辞を述べた。
7. 会場から数人の発言があり、向こう4年間の活動計画と優先課題について議論を行い、以下の点が提起された:

- ・ バングラデシュには、100隻以上の遠洋漁船があり、米と魚が国の主な収入源となっている。水産業界では3,500人以上が働いているが、そのうち150名しか組織していない。漁船員の賃金

が低すぎて組合費を払えないからだ。他の組合も、同様の問題(特に低賃金と劣悪な労働条件)を抱えている。

- ・ 水産業における労働者の社会的保護の優先課題であるILO188号条約については、複数の国の参加者が批准のために政府に圧力をかけていると述べた。
- ・ インドネシアにおける「水産福祉プログラム」を向こう4年間、継続的に活動計画に含める。
- ・ インドにおいてスリランカ人漁船員が、またスリランカでインド人漁船員が拘束されているケースについて懸念が表明されたが、これは両国の政府がこうした問題に対処する適切なシステムを備えていないためだ。
- ・ ITFは既に海事女性リーダーシッププログラムを開始したが、今後は同プログラムが産業界で働く女性にも広げられることになる。
- ・ マダガスカルが近い将来、LO188号条約批准に動くことが期待される。団体協約締結を目指し、新たな企業への接触も開始しているが、欧州の加盟組合に支援してもらう必要がある。

8. リベリアでは、世界銀行が支援した西アフリカ水産(WAF)プロジェクトによって、西アフリカの漁船員の生活に悪影響が及んだ。総会は、問題によりよく対処するため、この問題に関するさらなる情報提供を書記局に要請した。

議題4: 動議

9. 総会参加者は、決議委員会から付託された以下の動議を検討した:

第26号動議: 漁業産業

10. マッカーラ(NZMSG、ニュージーランド)がプレゼントを行い、動議を紹介した。
11. 総会参加者は、以下の修正の後、動議を採択した:

11段落:

議題6:その他

2008年にストックホルムで議論したように、水産業の便宜置籍船(FOC)に関する議論を進展させたり、セミナーを実施したりすること、また、水産業におけるITFインスペクター制度の役割を発展させるという、現在進行中の活動を継続させることも包括する一連のセミナーを実施するなどことまたそこから生じてきたことだが、水産業界の搾取を監視し、「漁獲から売り場まで」キャンペーンの成功確保を支援するFOCインスペクターを新たに任命することを含め、適切な資金を割り当てることをITFに求める。これにはITFファミリーの一員として漁船員が利用する支援・援助システムの見直しも含めるべきだ。

シトラ・ミナ

IUF代表のブケトフとアギラー(フィリピン)がシトラ・ミナ・キャンペーンの際に受けた支援について、総会参加者に謝辞を述べ、請願書に署名をすることで、水産加工業で組合の権利と承認を勝ち取るための闘いを今後も継続的に支援してくれるよう求めた。総会参加者はシトラ・ミナの闘争を支援することで合意した。

奴隷労働

ガーディアン紙が作成した映画「タイの奴隷労働」が上映された。

12. 修正済みの動議を別紙2として添付する。

議題5:選挙

総会は以下の役員を選出した:

議長

Johnny Hansen (NSU, ノルウェー)

第1副議長

Lucien Razafindraibe (SYGMMA, マダガスカル)

第2副議長

高橋健二(全日本海員組合、日本)

第3副議長

Juan Manuel Trujillo (CC.OO, スペイン)

第4副議長

Jorge Vargas (SOMU, アルゼンチン)

女性代表

Tracey Mayhew (SIU, 米国)

青年代表

Jose Emiliano Moreira (SOMU, アルゼンチン)

一般委員(欧州)

Michel Claes (BTB、ベルギー)

Anti Bjarnason (FFSI、アイスランド)

Petr Oshinski (SUR、ロシア)
フランス(空席)

総会参加者は、別紙1の水産部会委員会の構成に合意した。

2014年8月13日時点

水産部会役員	
議長	Jonny Hansen (NSU、ノルウェー)
第1副議長	Lucien Razafindraibe (SYGMMA、マダガスカル)
第2副議長	高橋健二 (全日本海員組合、日本)
第3副議長	Juan Manuel Trujillo (CCOO、スペイン)
第4副議長	Jorge Vegas (SOMU、アルゼンチン)
女性代表	Tracy Mayhew (SIU、米国)
青年代表	Jose Emilliano Moreira (SOMU、アルゼンチン)
アフリカ・アラブ	
議長	Lucien Harinony Razafindraibe (SYGMMA、マダガスカル)
副議長	Adam Darmane (FESYTRAT、トーゴ)
副議長	Manuel Deliquene Vuende (SINTMAP、モザンビーク)
副議長 (アラブ地域)	空席
アジア・太平洋	
議長	高橋健二 (全日本海員組合、日本)
副議長	Kyeong Doo Yeom (FKSU、韓国)
副議長	Sonny Pattiselanno (KPI、インドネシア)
副議長	Helen McAra (NZMSG、ニュージーランド)
ETF 水産部会	
議長	Juan Manuel Trujillo (CCOO、スペイン)
副議長	Flemming Smidt (3F、デンマーク)
副議長	Jacques Bigot (FGTE-CFDT、フランス)
女性代表	Sylvie Roux (FGTE-CFDT、フランス)
中南米・カリブ	
議長	Jorge Vargas (SOMU、アルゼンチン)
副議長	Luis Panteado (CONTTMAF、ブラジル)
副議長	Eric Alberto Riffo Paz (SIOMOT、チリ)
副議長	Lucrecia Ruiz (SICONARA、アルゼンチン)
北米	
議長	空席

2014年8月10～16日にソフィア (ブルガリア) で開催された第43回ITF世界大会は、

- 以下に留意する:
 - 漁業資源は食用たんぱく生産の重要な部分を占めている。世界の漁獲量は1950年には168万トンであり、1996年に8,640万トンでピークに達したことを想起しておく。2010年の世界の漁業生産量は1億5,500万トン、漁獲量は7,740万トンだった。
 - 欧州連合は中国、ペルーに次ぎ、第三の水産大国だ。2013年に欧州で消費された漁業生産物の7割以上が輸入されたものだった。
 - 漁獲の大部分が依然として違法・無規制・無報告 (IUU) 漁業に依存している。2008年9月29日に発表されたIUU漁業に関する欧州理事会 (EC) 規則1005/2008では漁獲量だけが考慮されるが、いかなる社会的要件も設定されていない。
 - 拡大する市場の需要と効果的な監視と管理策を実施することが困難なことがIUU漁業の従事者にインセンティブを与える要素になっている。
 - 2014年3月24日にEU理事会はベリーズ、コロンビア、ギニアなど、IUU漁業を実施していることが証明された国との水産物の貿易に関する一連の施策を発表した。これら3か国の旗を掲げる漁船の漁獲物がEU諸国に輸入されることはもはや許可されなくなる一方、EU加盟国の漁船がこれら3か国の水域で漁業を行うことも許可されなくなる。
- さらに、「サブスタンダード (基準以下)」の国の旗を掲げる漁船に継続的な操業を許し、労働者を搾取して得た漁獲物を合法的な市場で売ることを許可する一方で、純粋な環境政策をもとに

海洋を「保護する」ことは不適切かつ悲惨なものであることをさらに認識し、

という、現在進行中の活動を継続させることも包括する一連のセミナーを実施するなど、適切な資金を割り当てることをITFに求める。

3. あらゆる交通運輸労組が主張を行い、交渉する中で、企業の社会的な責任の文脈で推奨されているモデルに基づく新たなアプローチを採用することを提案する。
4. このモデルを活動家が理解し、実施するための訓練を促進するべきであり、訓練には継続的なグローバル化と交通運輸の規制緩和とともに発生する新たな課題を包括するべきである。
5. さらに、労働組合は尊敬される交渉相手としてのイメージを完璧なものとするため、長期的には交通輸送活動を中心に活動するボランティアグループ、ユーザーや消費者、環境保護団体、研究者や開発者のチームなどとも協力するすべを学ぶ必要があることも提案し、
6. ITF水産委員会は、世界の漁業産業で働く漁船員が耐え難い搾取、および（あるいは）甚だしい人権侵害に苦しめられている事態を憂慮していることにさらに留意する。このこともIUU漁業を大きく助長する要因となった。
7. 漁業産業におけるそのような許容できない慣行を見て見ぬふりをしている世界中の多くの水産会社や政府の行動を糾弾し、
8. 労働条件をディーセントな（人間らしい）レベルまで引き上げることともに、複雑な搾取や酷使と闘うという問題を労働組合の主要なアプローチとするべき点にも留意し、
9. さらに、漁船員の大半が真正な労働組合に加入していないことを認識し、
10. ITFが「漁獲から売り場まで（キャッチャー・トゥー・カウンター）」キャンペーンを、標的とする分野で漁船員を組織する際の労働組合の手段として維持することを提案し、
11. 水産業の便宜置籍船（FOC）に関する議論を進展させたり、セミナーを実施したりすること、また、水産業におけるITFインスペクター制度の役割を発展させる

提出者:

**Fédération Générale des
Transports et de l'Équipement
- CFDT (フランス)**

**ニュージーランド海事組合
(MUNZ)**

**ニュージーランド商船組合
(NZMSG)**

1. 船員港湾合同総会は2014年8月13日に開催された。

議題1: 報告者の選出

2. レーナ・ディリング (NSU、ノルウェー) が報告者に選ばれた。

議題2: 4カ年活動計画

3. 議長が大会テーマ文書と部会の優先課題を紹介し、今後の運動の在り方と向こう4年間の活動を定めるのは総会参加者だと述べた。
4. 多くの発言が会場からなされ、4年間の活動計画と優先課題について議論した後、2014-2018年の優先課題を採択した。その詳細は以下の通り:

FOC (便宜置籍船) キャンペーン

- ・ 港湾・船員合同組織化キャンペーンまたは船員の組合活動を活発化させるキャンペーンのうち最低2つ以上を完了させる。
- ・ 海上労働条約 (MLC) の効果的实施
- ・ ITF協約増加を通じ、船員の賃金と労働条件を改善する。主要業界プレイヤーと継続的に対話をもつ。
- ・ メキシコシティ・ポリシーの実施

インスペクター制度の見直し

- ・ インスペクター制度への書記局の支援を向上する。
- ・ ITFインスペクターとコーディネーターの評価とメンター制を導入する。
- ・ 業績の芳しくないインスペクターとコーディネーターを管理する方策を導入する。
- ・ ITFインスペクターとコーディネーターの選抜と任命について新たな手続きを導入する。
- ・ 可能な場合、FOC/POC調整委員会を設置する。

FOCとPOCのインターフェース(接点)

- ・ 地域、国、国際のあらゆるレベルでFOC-POC活動を強化する。
- ・ 船員と港湾労働者を活発化させる、2つのFOC-POC組織化活動の実施。

5. 議長が議論をまとめ、闘いを継続して前に進めるためには、地域レベルで強い組合を構築することが不可欠だと再度述べた。

議題3: 動議

6. 総会は、決議委員会によって本総会に付託された以下の動議について検討した:

第14号動議: メキシコシティ・ポリシー: 自国籍船; 相互尊重と連帯

7. 提出組合の要請で本動議は撤回され、総会はその旨に留意した。

第15号動議: 外航船の交渉プロセスにおける労働供給国労組の役割

8. AMOSUPが本動議、修正提案5、さらに、妥協を図るべく追加した文言について紹介した。PNOが修正提案4を紹介し、これは細心の注意を要する問題であり、今回の総会では時間が足りず、さらなる議論が必要であるため、FPCに付託し、さらに検討と議論を進めるよう要請した。

9. 本動議に対する反応とそれに続く修正提案は動議を支援する意見と、メキシコシティ・ポリシーは既に存在するのだから、さらに議論が必要であるという懸念を示す意見に等しく二分されていた。

10. 提出組合の要請により、本動議は撤回されるが、書記局、FPC運営グループ、FPCにおいてさらに議論を行うことが留意された。

第16号動議: 便宜置籍船 (FOC) に関するITFポリシーを見直す必要性について

11. 総会は、メキシコシティ・ポリシーが依然、実施段階にあるため、この問題に関してFPC-SGメンバーから成る小委員会を設置し、さらに議論を進め、FPC-

SGとFPCに報告を再度行ってはどうかとの共同議長の勧めに従い、動議提出組合が動議を撤回したことに留意した。

議題5: その他

ITF船員トラストの戦略的見直し (2013年~2014年)

第17号動議: FOC船で働く船員の年金

12. 動議の提案者が現れず、本動議は採択されなかった。

第18号動議: チリ国際船籍

13. 総会は提案通り、本動議を採択した。

議題4: 選挙

14. 総会は、船員、港湾両部会総会の結果、職権上の役員は以下となる点に留意した:

港湾部会議長

Paddy Crumlin (MUA, オーストラリア)

港湾部会第1副議長

Ray Familathe (ILWU, 米国)

港湾部会第2副議長

Torben Seebold (Ver.di, ドイツ)

港湾部会女性代表

Monique Verbeeck (BTB, ベルギー)

港湾部会青年代表

Anthony Dailey (SITREBALCRI, パナマ)

船員部会議長

David Heindel (SIU, 米国A)

船員部会第1副議長

Tomas Abrahamsson (SEKO, スウェーデン)

船員部会第2副議長

Conrad Oca (AMOSUP, フィリピン)

船員部会女性代表

Lena Dyring (NSU, ノルウェー)

船員部会青年代表

Lars Turner (IOMMP, 米国)

15. 総会は、別紙1の公正慣行委員会 (FPC) の構成に合意した。

16. また、別紙2の公正慣行委員会・運営グループ (FPC-SG) の構成にも合意した。

17. 総会は、見直しの末、出された勧告を承認し、向こう4年間 (2015年~2018年) に福利基金から1千万ポンドを寄付するよう、2014年8月16日の執行委員会に勧告することで合意した。

ノルウェー第二船籍 (NIS)

18. 総会参加者は、ノルウェーの状況について報告を受けた。現在、委員会が立ち上り、ノルウェー領海とノルウェー大陸棚でノルウェー第二船籍 (NIS) の運航を許可する可能性を検討している。この委員会の報告書が2014年9月1日に出される予定だ。この緊急性を考慮し、船員部会総会はノルウェーの組合と相談の上、この状況に対応する上で必要な全ての方策を取る権限をFPCの共同議長に与えることに合意した。

トーマス・アブラハムソン・海事コーディネーター代行

19. 合同議長は合同総会参加者を代表し、これまで献身的に海事コーディネーター代行を務めてきたトーマス・アブラハムソンの貢献に謝辞を述べ、記念品を贈呈した。

職権上の役員	
港湾部会議長	Paddy Crumlin (MUA, オーストラリア)
港湾部会第1副議長	Ray Familathe (ILWU, 米国)
港湾部会第2副議長	Torben Seebold (ver.di, ドイツ)
港湾部会女性代表	Monique Verbeek (BTB, ベルギー)
港湾部会青年代表	Anthony Dailey (SITREBALCRI, パナマ)
船員部会議長	David Heindel (SIU, 米国)
船員部会第1副議長	Tomas Abrahamsson (SEKO, スウェーデン)
船員部会第2副議長	Conrad Oca (AMOSUP, フィリピン)
船員部会女性代表	Lena Dyring (NSU, ノルウェー)
船員部会青年代表	Lars Turner (IOMMP, 米国)
アフリカ・アラブ	
船員部会地域議長	Joachim Mel Djedje-Li (SYMICOM, コートジボワール)
港湾部会地域議長	Judith Abuka (DUK, ケニア)
船員代表	Seddik Berrama (FNIT, アルジェリア)
船員代表	Lucien Razafindraibe (SYGMMA, マダガスカル)
船員代表	Douglas Eromobor (MWUN, ニジェール)
船員代表	Normsa Cele (SATAWU, 南ア)
船員代表	空席 (タンザニア)
港湾代表	Daniel Owusu-Korateng (MDU, ガーナ)
港湾代表	Simon Sang (DUK, ケニア)
港湾代表	Said El-Hairech (UMT, モロッコ)
港湾代表	Adewale Adeyanju (MWUN, ニジェール)
港湾代表	Veronica Metsatwa (SATAWU, 南ア)
アジア太平洋	
船員部会地域議長	森田保己 (全日本海員組合, 日本)
港湾部会地域議長	Yong Soo Chi (KFPTWU, 韓国)
船員代表	Terry Snee (AIMPE, オーストラリア)
船員代表	SM Shafiqur Rahman (BSA, バングラデシュ)
船員代表	Tung Tong Chung (MNOG, 香港)
船員代表	Abdulgani Serang (NUSI, インド)
船員代表	Hanafi Rustandi (KPI, インドネシア)
船員代表	渡辺裕之 (全日本海員組合, 日本)
船員代表	Kyeong Doo Yeom (FKSU, 韓国)
船員代表	Helen McAra (NZMSG, ニュージーランド)
船員代表	Sheikh Mohammad Iqbal (PMNOA, パキスタン)
船員代表	Jonny Oca (AMOSUP, フィリピン)
船員代表	Thomas Tay (SMOU, シンガポール)
船員代表	Iteba Tekee (KIOSU, キリバス)
(交替制)	Fepualii Kitiseni (TOSU, ツバル)
船員代表	Lu Wang-Chung (NCSU, 台湾)
港湾代表	Mick Doleman (MUA, オーストラリア)
港湾代表	Li Chi Yung (HKSTLSA, 香港)
港湾代表	P M Mohammed Haneef (CPSA, インド)
港湾代表	Satyo Utomo (JICT, インドネシア)
港湾代表	玉田雅也 (日本)
港湾代表	Chi Yong Soo (KFPTWU, 韓国)
港湾代表	空席 (マレーシア)
港湾代表	Joe Fleetwood (MUNZ, ニュージーランド)
港湾代表	空席 (パキスタン)
港湾代表	Douglas Gadebo (PNGMWIU, パプアニューギニア)
港湾代表	Robert Oca (PWUP, フィリピン)
港湾代表	Argsy Durgisamy (SPWU, シンガポール)
港湾代表	Palitha Atukorale (JSS, スリランカ)
港湾代表	Yang Yao-Chang (TDWF, 台湾)
欧州 (ETF海運部会)	
船員部会地域議長	Agis Tselentis (PNO, ギリシャ)
港湾部会地域議長	Terje Fenn-Samuelsen (NTF, ノルウェー)
船員代表	Ivan Victor (BTB, ベルギー)
船員代表	Neven Melvan (SUC, クロアチア)
船員代表	A Ole Philipsen (Co-Sofart, デンマーク)
船員代表	Valentin Kivistik (ESU, エストニア)
船員代表	Simo Zitting (FSU, フィンランド)
船員代表	Thierry Le Guevel (CFDT, フランス)
(交替制)	Jean Philippe Chateil (CGT, フランス)
船員代表	Klaus Schroeter (ver.di, ドイツ)
船員代表	John Halas (PNO, ギリシャ)

船員代表	空席 (アイルランド)
船員代表	Avi Levy (ISOU,イスラエル)
船員代表	Remo di Fiore (FIT-CISL,イタリア)
船員代表	Igors Pavlovs (LSUMF,ラトビア)
船員代表	Remigijus Kalnius (LSU,リトアニア)
船員代表	Sasa Milosvic (IUWMST,モンテネグロ)
船員代表	Marcel Van den Broek (NINL,オランダ)
船員代表	Hans Sande (NSF,ノルウェー)
船員代表	Jacek Cegielski (NSZZ,ポーランド)
船員代表	Antonio A P Delgado (SITEMAQ,ポルトガル)
船員代表	Aurel Stoica (RSFU,ルーマニア)
船員代表	Yuri Sukhorukov (SUR,ロシア)
船員代表	Jose Manuel Perez-Vega (UGT,スペイン)
船員代表	Kenny Reinhold (SEKO,スウェーデン)
船員代表	Nick Bramley (NICH,スイス)
船員代表 (交替制)	Ural Cagirici (DAD-DER,トルコ)
	Hasan Pekdemir (TDS,トルコ)
船員代表	Mykhailo Kirieiev (MTWTU,ウクライナ)
船員代表 (交替制)	Mark Dickinson (NIUK,英国)
	Steve Todd (RMT,英国)
港湾代表	Marc Loridan(BTB,ベルギー)
港湾代表	Pantellis Stavrou(FTPAW,キプロス)
港湾代表	Jan Villadsen(3F,デンマーク)
港湾代表	Jyri Lember(ESIU,エストニア)
港湾代表	Arto Sorvalli(AKT,フィンランド)
港湾代表	Lilian Torres(FETS-FO,フランス)
港湾代表	Thomas Mendzrik(ver.di,ドイツ)
港湾代表	Michael Wheelan(SIPTU,アイルランド)
港湾代表	Avi Edri(Histradrut,イスラエル)
港湾代表	Giacomo Santoro(FILT-CGIL,イタリア)
港湾代表	Aleksejs Holodnuks (UTAF,ラトビア)
港湾代表	Vladimiras Bendoraitis(IDU,リトアニア)
港湾代表	Charles Agius (GWU,マルタ)
港湾代表	空席 (モンテネグロ)
港湾代表	Niek Stam (FNVB,オランダ)
港湾代表	Roger Hansen(NTF,ノルウェー)
港湾代表	Petre Costel(FNSP,ルーマニア)
港湾代表	Vasilij Kozarenko(DUR,ロシア)
港湾代表	空席 (スロベニア)
港湾代表	Jose Perez Dominguez(CC.OO,スペイン)
港湾代表	Marcel Carlstedt(STF,スウェーデン)
港湾代表	Oleg Grigoryuk(MTWTU,ウクライナ)
港湾代表	Steve Biggs(UNITE,英国)
中南米・カリブ	
船員部会地域議長	Severino Almeida (CONTTMAF, ブラジル)
港湾部会地域議長	Mayo Uruguaiio Fernandes(CONTTMAF, ブラジル)
船員代表	Marcos Castro (CCUOMM,アルゼンチン)
船員代表	Hector Azua (SOMM southship,チリ)
船員代表	Ysmael Garcia Munoz (ORDENCAP,メキシコ)
船員代表	Vladimir Small (UIM,パナマ)
港湾代表	Roberto Coria (SGGM, アルゼンチン)
港湾代表	Maynor Armando Sijes Barillas (STEPQ,グアテマラ)
港湾代表	Ann Anderson(CCWU,ガイアナ)
港湾代表	Victor Crespo(SGTM,ホンジュラス)
港湾代表	Alvin Sinclair (BITU, ジャマイカ)
港湾代表	Michael Anisette (SWWTU, トリニダード・トバゴ)
北米	
船員部会地域議長	James Given(SIU-CAN,カナダ)
港湾部会地域議長	John Baker (ILA,米国)
船員代表	Patrice Caron (SIU-CAN,カナダ)
船員代表	Thomas Bethell (AMO,米国)
港湾代表	Mark Gordienko (ILWU,カナダ)
港湾代表	Robert McEllrath (ILWU,米国)

公正慣行委員会・運営グループ (FPC-SG)

2014年8月13日時点

職権上の役員	
港湾部会議長	Paddy Crumlin (MUA、オーストラリア)
港湾部会第1副議長	Ray Familathe (ILWU、米国)
港湾部会第2副議長	Torben Seebold (ver.di、ドイツ)
港湾部会女性代表	Monique Verbeek (BTB、ベルギー)
港湾部会青年代表	Anthony Dailey (SITREBALCRI、パナマ)
船員部会議長	David Heindel (SIU、米国)
船員部会第1副議長	Tomas Abrahamsson (SEKO、スウェーデン)
船員部会第2副議長	Conrad Oca (AMOSUP、フィリピン)
船員部会女性代表	Lena Dyring (NSU、ノルウェー)
船員部会青年代表	Lars Turner (IOMMP、米国)
アフリカ・アラブ	
船員部会地域議長	Joachim Mel Djedje-Li (SYMICOM、コートジボワール)
港湾部会地域議長	Judith Abuka (DUK、ケニア)
船員代表	Lucian Razafindraibe (SYGMMA、マダガスカル)
港湾代表	Said El-Hairech (UMT、モロッコ)
アジア太平洋	
船員部会地域議長	森田保己 (全日本海員組合、日本)
港湾部会地域議長	Yong Soo Chi (KFPTWU、韓国)
船員代表	Abdulgani Serang (NUSI、インド)
船員代表	Tung Tong Chung (MNOG、香港)
船員代表	Thomas Tay (SMOU、シンガポール)
港湾代表	P M Mohammed Haneef (CPSA、インド)
港湾代表	玉田雅也 (日本)
港湾代表	Joe Fleetwood (MUNZ、ニュージーランド)
欧州	
船員部会地域議長	Agis Tselentis (PNO、ギリシャ)
港湾部会地域議長	Terje Fenn-Samuelsen (NTF、ノルウェー)
船員代表	Simo Zitting (FSU、フィンランド)
船員代表	Remo di Fiore (FIT-CISL、イタリア)
船員代表	Yuri Sukhorukov (SUR、ロシア)
船員代表	Mark Dickinson (NIUK、英国)
港湾代表	Marc Loridan (BTB、ベルギー)
港湾代表	Pantellis Stavrou (FTPAAW、キプロス)
港湾代表	Aleksejs Holodnuks (UTAF、ラトビア)
港湾代表	Niek Stam (FNVB、オランダ)
中南米・カリブ	
船員部会地域議長	Severino Almeida (CONTTMAF、ブラジル)
港湾部会地域議長	Mayo Uruguayo Fernandes (CONTTMAF、ブラジル)
船員代表	Marcos Castro (CCUOMM、アルゼンチン)
港湾代表	Michael Anisette (SWWTU、トリニダード・トバゴ)
北米	
船員部会地域議長	James Given (SIU-CAN、カナダ)
港湾部会地域議長	John Baker (ILA、米国)
船員代表	Donald Marcus (IOMMP、米国)
港湾代表	Mark Gordienko (ILWU、カナダ)

鉄道部会総会報告書

1. 鉄道総会は2014年8月13日に開催された。
2. オイステン・アスラクセン（ノルウェー）が議長を務めた。

書記局報告

3. 2010年の大会以降の内陸運輸部会の主な動向と活動をまとめた映画を上映した。

議題1: 報告者の選出

4. オイステン・アスラクセンが報告者に選ばれた。
5. ウェイン・バトソン（ニュージーランド、RMTU）とマリオン・カールステン（ドイツ、EVG）が投票立会人兼投票集計人に選ばれた。

議題2: 大会テーマ文書

議題3: 4カ年活動計画

議題4: 動議

6. 議題2、3、4を同時に扱うことが合意された。
7. 浦田誠・内陸運輸部長が大会テーマ文書「グローバル危機からグローバル正義へ：交通運輸労働者の反撃」に言及し、2014-2018年のITF鉄道部会の優先事項として次の3つを挙げた：
 - ・ さらなる民営化や自由化に異議を唱える
 - ・ 安全第一政策の促進
 - ・ 鉄道労働者の組織化戦略
8. 以下の講演者がそれぞれの優先課題について講演した：
 - ・ ヤニーナ・マリノフスカITF内陸運輸部次長が、鉄道の自由化とその結果のアウトソーシングや労働の非正規化、安全問題について話した。組合の民営化反対運動に焦点が当てられた。
 - ・ ホ・ジュン・ソン（韓国、KRWU）が第27号動議（新自由主義的鉄道政策）を紹介した。同動議は、鉄道の民営化と自由化に組合がより系統立ち、調整の取れた対応をすることを求めている。

- ・ クレア・クラーク（ITF内陸運輸部会・上級アシスタント）が鉄道労働者を組織化することの重要性について述べ、この分野における、鉄道部会の方向性の概要を示した。

- ・ オイステン・アスラクセンが鉄道の安全について話し、ITFの鉄道の安全に関する声明を紹介し、加盟組合にこれを政策策定の中で活用するよう促した。

9. アルゼンチン、ベルギー、ボツワナ、ブラジル、ブルガリア、コンゴ共和国、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、日本、韓国、ニュージーランド、ナイジェリア、ロシア、南アフリカ、チュニジア、トルコ、英国、ウクライナ、ベネズエラの26代議員が議論に参加し、以下の問題を提起した：

- ・ 鉄道の民営化は効果的ではない。民営化されれば、労働条件は悪化し、雇用は削減され、投資不足となり、事故が増え、支線が廃止され、コスト削減により安全衛生も悪化し、アウトソーシングが進む。各国の民営化の例から、類似モデルが使われていることが分かる。国営鉄道会社が外国で民営化を進めるといった事例も見られる。

- ・ 鉄道業界では、国営鉄道であっても、業務のアウトソーシングと雇用の非正規化が増えている。アウトソーシングに反対することも極めて重要だ。一部には、アウトソーシングが組合の力を弱体化させるために使われている例も見られる。

- ・ 世界銀行などの国際金融機関や欧州委員会などの地域当局が民営化を促進している。世界銀行の政策に圧力をかけるためには、ITFの調整のもと、グローバルな戦略を策定することが必要だ。

- ・ 新自由主義的金融環境のもと、国営鉄道や再国営化された鉄道ですら、路線の廃止や雇用削減、運行の細分化に直面する可能性がある。

- ・ 組合の活動を制限する法律

を制定することによる、使用者や政府による労働組合への攻撃が増している。スト権は労働者の基本的権利だ。組合は鉄道労働者の社会的権利を守るために運動を展開している。ILOを含む国際機関へのロビイングを行い、スト権が保障され、中核的ILO条約が批准されるよう担保するにはITFの支援が必要だ。

- ・ 鉄道多国籍企業が営業を拡大している。共同行動の調整のため、加盟組合同士の地域レベル、小地域レベルでの協力関係構築を検討すべきだ。欧州労使協議会のように、労働組合の代表が企業との対話の場に参加する機会の拡大を模索すべきだ。特に、欧州労使協議会が存在しない非欧州諸国においてそれが重要だ。
- ・ 鉄道労組は地域レベルでも民営化反対運動を展開し、代替策を検討し、市民団体とも協力関係を構築している。具体的な戦略の構築と国際レベルでの組合の支援も必要だ。欧州運輸労連(ETF)の第4鉄道一括法案反対キャンペーンは小地域における調整と活動の一例だ。
- ・ 鉄道民営化に関する情報や経験談の共有は、こうした対応の重要な部分を占める。ネットワーク構築はまた、加盟組合の運動に必要な国際連帯を提供する際に活用することもできる。鉄道部会はこれを支援するための適切な基盤を提供すべきだ。
- ・ ITF行動週間を通じ、全世界の加盟組合が一つの声を上げることにより、組合の運動を強力に盛り立てることができる。
- ・ 鉄道産業の再編と改革の結果、労働組合の組織率が低下している。一部の国で、鉄道システムへの技術の導入や自動化により、鉄道労働者が影響を受けている。
- ・ 安全の低下が鉄道労働者にとってますます懸案事項と

なっている。職場にしっかりと安全文化を醸成し、現在職場に存在する責任追及の文化をなくす必要がある。鉄道の安全を考える際、技術面だけでなく、人的および社会的な側面にも焦点をあてるべきだ。鉄道の安全で注目すべき点としては、踏切の安全確保の問題がある。

- ・ 組合の能力構築や、民営化に反対している組合の支援、鉄道の安全促進、組織化において、教育やプロジェクト実施は不可欠だ。
 - ・ 鉄道労組は青年労働者と効果的にコミュニケーションを取り、青年の懸案事項を理解し、力強い青年の組合指導者を育成する必要がある。
 - ・ 鉄道部会は気候正義の問題にもっと注目すべきだ。
10. 多くの参加者が大会期間中の鉄道部会が半日になったため、政治的な戦略を議論する十分な時間がない点を指摘した。
 11. 総会参加者は、全体会議で採択された大会テーマ文書を全面的に支持した。
 12. 総会参加者は、提示されている2014-2018年の鉄道部会の優先課題を承認した。
 13. 総会参加者は、第27号動議(新自由主義的鉄道政策)を提案通り採択した。
 14. 鉄道の安全に関するITF声明(別紙2)は原則として採択された。
 15. ウルサン・リアム(韓国、KRWU)が8月12日(火)に行われた「鉄道の民営化と闘う」フリンジの結果を口頭で報告した。総会は、世界中で新自由主義的鉄道政策と闘っている加盟組合のコミュニケーションと連帯を強化するための新たなネットワークを鉄道部会内に立ち上げるといふ、この報告を承認した。同報告については、大会後に各加盟組合の連絡担当者の登録用紙を添付し、書面で回状を発行することになる。

議題5:選挙

16. 総会は以下の役員を選出した:

議長

Øystein Aslaksen (Norsk Lokomotivmannsforbund, Norge) ノルウェー) が全会一致で再選された。

副議長

Julio Sosa (La Fraternidad, Argentina) アルゼンチン) が全会一致で再選された。

副議長

Serge Piteljon (CGSP Cheminots, Belgien) ベルギー) が全会一致で再選された。

副議長

CA Rajasridhar AIRF, インド) が全会一致で再選された。

女性代表

Gaebepe Molaodi (BRAWU, ボツワナ)が全会一致で選ばれた。

青年代表

Veronika Szilagyi (VDSzSz, ハンガリー) が全会一致で再選された

17. 会参加者は、別紙1の鉄道部会運営委員会の構成に合意した。

議題6:その他

18. その他の協議事項はなかった。

別紙1

鉄道部会・運営委員会

2014年8月13日時点

鉄道部会役員	
議長	Oystein Aslaksen (Norsk Lokomotivmannsforbund、ノルウェー)
副議長	Julio Sosa (La Fraternidad、アルゼンチン)
副議長	Serge Piteljon (CGSP Cheminots、ベルギー)
副議長	CA Rajasridhar (AIRF、インド)
女性代表	Gaebepe Molaodi (BRAWU、ボツワナ)
青年代表	Veronika Szilagyi (VDSzSz、ハンガリー)
アフリカ	
議長	空席
副議長	Raphael Benjamin Okoru (NUR、ナイジェリア)
副議長	Helena Ernesto Cuna (SINPOCAF、モザンビーク)
副議長	George Fuki Mbumu (STRC、コンゴ)
アラブ	
議長	Mohamed Haytoun (UMT、モロッコ)
アジア太平洋	
議長	Wayne Butson (RMTU、ニュージーランド)
副議長	Pinyo Rueanpetch (SRUT、タイ)
副議長	CA Rajasridhar (AIRF、インド)
副議長	Erdene Khombor (FMRWU、モンゴル)
女性代表	Diptiben G Shukla (NFIR、インド)
青年代表	Diki Susetyo (SPKA、インドネシア)
欧州 (ETF 鉄道部会)	
議長	Guy Greivelding (FNCTTFEL、ルクセンブルク)
副議長	Maarten Gutt (FZZP PKP、ポーランド)
副議長	Maria Cristina Marzola (FILT-CGIL、イタリア)
女性代表	Daniela Zlatkova (FTTUB、ブルガリア)
青年代表	Katalin Mathe (VDSzSz、ハンガリー)
中南米・カリブ	
議長	Julio Sosa (La Fraternidad、アルゼンチン)
副議長	Helio de Souza Regato de Andrade (FNTEF、ブラジル)
副議長	Edison Alvarado (FENTRAFEVE、ベネズエラ)
副議長	Karina Benemerito (Unión Ferroviaria、アルゼンチン)
北米	
共同議長	Bob Orr (Unifor、カナダ)
共同議長	Jo Condo (米、TCU)

さらに、路面運輸部会と共同で設置した都市交通委員会の議長（議長が出られない場合は副議長のうち1名）が鉄道部会・運営委員会に出席する。鉄道部会が設置した全ての作業グループの代表は、鉄道部会・運営委員会に招かれ、グループの活動について報告する。

路面部会総会報告書

1. 路面運輸部会総会は2014年8月13日に開催された。
2. マーティン・メイヤー（英国）が議長を務めた。

の頂上に位置し、運賃や労働条件を決定している者たちに輸送サプライチェーン全体の責任を取らせることを目指している。

書記局報告

3. 2010年の大会以降の内陸運輸部会の主な動向と活動をまとめた映画を上映した。浦田誠・内陸運輸部長がこの4年間で主な成功が見られた3分野について明確にした。3分野とは、すなわち、イランにおける労働者の権利の促進、トルコのUPSとDHLでの勝利、コンテナの安全に関するILO/IMO/UNECE行動規範の策定である。

- ・ フランク・モリール（BTB、ベルギー）が、BTBが取り組んでいる2つの組織化キャンペーンについて発表した。一つはケニアで港湾労組と産業横断的に取り組んでいるものであり、もう一つは欧州の非居住トラック運転手の組織化の取り組みだ。モリールはまた、商品輸送に安価な労働力を利用してIKEAに対して、BTBとオランダのFNVが共同で実施してきたキャンペーンについても言及した。

議題1: 報告者の選出

4. マーティン・メイヤーが報告者に選ばれた。
5. ファン・ルイス・ガルシア・レベルタ（CC.OO、スペイン）とティム・ビーティー（チームスター、米国）が投票立会人兼投票集計人に選ばれた。

- ・ マーティン・メイヤーがITFの安全衛生に関する活動の概要を説明した。メイヤーは学者との協力など、活動の様々な側面に触れ、人間工学、ストレス、職場の暴力、コンテナの安全などいくつかのトピックを取り上げた。

議題2: 大会テーマ文書

議題3: 4カ年活動計画

6. 議題2と3を同時に扱うことが合意された。
7. 浦田が大会テーマ文書「グローバル危機からグローバル正義へ：交通運輸労働者の反撃」に言及し、2014-2018年のITF路面運輸部会の優先事項として次の3つを挙げた：
 - ・ 未組織労働者の組織化—越境運転手や不安定雇用労働者を含む
 - ・ 安全衛生—2015年のILO三者構成会議を含む
 - ・ 安全報酬
8. 上述の優先改題のそれぞれについて基調講演が行われた：
 - ・ トニー・シェルダン（TWU、オーストラリア）がトラック業界の労働者の労働条件改善のためにオーストラリアで行った安全報酬キャンペーンについて発表した。同キャンペーンでは、輸送チェーン

9. アルゼンチン、バングラデシュ、バルバドス、ベルギー、ブラジル、チリ、コンゴ共和国、フランス、インド、日本、韓国、ネパール、ニジェール、ナイジェリア、パラグアイ、南アフリカ、トーゴ、ウガンダ、英国、米国の23代議員が議論に参加し、以下の問題を提起した：

- ・ 組合の活動を制限する法律を制定することによる、使用者や政府による労働組合への攻撃が増している。スト権は労働者の基本的権利だ。組合は鉄道労働者の社会的権利を守るために運動を展開している。ILOを含む国際機関へのロビイングを行い、スト権が保障され、中核的ILO条約が批准されるよう担保するにはITFの支援が必要だ。
- ・ 東西アフリカの組織化プロジェクトは国際路面運輸労働者カードを活用することにより、路面運輸労組が先手を打った連帯を示した事例だ。主要輸送回廊に沿って労働組合が協力するというこのモデルを他の小地域でも促進するべきだ。また、ECOWAS(西アフリカ

- 諸国経済共同体) やEAC (東アフリカ共同体) などの地域の経済グループと、小地域での基準設置に向け、対話をもつ取り組みも始まっている。
 - 中南米では、組合同士の二国間協力により、国境をまたいだ組織化を支援し、国内での社会的な対話が始まった。加盟組合は労働者に対する法的な攻撃にも反撃している。
 - インフォーマル路面労働者と契約労働者を組織することは最優先課題だが、問題が多い。ITFのインフォーマル労働者プロジェクトでは、インフォーマル労働者、特に路面産業で働く女性や青年に手を差し伸べる組合の能力を構築している。
 - ITFの行動週間は国内の運動に国際的な存在感を与え、世界中の交運労働者が同一のメッセージを力強く発信することにより、組合の組織化を支援するための非常に強力な道具である。行動週間の活動の成果は、法律を変えることができた、組織化に勝利した、使用者と交渉が開始できたなど様々だ。
 - 路面運輸労働者にとって、疲労は依然として深刻な問題だ。加盟組合は安全衛生キャンペーンで疲労の問題に焦点をあてている。ITFの「疲労は命取り」キャンペーンを強化するべきだ。
 - 加盟組合は、道路の安全を確保するためのディーセントな(人間らしい)賃金や休息時間確保を目指し、安全報酬モデルをオーストラリア以外でも活用しようとしている。韓国、英国、米国の加盟組合が「安全報酬」の概念を支持すると述べた。
 - 2014年に承認される予定のコンテナの安全に関するILO/IMO/UNECE行動規範の促進を含め、コンテナの安全問題にはグローバルな対応が必要だ。「責任の連鎖」と「情報の連鎖」を重視することが、ITFのこの分野での部会横断的な運動の要となるべきだ。
 - タクシー、バス、自治体に雇用される運転手など、様々な路面運輸部門の統合と調整により、より強力な団体協約を交渉する上で、加盟組合に力を与え、組合の位置づけが強まる。
 - 企業に圧力をかけ、組織化を支援したり、連帯行動を取ったりするためには、例えば、ナショナルエクスプレスやDHLなどの同一の多国籍企業を組織する組合間の相互支援と協力が重要だ。
 - 物を運び、港、倉庫、小売店をつなぐ上で、路面運輸は主要な役割を果たしている。したがって、組合の要求を通すため、物の流れを寸断する機会がある。サプライチェーンに沿った組織化と異なる交通モードを組織する組合同士の協力が組合の力の構築と異なる産業で働く労働者を団結させる上で極めて重要だ。
 - 不当な契約と労働組合権の欠如により、オーナードライバー(自営運転手)の生活実態は「車上の奴隷労働」となっている。
 - 労働組合は移民労働者を組織し、保護するべきだ。雇用と労働条件の基準維持のため、これを路面運輸部会の優先課題とするべきだ。
 - 路面運輸産業で働く女性が増えているが、職場には人間工学に根ざした改善が必要であり、化粧室の利用しやすさなどが必ずしも考慮されていない。交通運輸産業で働く女性は乗客と同僚の双方から暴力を受ける。女性の組織化とエンパワメントに組合が率先して取り組むべきであり、この分野でのITFの支援が必要だ。
 - 道路の安全は労働者と利用者の両方にとって重要だ。路面運輸労働者は適切な賃金を受け取り、適度な休憩時間や配員などの労働条件が確保されるべきだ。危険物関連のインシデントは環境や人命に関わる深刻な影響をもたらし得る。
 - 使用者は経済危機を口実に労働者を攻撃している。路面運輸労組は、職場の暴力、化粧室の利用、シフト制、休憩施設、HIV/エイズなどの安全衛生活動を率先して促進している。
 - 環大西洋貿易投資パートナーシップ(TTIP)は多国籍企業に多大な力を与えるものであり、労働者の権利を脅かすものだ。
10. 総会参加者は、全体会議で採択された大会テーマ文書を全面的に支持した。
11. 総会参加者は、提示されている2014-2018年の路面運輸部会の優先課題を承認した。
- 議題4: 動議**
12. 決議委員会から路面運輸部会総会に付託された動議はなかった。
- 議題5: 選挙**
13. 総会は以下の役員を選出した:
- 議長*
Tony Sheldon (TWU、オーストラリア)が全会一致で選ばれた。
- 副議長(貨物担当)*
Frank Moreels (BTB、ベルギー)が全会一致で選ばれた。
- 副議長(旅客担当)*
Benito Bahena (ATM、メキシコ)が全会一致で選ばれた。
- 女性代表*
Wilma Clement (BWU、バルバドス)が全会一致で再選された。
- 青年代表*
Roy Einar Nilsen (Norsk Transportarbeiderforbund)が全会一致で選ばれた。
14. 総会参加者は、別紙1の路面運輸部会・運営委員会の構成に合意した。
15. 総会参加者はまた、部会内にハブ・回廊作業グループを設置することに原則として合意した。作業グループの詳細は英国のユナイトが提出し、次回の路面運輸・運営委員会で議論することになる。

16. トニー・シェルダンが新議長として挨拶し、代議員の支援に感謝するとともに、今後4年間、路面運輸部会の活動を前進させるにあたり、強い決意を表明した。

議題6: ITF金バッチ贈呈

17. スティーブ・コットン書記長代行が引退するメイヤー議長に金バッチを贈呈し、長年にわたる指導力と献身的努力に感謝した。
18. 総会参加者はまた、退任する副議長のアズビヨン・ウォール (Fagforbundet) とタブディ・ラマクゴロ (SATAWU、南ア) にも、それぞれ、過去16年、8年の貢献に対して謝意を表明した。

議題7: その他

19. その他の討議事項はなかった。

**別紙1
路面運輸部会・運営委員会**

2014年8月13日時点

鉄道部会役員	
議長	Tony Sheldon (TWU、オーストラリア)
副議長	Frank Moreels (BTB、ベルギー)
副議長	Benito Bahena (ATM、メキシコ)
女性代表	Wilma Clement (BWU、バルバドス)
青年代表	Roy Einar Nilsen (Norsk Transportarbeiderforbund)
アフリカ	
議長	空席
副議長	Zeinabou (Souley) Habou Barma (SYNATRA、ニジェール)
副議長	Zerihun Alemu Mengesha (TCWUIF、エチオピア)
アラブ	
議長	Kaied JT Awad (GUTW、パレスチナ)
アジア太平洋	
議長	Zainal Rampak (TWU、マレーシア)
副議長	Rick Burton (TWUA、オーストラリア)
副議長	Kripashanker Verma (INTWF、インド)
副議長	高松伸幸 (運輸労連、日本)
女性代表	Chutima Boonjai (BMTA-SEWU、タイ)
青年代表	Stanley Ho Wai Hong (HKD、香港)
欧州 (ETF 鉄道部会)	
議長	Roberto Parrillo (ACV-Transcom、ベルギー)
副議長	Juan Luis Garcia Revuelta (CCOO、スペイン)
副議長	Joergen Aarestrup Jensen (3F、デンマーク)
女性代表	Myriam Coulet (FO Transports、フランス)
中南米・カリブ	
議長	Benito Bahena (ATM、メキシコ)
副議長	João Batista da Silva (Fetropassageiros、ブラジル)
副議長	Pablo Hugo Moyano (FNTCOTAC、アルゼンチン)
副議長	Wilma Clement (BWU、バルバドス)
北米	
共同議長	Len Polrier (Unifor、カナダ)
共同議長	Ken Hall (International Brotherhood of Teamsters、米国)

さらに、鉄道部会と共同で設置した都市交通委員会の議長 (議長が出られない場合は副議長のうち1名) が鉄道部会・運営委員会に出席する。鉄道部会が設置した全ての作業グループの代表は、路面運輸部会・運営委員会に招かれ、グループの活動について報告する。

船員部会総会報告書

1. 船員部会総会は2014年8月12日に開催された。

議題1: 報告者の選出

2. デイブ・ハインデル(米国)が報告者に選ばれた。

マルセル・ファン・デン・ブローク(オランダ)とマイク・マーフィー(米国)が投票立会人にも選ばれた。

カム・スン・ファット(シンガポール)とヘンリック・パーロウ(デンマーク)が投票集計人にも選ばれた。

議題2: 大会テーマ文書

3. 総会参加者は、既に全体会議で全会一致で採択されている、大会テーマ文書に明記された戦略を歓迎した。

議題3: 4カ年活動計画

4. 部会の4カ年の活動計画と優先課題に関して多くの発言が議場からなされ、主に下記の点が提起された:

- ・ かつて闘いの末に勝ち取った年金や手当などの労働条件を退歩させようとする攻撃的な使用者に対応する。
- ・ 青年労働者を組合に勧誘する。
- ・ 青年女性労働者を含め、より多くの女性に組合の活動に積極的に関与してもらう。
- ・ 配乗、疲労、スキルのある訓練生の不足問題
- ・ 特にアフリカで石油・ガス産業を引き続き優先活動分野とするべきだ。
- ・ アフリカ地域での雇用不足に対応する必要がある。雇用機会を広げるために必要なスキルと訓練のマッピングを実施するための支援要請があった。
- ・ 異なる交通運輸産業間の産業横断的な関係づくり
- ・ 無資格かつ訓練を受けていない船員の勧誘

- ・ 上乗り要員を活用することによる、配乗レベルの引き下げ

5. 総会参加者は、船員部会の優先課題を提案通り採択した。

議題4: 動議

6. 総会は、決議委員会から付託された以下の動議を検討した:

第4号動議: ギリシア人船員の基本的権利に対する攻撃

7. 総会は提案通り、本動議を採択した。

第19号動議: 船員の福利

8. 動議の提案者が現れず、本動議は採択されなかった。

第20号動議: 船内の業務、疲労、配乗

9. 総会は、以下の修正をもって本動議を採択した:

第1段落:

過少員数と長時間労働を原因とする過重労働や疲労の結果として生じる職務遂行能力の低下は、海事産業に蔓延する問題であり、船員の命や船舶の安全、海洋環境を危険にさらす事故につながることを認識し、

第6段落3項:

ITF書記局およびITF加盟船員組合は、各国の規制当局が配乗基準設定に関する新規定を全面的に実施すること、および最小安全配員を設定する上で考慮された運航要件あるいは制限および勤務時間の短縮について、透明性の確保された方法で示している文書を船内に備置しておくことを主張する

10. 修正後の動議を別紙2として添付する。

第21号動議: 船員の公正な処遇

11. 総会は、以下の修正をもって本動議を採択した:

第3段落:

経験を積んだ多くの職員や乗

組員船員が、特定のポート・ステート（入港国）に入港する船舶への乗船を、船員に敵対的な環境を理由に、拒否していることに留意する。

相談の上、この状況に対応する上で必要な全ての方策を取る権限をFPCの共同議長に与えることに合意した。

12. 修正後の動議を別紙3として添付する。

第22号動議：雇用詐欺

13. 総会は提案通り、本動議を採択した。

第23号動議：欧州の海運

14. 総会は提案通り、本動議を採択した。

第24号動議：特にパキスタンに関する商船の危機

15. 総会は提案通り、本動議を採択した。

議題 5: 選挙

16. 以下の役員が拍手をもって選ばれた：

議長

David Heindel (SIU, 米国)

第1副議長

Tomas Abrahamsson
(SEKO, スウェーデン)

第2副議長

Conrad Oca (AMOSUP, フィリピン)

女性代表

Lena Dyring (NSU, ノルウェー)

青年代表

Lars Turner (IOMMP, 米国)

17. 総会参加者は別紙1の船員部会委員会の構成に合意した。

議題 6: その他

ノルウェー第二船籍 (NIS)

18. 総会参加者は、ノルウェーの状況について報告を受けた。現在、委員会が立ち上り、ノルウェー領海とノルウェー大陸棚でノルウェー第二船籍 (NIS) の運航を許可する可能性を検討している。この委員会の報告書が2014年9月1日に出される予定だ。この緊急性を考慮し、船員部会総会はノルウェーの組合と

シェンゲン査証

19. ロシア船員組合 (SUR) の発言に基づき、総会はEU諸国を通過中の船員や、職業上の義務から船舶を訪れたり、離れたりする船員を含め、全ての船員の上陸の迅速化が極めて重要である点に合意し、シェンゲン査証規則539/2001号の簡素化とILO185号条約の批准が必要であることを認識した。

エボラ出血熱

20. USPOGULのグエー・フリーマン(リベリア)がエボラ出血熱の蔓延が西アフリカへ向かう船に乗船する船員にも危険を及ぼしている点に留意するよう、総会に要請した。また、アフリカ地域の意識向上プログラム立ち上げのための会議を2014年9月1日に開催する予定だと述べ、ITF地域事務所を通じた支援を要請した。総会参加者はこの会議に関するより詳細な情報を書記局に送るよう要請した。

いじめと嫌がらせ

21. マーク・ディキンソン (英国ノーティラス) が、ノーティラスが作成していた資材がこの度完成し、利用できる点に留意するよう総会に要請した。同資材は最善慣行を掲載し、短編映画も包括している。

別紙1

船員部会委員会

2014年8月12日時点

船員部会役員	
議長	David Heindel (SIU, 米国)
第1副議長	Tomas Abrahamsson (SEKO, スウェーデン)
第2副議長	Dr Conrad Oca (AMOSUP, フィリピン)
女性代表	Lena Dyring (NSU, ノルウェー)
青年代表	Lars Turner (IOMMP, 米国)
アフリカ・アラブ	
議長	Joachim Mel Djedje-Li (SYMICOM, コートジボワール)
副議長	Adeola Olusola Sadiq (NMNOWTSSA, ナイジェリア)
副議長	空席
副議長(アラブ地域)	空席
アジア太平洋	
議長	森田保己 (全日本海員組合, 日本)
副議長(東南アジア)	Thomas Tay (SMOU, シンガポール)
副議長(南アジア)	Abdulgani Serang (NUSI, インド)
副議長(南太平洋)	Helen McAra (NZMSG, ニュージーランド)
欧州 (ETF海運部会)	
議長	Agis Tselentis (PNO, ギリシャ)
副議長	Jacek Cegielski (NSZZ, ポーランド)
副議長	Yuri Sukhorokuv (SUR, ロシア)
アドバイザー	Remo di Fiore (FIT-CISL, イタリア)
アドバイザー	Mark Dickinson (NI, 英国)
アドバイザー	Tomas Abrahamsson (SEKO, スウェーデン)
中南米・カリブ	
議長	Severino Almeida (CONTTMAF, ブラジル)
副議長	Enrique Omar Suarez (SOMU, アルゼンチン)
副議長	Michael Anisette (SWWTU, トリニダード・トバゴ)
副議長	Julia Becerra (CCUOMM, アルゼンチン)
北米	
議長	Jim Given (SIU, カナダ)
副議長	Mike Murphy (AMO, 米国)
副議長	Marshal Ainsley (MEBA, 米国)

別紙2

第20号動議：船内の業務、疲労、配乗

2014年8月10～16日にソフィア(ブルガリア)で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 過少員数と長時間労働を原因とする過重労働や疲労の結果として生じる職務遂行能力の低下は、海事産業に蔓延する問題であり、船員の命や船舶の安全、海洋環境を危険にさらす事故につながることを認識し、
2. さらに、各国政府は、競争優位を確保し、船籍登録を誘致するために、配乗基準を非現実的なまでに低く設定していることが多い点に留意し、
3. 十分かつ効果的・効率的な配乗を行い、船舶の安全・安定、海上における安全航行・運航、港湾における安全な運航、負傷または人命の損失の防止、海洋環境および財産の損害回避、疲労回避を通じた船員の福利・健康を確保するために、特定の船舶の船内に存在する実際の運航条件を考慮した「最小安全配員原則」に関する決議A.1047(27) (2014年1月1日に発効)を国際海事機関(IMO)が最近、採択し、過少員数の問題に対応したことに留意し、
4. さらに、IMOは、これに伴い、各国政府がIMO決議A.1047(27)の「最小安全配員原則」を考慮した、透明性のある手続きに従って、配乗基準を定めることを求めるために、SOLAS条約V章14規則を改定したことに留意し、
5. 全ての船主および政府が、船内の実際の運航条件を考慮した適切な配乗基準を、監視可能な透明性の確保された手続きによって設定するための新規定を完全に認識しているわけではない、あるいは積極的に実施するわけではないことを懸念し、
6. 以下を要請する。
 - ・ ITF書記局は、配乗基準を決定するための新たな国際基準を全てのITF加盟船員組合に完全に認識させる。
 - ・ ITF書記局は、船主や旗国の配乗基準設定主管庁が開か

れた透明性のある手続きを通じて、これらの新国際基準を遵守するよう、運動を開始する。

ITF書記局およびITF加盟船員組合は、各国の規制当局が配乗基準設定に関する新規定を全面的に実施すること、および最小安全配員を設定する上で考慮された運航要件あるいは制限および勤務時間の短縮について、透明性の確保された方法で示している文書を船内に備置しておくことを主張する。

提案者

ITF海事安全委員会を代表して、米国海事職員組合 (AMO) のマイク・マーフィーが提案

別紙3

第21号動議：船員の公正な処遇

2014年8月10～16日にソフィア(ブルガリア)で開催された第43回ITF世界大会は、

1. 上陸休暇という基本的人権を奪われたり、海難事故の捜査中に基本的かつ正当な法的保護を拒否されたりする問題が続いていることで、船員の採用・維持に影響が及んでいることを認識する。
2. 船員の公正な取扱いの欠如は、国際貿易が依存する海上労働力の将来の質に影響を及ぼすとともに、海運や環境の将来的安全を脅かすことを認識する。
3. 経験を積んだ多くの船員が、特定のポート・ステート(入港国)に入港する船舶への乗船を、船員に敵対的な環境を理由に、拒否していることに留意する。
4. 船員は独特の弱い立場に置かれていることを懸念する。仕事の性質上、一度の航海で多数の国の法制度に直面することもある。事故の際は、外国で不慣れな、あるいは未知の法律や手続きの下で、尋問を受けたり、刑事責任を負わされたりする可能性がある。一部の国においては、船員の側に犯意や過失が一切ない事故においてでさえ、刑事訴追される可能性がある。
5. 海洋汚染絡みの注目を集める事故においては、訴追の目的が、当該政権の政治的なニーズを満たすために、責任を押し付ける文化の中で、スケープゴートを見つけ出し、処罰する必要性があるためであることもある。あるいは、訴追の動機が、国自身の事故の責任から世間の目を逸らすためであることもある。その結果、船員は、正義の追及を主目的としない、政治的な見せしめ裁判で裁かれることとなりかねない。このような行為は、海事産業全体の評判を汚し、公正な正義ではなく、政治的な動機に資することとなる。
6. 外国で、政治的な圧力がかかっているかもしれない環境にいる船員個人に対して、国家の全権力・資源が向けられる場合は、

適正手続きの保障という基本的人権の尊重を確保することが切実に求められることに留意する。

7. 8年前の2006年4月の国際海事機関(IMO)第91回法律委員会において、「船員の公正な取扱い」の原則を定義する決議が採択され、ガイドラインの継続的見直しが合意されたことを想起する。
8. IMO加盟国による、「船員の公正な取扱い」に関するガイドラインの採択および実施は、満足なものとは言えないことは明らかである。ガイドラインの継続的見直しは、満足いかない状況が続いていることに対して、行動を起こすことを示唆している。
9. よって、海難事故の際の「公正な取扱い」の原則を見直すだけでなく、その範囲を拡大し、上陸休暇や陸上施設を利用する権利を含めるとともに、「船員の公正な取扱い」に関する原則を国策事項として採用、実施することを加盟国に求めることで、ガイドラインの強制適用を達成する方法に焦点を当てるため、「船員の公正な取扱い」に関するIMO/ILO合同特別専門家作業部会の再開に向けて、ITF書記局が必要なあらゆる行動を取ることを決議する。

提案者：

ITF海事安全委員会を代表して、米国海事職員組合 (AMO) のマイク・マーフィーが提案

民間航空部会総会報告書

1. 民間航空総会は2014年8月12日に以下の議題のもとに開催された:

議題1: 報告者、投票立会人、投票集計人

2. 報告者: エンリケ・カルモナ(スペイン、FSC-CCOO)
3. 投票立会人: ダリオ・カスティロ(チリ)、クリスティーナ・ウェーバー(ドイツ)
4. 投票集計人: ファン・ヌネズ(スペイン)、ジョージ・ターキー(レバノン)

議題2: 大会テーマ文書

5. 交通運輸労働者に対する攻撃が世界中でかつてないほどの速度で継続的に行われている。交通運輸会社と企業に支配されている政府は、労働者の団結権や団体交渉権を抹消しようとしている。また、必要とされている安全衛生規則や、差別の禁止をなくそうともしている。
6. 総会では、このような交通運輸労働者に対する攻撃を認識し、短期的および長期的な行動重視の活動を実施することにつながるような、革新的な方法や戦略で、これらの攻撃に今すぐ対応する必要性が力説された。
7. 提示された大会テーマ文書を採用するにあたり、総会参加者は書記局とITFの産別部会に以下を求めた:

- ・ 国際民間航空機関 (ICAO) や国際労働機関 (ILO) などの全ての国際レベル、また国内の規制機関で、基本的人権や他の労働問題をより声高に提起する。
- ・ 航空労働者の安全衛生確保や、報復を恐れることなく経営者に危険な状況について報告できる労働者の権利の確保を全ての協約に盛り込み、あらゆる国際会議の場で主張する。
- ・ 加盟組合が実施している反暴力キャンペーンで成功しているものを促進し、良好な職場の慣行に関する情報を他の組合や国に伝え、暴力や人身売買を撲滅する。

- ・ 格安航空会社や中東の航空会社など、経済的に困窮している航空会社による労働者の搾取的慣行を止めさせる。

- ・ 組合に加入する、団体交渉に関与する、差別のない、安全衛生の確保された環境で働くなど、基本的人権を主張した労働者に対する告発を止めさせる。

- ・ 航空産業に存在するあらゆる形態のジェンダー差別を止めさせる。

議題3: 4年間の活動計画

8. 総会参加者は、以下の補足と意見を述べ、提示された2014-2018年の航空部会の優先活動計画を採択した:

- ・ 規制当局に向け、運動を展開し、影響力を及ぼすにあたり、機内や空港の空気の質で職業安全衛生を確保することが優先課題として適切に取り組みされるよう、委員会を設置する。

- ・ 機内のブリードエアによる汚染をなくすことを優先課題とし、航空機設計交互空気循環ソリューション (aircraft design alternate air circulation solutions) とブリードエアの適正なフィルターリングを通じ、客室乗務員や乗客の日々の暴露をなくす。

- ・ 必要に応じ、他の国際産別と協力しながら、グランドハンドリングや給油などの空港サービス業者のマッピングとリサーチを行い、具体的な活動計画を策定する。

- ・ カリブ海地域の航空管制システム (ATS) 労組の組織化戦略案を作成する。

- ・ 蓄積した経験を踏まえ、アジア太平洋地域などの他の地域への応用のため、成功したITF・LATAMネットワークの組織化キャンペーンやその方法論、結果について情報を引き続き共有する。

- ・ 訓練の促進や見習いプログラムを支援し、熟練の解体傾向に反対する。スキル労働者の基盤を再構築するこ

とに貢献しなければなら
ない。

- ・ 女性と青年労働者を航空部
会の活動計画に統合し、家
族にやさしい政策を団体協
約に盛り込むことを奨励す
る取り組みを支援する。
- ・ 今後の防止策として、航空イ
ンシデントや事故と疲労の
関係をリサーチする。
- ・ IAM (米整備士労組) のデ
ルタ航空組織化運動などの
グローバル組織化キャンペ
ーンを支援する。非常に組
合敵対的なデルタ航空が
ITF加盟航空労組に対して
数十年にわたり攻撃をしか
けていたが、デルタ航空で
組合が勝利したことは、世
界中のあらゆる国で企業
の強烈な反組合キャンペーン
に直面するあらゆる労働者
の勝利を意味する。
- ・ 民間航空管制業務機構
(CANSO) との関わりを通
じ、航空部会の航空管制関
係の活動を改善する。
- ・ 疲労リスク管理を安全に関
する航空部会の活動の一部
に取り入れる。
- ・ 不安定雇用に反対する運動
と、スキル労働を支援する
運動をグローバルレベルで
展開する。

議題4: 動議

9. 総会は決議委員会から付託され
た以下の動議を検討した:

第1号緊急動議: 日本航空による不当 解雇

10. 内田妙子 (日本) が提案し、松
岡宏治 (日本) が航空連合の懸
念を表明した。総会は提示され
た動議を採択した。

第2号緊急動議: MH17後の航空の安 全と保安:

11. トニー・シェルダン (オーストラ
リア) が提案し、提示された動
議が採択された。

第3号緊急動議: マレーシア航空

12. カマルル・ザマン・サイシ (マレ
ーシア) が提案し、提示された
動議が採択された。

議題5: 選挙

13. 総会は、一般委員の数を6名か
ら7名に増やすという、航空部
会委員会の提案を支持すること
に合意し、以下の役員を選出した:

議長

Oliver Richardson (Unite, 英、
ユナイト)

副議長

Joseph Tiberi (IAM, 米)

女性代表

Wadha Salman Da'abis
(GTUWATT, ヨルダン、)

青年代表

Ines Medina (CCOO, スペ
イン、)

委員

Frauke Bendokan (Ver.di, 独)
Jo-Anne Davidson (FAAA, オ
ーストラリア、)
Richard d'Almeida (FESTA, ベ
ニン、)
Francisco Lemos (SINA, ブラ
ジル、)
Sara Nelson (AFA-CWA, 米)
Anneli Nyberg (Parat, ノルウ
ェー、)と Christian Haanæs,
(Cabin Crew Union, ノルウェ
ー、客乗組合)が2年ごとに交代
Antonia Panyotova (FTTUB,
ブルガリア、)

14. 総会は別紙1の民間航空部会委
員会の構成に合意した。

議題6: その他

15. その他の討議事項はなかった。

別紙1

民間航空部会委員会

2014年8月12日現在

部会役員	
議長	Oliver Richardson (英、ユナイト)
副議長	Joseph Tiberi (米、IAM)
女性代表	Wadha Salman Da'abis (ヨルダン、GTUWATT)
青年代表	Ines Medina (スペイン、CCOO)
アフリカ・アラブ	
議長 (アフリカ)	Zelege Mena (エチオピア、TCWTUIF)
議長 (アラブ)	Abdullah Al-Hajiri (クウェート、KAC)
アジア太平洋	
議長	George Abraham (インド、AEIG)
欧州 (ETF 民間航空部会)	
議長	Enrique Carmona (スペイン、FSC-CCOO)
中南米・カリブ	
議長	Ricardo Frecia (アルゼンチン、AAA)
北米	
議長	Owen Herrnstadt (米、IAMAW)
委員	
委員	Frauke Bendokan (独、Ver.di)
委員	Jo-Anne Davidson (オーストラリア、FAAA)
委員	Richard D'Almeida (ベニン、FESTA)
委員	Francisco Lemos (ブラジル、SINA)
委員	Sara Nelson (米、AFA-CWA)
委員	Anneli Nyberg (ノルウェー、Parat)とChristian Haanas (ノルウェー、客乗組合)が2年ごとに交代
委員	Antonia Panyotova (ブルガリア、FTTUB)

観光部会総会報告書

1. 8月12日に観光部会総会が開催された。

議題1: 報告者の選出

2. 後藤常康(日本)が報告者に選出された。

議題2: 大会テーマ文書

3. 大会テーマ文書がそのまま採択された。以下の意見が出された。

- ・ 特に、空港、都市・長距離輸送、企業の巡回興行(販売・宣伝)等のサービスを提供する企業をターゲットにすべきだ。これらのサービスは通常、ジップライン社やトーマス・クック社等によって、パッケージとして提供されている。
- ・ 一部の国では、大手の多国籍会社はそれほど影響力を持っておらず、中小の観光会社が市場を支配している。ネパール等の国でのオルグ活動を支援すべきだ。
- ・ 多くの途上国で、役人の汚職、非正規労働、事件・事故の多発が大きな問題となっており、観光部会はこれらの問題に取り組む必要がある。

議題3: 4か年活動計画

4. 2014~2018年の観光部会関連の優先課題がそのまま採択された。以下の意見が出された。

- ・ 新たに台頭している「空から海まで(Air to Sea)」のパッケージに従事する労働者の労働条件を調査すべきである。これらの会社は、バルバドス等のカリブ諸国で急成長している。
- ・ 観光産業における女性・児童の商業的性搾取や人身売買の問題を優先課題にすべきである。
- ・ 労働者のための法律をより多く観光産業にもたやすための活動を行うべきだ。
- ・ 欧州運輸労連(ETF)は、セーフ・ホスト(安全なおもてなし)に関する研修やオール・インクルーシブ・ツアー

会社に関する調査書を持っている。この活動は前進しているが、欧州での取り組みであるため、世界のレベルで展開すべきだ。

- ・ 欧州観光連絡協議会(ETLC)は、セーフ・ホスト(安全なおもてなし)に関する研修やオール・インクルーシブ・ツアー会社に関する調査書を持っている。この活動は前進しているが、世界のレベルでの調整が必要だ。

議題4: 動議

5. 決議委員会から観光部会総会に付託された動議はない。

議題5: 選挙

6. 選出結果は次の通り。

議長

後藤常康(サービス・連合、日本)

副議長

ブリギッタ・バス(FNV, オランダ)

女性代表

シミラル・シン(NFIR, インド)

青年代表

ミレナ・タチノヴァ(FTTUB, ブルガリア)

一般委員

デビッド・メシア(アンチグア・バブダ)

レイ・マシュー・マシアンゴ・マキユアキュア(SINTIHOTS, モザンビーク)

シ・ファン・タン(TTLU, 台湾)

7. 観光部会委員会の構成を別紙1の通りとすることで合意した。

議題6: その他

8. 該当事項なし

別紙1
観光部会委員会

2014年8月12日現在

役員	
議長	後藤常康 (サービス・連合、日本)
副議長	ブリギッタ・バス (FNV, オランダ)
女性代表	シミラル・シン (NFIR, インド)
青年代表	ミレナ・タチノヴァ (FTTUB, ブルガリア)
一般委員	デビッド・メシア (アンチグア・バプーダ)
一般委員	ルイ・マシュアング・マキュアキュア (SINTIHOTS, モザンビーク)
一般委員	シ・ファン・タン (TTLU, 台湾)

都市交通委員会報告書

1. 都市交通委員会は2014年8月14日に開催された。
2. ステファン・ハイムリッヒ都市交通委員会議長が欠席のため、エド・ワット（米国）が議長を務めた。
3. ローサ・パヴァネリPSI書記長が挨拶し、ITF加盟組合が直面する課題はPSIの課題と類似していると述べた。例えば、労働者の権利、特にスト権に対する攻撃、経済危機をもたらした高い失業率、国際通貨基金（IMF）や世界銀行の政策、緊縮財政の影響などだ。パヴァネリ書記長はまた、これらの課題に対処するための組合の対案を策定し、労働者の力を構築し、スト権を守るために運動を展開する必要がある点を力説した。

議題1: 報告者の選出

4. 新たに選ばれる都市交通委員会の議長を報告者とするのが合意された。
5. ウェイン・バトソン（ニュージーランド、RMTU）とティム・ピーティー（米国、チームスター）が投票立会人兼投票集計人に選ばれた。

議題2: 大会テーマ文書

議題3: 4カ年活動計画

6. 議題2、3を同時に扱うことが合意された。
7. 浦田誠・内陸運輸部長が大会テーマ文書「グローバル危機からグローバル正義へ：交通運輸労働者の反撃」に言及し、以下の2014-2018年のITF都市交通委員会の優先事項の概要を説明した：
 - ・ 多国籍旅客企業に関する戦略的な組合プログラム
 - ・ 私たちの公共交通キャンペーン
 - ・ 公共交通国際連合（UITP）との覚書の実施
8. 浦田は多国籍旅客企業に対するITFキャンペーンは継続していくと強調した。国際連帯や組合間の調整がうまくいった例もあるが、まだまだやるべきことは多い。2013年にUITPと結んだ覚書に基づき、作業部会を設置

し、主に職場の暴力、幹線快速バス（BRT）などの新たな交通モードに関するリサーチに焦点をあてていく。私たちの公共交通キャンペーンは、今大会で立ち上がることになり、公共交通のさらなる自由化への反対、公共交通の促進と拡大、スト権を含む労働者の権利の保護、新自由主義政策の対案となる交通運輸政策の促進、組合の力を構築するための組織化などについて運動を展開することが求められる。また、他の国際産別と共同で取り組めるような公正な税制の問題などについても調整を図る機会があるだろう。

9. ルーアン・サバシング（ITF法務アドバイザー）が、人権と労働組合権に関する動議が全体会議で採択されると同時に立ち上がることになる国際キャンペーン（www.right2strike.org）に参加するように代議員に促した。

10. ブラジル、フランス、ドイツ、インド、韓国、ルクセンブルク、ニュージーランド、ナイジェリア、ノルウェー、南アフリカ、スワジランド、英国、米国から18代議員が議論に参加し、以下の問題を提起した：

- ・ ナショナルエクスプレス、ヴェオリア、トランスデブなどの多国籍企業は反組合政策で悪名高い。例えば、米国デンバーのスーパーシャトル（トランスデブの子会社）の運転手は組合攻撃を受けながら、会社と初の協約を締結すべく闘っている。したがって、国際連帯と世界の組合が調整された行動を取ることが極めて重要だ。
- ・ 必須サービスを提供する要件から、スト権はしばしば都市交通では制限されている。ILOなどの国際機関に対して、スト権が確保され、中核的ILO条約が批准されるようにロビイングするにあたり、ITFの支援が必要だ。スワジランドなど、一部の国では国際労働基準が守られず、ストに参加した組合活動家が逮捕されるなどの問題が発生している。
- ・ 都市部の人口が増加する中、交通運輸を含む公共サービスの提供は不可欠だ。民営

- 化によってサービスは向上しない。公共交通は社会的な性質をもち、社会の全ての人々が利用できるものでなければならない。そのため、組合は公共交通の保護と再国営化と投資を求める運動で主要な役割を果たす必要がある。公共交通が国営に戻された成功例もある。自由化反対運動の一環として、他の国際産別、特にPSIと協力することが重要だ。
- ・ 民営化されていなくても、公共交通でアウトソーシングが広がっている。アウトソーシングと闘うことが重要だ。
 - ・ 民営化や公共交通促進運動に関する情報や経験を共有することは、組合の対応で中心的役割を果たす。
 - ・ 組合は公共交通の促進と温暖化問題への対応で乗客団体などの市民団体と協力関係を構築することを検討する必要がある。
 - ・ グローバル経済危機への対応として、政府が押し付けている緊縮財政政策と闘う上で、「税の公正さ」を求める運動は中心的な手段となる。
 - ・ 公共交通の促進運動と温暖化政策は連動しているが、この繋がりを強化するべきだ。地球が減れば雇用もなくなるため、組合はこれを主導的に進めるべきだ。自家用車を減らし、公共交通を促進することで、公共交通の雇用が増え、大気汚染や二酸化炭素の排出が減る。ITFの気候変動作業グループの活動に参加するよう都市交通労組に奨励する。
 - ・ しばしば、コスト削減で最初に犠牲になるのは安全だ。旅客輸送では、このことは交通運輸労働者のみならず、交通の利用者や乗客に影響を及ぼし得る。したがって、都市交通委員会がもっと安全問題に焦点をあてるべきだ。
 - ・ 世界中で人気が高まり、拡大している幹線快速バス(BRT)システムについて監視するべきだ。
11. ITF内陸水運部会のニック・ブルムリー議長が、一部地域でフェリーも都市交通の一部をなしている点に言及し、内陸水運・沿岸海運労組の活動を都市交通委員会の活動にいかにか統合できるかを検討することを提案した。
12. 浦田は委員会の活動計画の中で、気候変動問題とスト権の保護が非常に重要だと再度強調した。
13. パヴァネリPSI書記長は、ITFとPSIが共同で活動できる分野がいくつかあると提案した。例えば、気候変動や、災害時に緊急対応を迫られる可能性のある公共サービス労働者の保護などの問題だ。
14. 委員会参加者は、全体会議で採択されたテーマ文書を全面的に支持した。
15. 委員会参加者は、提起されている2014-2018年の都市交通委員会の優先課題を承認した。
18. 委員会参加者は、別紙1の都市交通委員会の構成に合意した。委員には欧州運輸労連(ETF)の都市交通委員会の議長も含まれる。浦田は他の地域でも地域の都市交通機構を設置することを検討するよう、欧州以外の代議員に奨励した。
19. 新議長のアズビヨン・ウォールが挨拶し、立候補を支援してくれた代議員に謝辞を述べ、都市交通委員会の活動を次の4年間で、前進させてゆく強い決意を表明した。他の新任委員も挨拶を行った。
20. 委員会参加者は、4年間の活動の後、議長を退任するステファン・ハイムリッヒ(ドイツ)に謝辞を述べた。ハイムリッヒにはITF金バッジが贈呈される。
21. スティーブ・コットン書記長代行が挨拶を行い、都市交通はITFの成長の可能性のある分野であり、委員会の活動計画は、都市交通労働者に勝利の大きな機会を提供していると力説した。
- 議題4: 動議**
16. 委員会参加者は、第29号動議(メキシコシティの交通運輸と移動)を提案通り、採択した。浦田は動議に書かれているように、メキシコ市当局に書簡を送ってくれるよう、加盟組合に要請した。
- 議題5: 選挙**
17. 2014年6月に行われた路面運輸部会・運営委員会と鉄道部会・運営委員会の合同会議で、副議長を3名選ぶと決まったことに基づき、以下の役員が選出された:
- 議長**
Asbjorn Wahl (Fagforbundet, ノルウェー) が全会一致で選ばれた。
- 副議長**
Maya Schwiengershausen-Guth (ver.di, ドイツ)が全会一致で選ばれた。
- 副議長**
June Dube (SATAWU, 南ア)が全会一致で再選された。
- 副議長**
Ed Watt (ATU, 米国)が全会一致で再選された。
- 議題6: その他**
22. その他の協議事項はなかった。

別紙1

ITF都市交通委員会・役員

2014年8月14日時点

都市交通委員会役員	
議長	Asbjorn Wahl (Fagforbundet、ノルウェー)
副議長	Maya Schwiegershausen-Guth (ver.di、ドイツ)
副議長	June Dube (SATAWU、南ア)
副議長	Ed Watt (ATU、米国)
欧州運輸労連(ETF)都市交通委員会	
議長	Alan Sutour (CGT運輸、フランス)

女性総会報告書

1. 女性交運労働者総会は2014年8月14日に開催された。

投票集計人：テリー・マスト（米）、スーザン・アヨイ（ケニア）

開会式

2. ダイアナ・ホランド女性委員会議長(英、ユナイテッド)が全参加者を歓迎し、大会のホスト役を務めるエカテリーナ・ヨルダノヴァとFTTUBに謝辞を述べた。特に女性がホスト役を務めることの意義に言及した。
3. スティーブ・コットン書記長代行が参加者を歓迎した。書記長代行は、女性の活動プログラムに努めることを約束し、「女性に対する暴力に『ノー』を」キャンペーン」を全面的に支援すると述べた。
4. エカテリーナ・ヨルダノヴァ（ブルガリア、FTTUB）がブルガリアを代表する講演者を紹介した。
5. マルガリータ・ポポヴァ副大統領が参加者を歓迎し、女性が組合で積極的な活動をし、お互いが指導的立場につけるように支援し合い、ともに平和のために努力するよう奨励し、これは社会正義なくしては達成できないと述べた。
6. ヨルダンカ・ファンダコーヴァ・ソフィア市長が参加者を歓迎し、チームワークと良好なパートナーシップがいかに女性によい結果をもたらすかについて話した。市長はまた、「女性に対する暴力に『ノー』をキャンペーン」と「愛の橋」の重要性を強調し、ソフィア市がこれまで市の交通に関わる女性をFTTUBとともにいかに支援してきたかを述べた。
7. アン・アンダーソン（ガイアナ、CCWU）がホランドを報告者に推薦した。ホランドは、アンダーソンとカルソウム・バーカラの両女性委員会副議長、ブリギッタ・パス女性副会長、アリソン・マクギャリーITF女性コーディネーター、ジョディ・エバンズITF女性副コーディネーターを紹介した。

議題1：報告者、投票立会人、投票集計人

8. 報告者：ダイアナ・ホランド（英）
投票立会人：モニク・ヴァーピーク（インド）、サキ・リズワナ（パングラデシュ）

議題2：大会テーマ文書

9. 総会は、大会テーマ文書を採択した。テーマ文書には2014年1月にテリーで開催された女性総会で提起された目標が包括されている。

議題3：4年間の活動計画

10. 総会参加者は、提示された2014-2018年の優先課題を採択した。
11. マクギャリー・女性コーディネーターが大会テーマ文書、女性の政策文書「グローバル危機からグローバル正義へ：女性交運労働者の反撃」、テリーの女性総会の報告、2014-2018年の活動計画を紹介した。
12. マクギャリーは2014-2018年の改善をもたらす優先プログラム、女性交運労働者が直面する課題、提案されている「グローバル危機からグローバル正義へ：女性交運労働者の反撃：2014-2018年の優先課題」の概要を説明した。
13. 2010-2014年の活動報告と4か年の活動計画を以下の女性が提示した：
 - ・ シーマ・モハン（インド、TDWU、港湾労働者オルガナイザー）
 - ・ ファティマ・アグアド（スペイン、CCOO、ITF青年委員会共同議長）
 - ・ ゼナイボ・ハボ・バーマ（ニジェール、SYNATRA、インフォーマル労働者プロジェクト）
 - ・ メアリー・リュウ（シンガポール、SMOU、アジア太平洋地域女性委員会代表）
 - ・ トレイシー・メイヒュー（米SIU、水産女性委員会代表）
 - ・ アルレッテ・ゲイ・シフェリ（チリ、STCLA、中南米女性委員会代表）
 - ・ カルソウム・バーカラ（チュニジア、FNCT、女性委員会副議長）

- ・ **スーザン・アヨイ** (ケニア港湾労組、アフリカ女性委員会代表)
 - ・ **ミッシェル・マイヤーズ** (オーストラリア、MUA、アジア太平洋地域女性委員会代表)
 - ・ **オルガ・バクレンコ** (ロシア、ROSPROFZHEL、欧州女性委員会代表)
 - ・ **ウィルマ・クレメンス** (バルバドス、BWU、路面運輸女性委員会代表)
 - ・ **アリシア・カストロ** (アルゼンチン、AAA、ITF執行委員、中南米女性委員会代表)
 - ・ **エレイン・バーナード** (ハーバード大学、労働と職業生活プログラム)
 - ・ **ブリギッタ・パス** (オランダ、FNV、ITF女性副会長)
 - ・ **シーラ・ナイカワデ** (インド、マハラシュトラ州路面運輸労組)
 - ・ **レスリー・ディアス** (カナダ、Unifor、北米女性委員会代表)
 - ・ **アルマ・テレサ・ゴンザレス・アヴィレス** (メキシコ、ATM、中南米女性代表)
 - ・ **ヴァレリア・ラトロン** (フランス、CFDT、欧州女性委員会代表)
 - ・ **カルパナ・デザイ** (インド、ムンバイTDWU、ITF便宜港湾コーディネーター)
14. ホランドがITFの新たな女性活動計画「グローバル危機からグローバル正義へ」の概要を説明し、組織化、女性の代表制の強化、女性に対する暴力反対運動、私たちの公共サービス運動などに焦点をあてた。ホランドは運動の継続的強化のため、暴力に『ノー』にちなんで写真をwomen@itf.org.ukまで送るように全ての参加者に奨励した。
15. 全体会議の議論の中で以下の女性に関する問題が提起された：
- ・ ITF女性に対する暴力撤廃グローバルキャンペーンや、
- 加盟組合が既に取り組んでいる行動を支持する。この問題は発言者の半分以上が言及した。
- ・ カタール航空における人権と労働権の侵害
 - ・ パレスチナとの連帯。暴力を終わらせ、検問所を撤廃する。
 - ・ 安全衛生の意識が低下していること、いじめや嫌がらせ、セクハラ、年齢やジェンダーによる差別、賃金の不平等、産育休と保育へのアクセス、介護に従事する女性労働者に対する給付、民営化、悪化する労働条件、女性のキャリア開発と雇用機会の支援などの問題に関して懸念が表明された。
 - ・ 教育と訓練：リーダーシップ、女性に対する暴力、組織化、HIV/エイズ、いじめと嫌がらせ、安全衛生
 - ・ 地域ネットワークの構築
 - ・ 西アフリカにおけるエボラ熱の発生
 - ・ 人身売買
 - ・ より多くの女性に交通運輸産業に参入してもらうため、玩具の世界でのジェンダー分離を止めさせる。
16. 総会では、ITFのカタール航空キャンペーンへの支持が表明された。また、ワールドカップのカタール開催中止を求める必要があることも確認された。
17. マクギャリー・女性コーディネーターは、参加者の意見に謝辞を述べ、安全衛生、ワークライフバランス、出産に関する権利、年配の女性労働者の問題などを2014-2018年の活動計画に盛り込むことに合意した。
18. デリーの女性総会で採択された以下の声明には、2014-2018年の活動計画の優先事項が記されている：
- 今大会は、2010-2014年の女性の活動計画を確実に実施し、世界中の職場や地域社会、組合、地域において改善をもたらした、ITF女性委員会と、2014年のITF世界女性労働者総会を称え、
- 今大会はまた、経済危機や温暖化の危機を含む、女性が直面するグローバル化の悲惨な結果に対応し、これらの課題に対応できるよう、組合を強化する支援をするため、女性交運労働者を動員し、組織化する決意を新たにしました。
- そのため、大会は、ITF女性委員会とITF女性部に対し、加盟組合、産別部会、地域、ITF書記局と協力し、2014-2018年の活動計画を実施するよう指示した。活動計画の概要は、政策文書「グローバルな危機からグローバルな正義へ：女性交運労働者の反撃」中のITF女性総会の結論と勧告に記されており、その中では、以下の通り、女性交運労働者の組織化、女性交運労働者に対する暴力撤廃、女性の代表レベルが低いことと闘い、あらゆるレベルで女性交運労働者のリーダーを育成していくこと、世界中でグローバル危機が女性交運労働者に及ぼした影響と闘うことが優先課題とされている：
- I. 3月8日と11月25日の女性の動員、以下のような、現在も継続している闘争のための支援と資金の確保を含め、世界中で女性交運労働者が達成した力強い功績を認識する：
- ・ 「インフォーマル」女性交運労働者や青年女性労働者、「非伝統的な」交通運輸業務に就く女性を組織化するために行動する。
 - ・ 交通運輸労組における女性交運労働者の過少認識の問題に取り組む、これを終わらせ、ITFや加盟組合において女性交運労働者を全面的に認識することを担保する。
- II. 産別部会や各地域でITF加盟組合とともに最善の慣行を共有することを通じ、強い組合を構築するために女性交通運輸労働者を組織化する。交通運輸サプライチェーン、特に女性労働者が集中的に働いている、ロジスティックスの技術面や事務面のハブやコリドールで戦略的な女性労働者を組織する。清掃、ケータリング、コールセンターなど、不安定雇用の女性労働者を対象とした組織化キャンペーンを展開する加盟組合と協力する。
- III. 動員を図り、「私たちの公共サービス」のためのキャンペーンを展開することで、世界中で女性交運労働者が経験している危機の影響に先手を打って取り組む。

女性が雇用、育児、医療サービスへのアクセスを得られるようにするための持続可能な交通運輸を促進するため、地域社会との協力関係を構築する。

- IV. グローバル、地域レベルで女性に対する暴力と闘うためのITF加盟組合のキャンペーンを強化する。例えば、この分野で先頭に立って活動しているグローバル組織と協力関係を構築し、男女両方の交運労働者を関与させ、職場におけるジェンダーに基づく暴力やセクハラに関するILO条約を支持する。ITF女性委員会は2014-2018年の期間に女性に対する暴力に関する大きな会議を開催する計画を進める。
- V. 交通運輸労組、ITF産別部会、地域を支援し、男女平等と女性の代表制に行動を実施する。例えば、リーダーシップ開発プログラム、女性枠の設置、女性委員会、総会、コーディネーターの強化、継続的に女性の参加率を監視する。

- VI. 国際労働組合総連合 (ITUC) の「仲間に入れて」キャンペーンと連携し、ITFの女性リーダーシップ・プログラム「変化をリードする」を拡大し、あらゆるレベルで、次の世代のための力強い組合を構築することを目指し、戦略を練り、後輩たちのモチベーションを上げ、動員し、メンターとなるような、新しい世代のリーダーたちを育てるためにITF加盟組合を支援する。

ITFの女性活動は前進する世界の女性運動の一部を成している。女性の権利について妥協すべきではない。ITFはあらゆるレベルで女性が指導的立場を果たす強い組合を構築している。ITF加盟組合は男女平等とジェンダー正義のために断固とした立場を取り、職場、地域社会、組合内で女性がもつ要求や大志を前進させるべく、行動を取るべきだ。

19. 女性総会はこの声明を承認し、大会に諮ることに合意した。

議題4：動議

20. 女性に対する暴力撤廃についてのフリンジ (サイドイベント) で、オーストラリア海事組合 (MUA) の男性参加者が「女性に対して決して暴力を振るわず、黙認もしない」との誓いを立て

たことを受け、総会は、「女性に対する暴力に関する第11号動議を支持し、同様の誓約を全体会議でもしてもらうよう要請すること」で合意した。

21. ホランドが規約改正動議Fのスペイン語の翻訳に誤りがあり、正確な文言は、「代表団が3人以上から構成される場合は、1人を女性とするものとする」とであると明確にした。
22. 決議委員会から女性総会に付託された動議はなかった。

議題5：選挙

23. ホランドが総会の直後に投票が行われる可能性のある欧州代表を除き、産別部会や地域の女性代表を発表した。女性青年代表については1名の推薦があり、この1名が選出された。
24. 女性の副会長についても、執行委員会が決めるのではなく、女性総会が直接選出できるようにすべきだとの提案があり、大会開催にあたっての努力を評価し、感謝の気持ちを込め、エカテリーナ・ヨルダノーヴァを女性副会長に推す声が上がった。
25. これを受け、この世界大会は素晴らしい大会であり、ヨルダノーヴァに謝辞を述べることは必要だが、手続きは通常通りにするべきだとの意見もあった。女性副会長の席は現在、空席ではなく、将来的に執行委員会内に女性代表の議席がなくなる可能性もあるとの懸念も表明された。

26. ホランドが、現在は執行委員の女性の間で、誰を女性副会長にするかを決めている点を確認し、手続きを変えるべきかの議論はここでは行わないが、それを支持する意見も多いことを察し、今後、議論の余地はあると留意し、今後は誰もが納得できる明確なプロセスを設置すると約束した。

27. 総会は、現在の選挙手続きに関して、女性委員会が文書を作成することで合意した。必要な修正についてもこの文書で勧告することとし、次の大会までには選挙手続きが改善されるようにする。

28. 本総会で選出された役員は、次頁の表の通り。

29. 総会は、各地域の選挙グループで確認される以下の役職とともに、女性交通運輸労働者委員会の構成を上述メンバーとすることに合意した。

北米

アフリカ・アラブ
Dorothy Nandera (ウガンダ、ATGWU)

アジア太平洋
Mary Liew (シンガポール、SMOU)

欧州
Kaia Vask (エストニア、EMSA)

中南米・カリブ海地域
Arlette Gay (チリ、STCLA)

北米
Terri Mast (米、ILWU)

議題6：閉会式

30. ホランドがこれまでのITF女性委員会への優れた貢献と、異なる世界が可能であることを示すために闘い続けてきたことに対し、アリア・カストロに謝辞を述べた。

31. パディ・クラムリンITF会長は、より多くの女性指導者や代表を設け、不安定雇用の女性労働者を組織し、女性交運労働者に対する暴力を終わらせるための運動を続けるという、女性活動における3つの優先分野の達成に努力すると約束した。

32. クラムリン会長はスペインUGTのエンバラ・ガルシア・サンチェスとケニア港湾労組のスーザン・アヨイのこれまでの女性委員会への貢献についても謝辞を述べ、二人に金バッチを贈呈した。会長はまた、メアリー・アクパン (ノルウェー、NUATE)、エレナ・ロドリゲス (スペイン、UGT)、ジャクリン・スミス (ノルウェー、NSU) の貢献についても言及した。

33. ワールドマーチ・フォー・ウーマンのウィルヘルミーナ・トラウトも2015年の地域の準備活動に参加するよう、全参加者に促し、全世界の女性の正義のために闘うことを求めた。

34. ホランド議長が全参加者に謝意を述べ、閉会した。

本総会で選出された役員は、次頁の表の通り。

議長	Diana Holland (英、ユナイト)
副議長	Kalthoum Barkallah (チュニジア、FNCT)
副議長	Ann Anderson (ガイアナ、CCWU)
青年代表	Jasmin Labarda (フィリピン、AMOSUP)
産別部会代表	
民間航空	Wadha Salman Daabis (ヨルダン、GTUWATT)
港湾	Monique Verbeeck (ベルギー、BTB)
水産	Tracy Mayhew (米、SIU)
内陸水運	Valerie Latron (フランス、CFDT)
鉄道	Gaebepe Molaodi (ボツワナ、BRAWU)
路面運輸	Wilma Clement (バルバドス、BWU)
船員	Lena Dyring (ノルウェー、NSU)
観光サービス	Simi Lalsingh (インド、NFIR)
アフリカ・アラブ	
地域代表	Maryam Jummai Bello Yassin (ナイジェリア、NURT)
地域代表	Kate Sanyane (南ア、SATAWU)
地域代表	Yvonne Adanlete Lawson (トーゴ、STPAL)
地域代表	Kalthoum Barkallah (チュニジア、FNCT)
アジア太平洋地域	
地域代表	Mich-Elle Myers (オーストラリア、MUA)
地域代表	Heity Ariaty (インドネシア、SPKA)
地域代表	Wang Mei-Yuan (台湾、TTLU)
地域代表	Sheela Naikwade(インド、MSTKS)
欧州	
地域代表	Silke Mader (ドイツ、ver.di)
地域代表	Nuria Belenguer (スペイン、SMC UGT)
地域代表	Susanne Gallhagen (スウェーデン、Kommunal)
地域代表	Diana Holland (英、ユナイト)
地域代表	Olga Fedorenko (ウクライナ、VPMU)
地域代表	Olga Vakulenko (ロシア、ROSPROFZHEL)
中南米・カリブ	
地域代表	Laura Cordoba (アルゼンチン、FNTCOTAC)
地域代表	Ann Anderson (ガイアナ、CCWU)
地域代表	Alma Teresa Gonzalez (メキシコ、ATM)
北米	
地域代表	Leslie Dias (カナダ、UNIFOR)
地域代表	Sara Gonzalez (米、IAM)
地域代表	Catina Sicoli (カナダ、SIU)

青年総会報告書

1. 青年総会が2014年8月14日に開催された。

議題1：報告者の選出

2. トラビス・ハリソン (UNIFOR、カナダ) が報告者に選出された。クリスティーナ・スコット (MUA、オーストラリア) とジャッキー・スマイス (NATCA、米国) が開票立会人に選出された。ジェームズ・ハリス (MUA、オーストラリア) とセバスチャン・マチュラノ (友愛労組、アルゼンチン) が投票集計人に選出された。

議題2および3：大会テーマ文書と4カ年活動計画

3. 共同議長が両文書を紹介した。4カ年活動計画に関して、「グローバル関与プログラム」の3つの主要構成要素、つまり、「各分会・地域を通じて加盟組織と接触する」、「メンタリング (指導・教育) とリーダーシップの開発」、「気候変動と闘う」に焦点を当てた。両議題を一般討論の形式で議論することが提案され、合意された。南アフリカ、インド、リベリア、スペイン、チュニジア、アルゼンチン、ウガンダ、オーストラリア、ブラジル、エジプト、バルバドス、ホンジュラス、フィリピン、ノルウェー、ロシア、レバノン、クロアチア、フランス、日本、モルジブ、ドイツから発言があった。
4. 一般討論の中で、パレスチナ・プロジェクトの進展のために、ロードマップ (行程表) を作成する作業部会を設置することが合意された。

5. 両文書がそのまま採択された。

議題4：動議

6. 決議委員会から本総会に付託された動議はない。

議題5：選挙

7. 以下の役職者が選出された。

女性代表
Jasmin Labarda (AMOSUP、フィリピン)

一般委員
Bojana Manojlovic Sindikat Pomoraca Hrvatske(クロアチア船員組合), Patricia Lauder Garcia (FSC-CC.OO、スペイン) ※2年ずつ

一般委員

Paulo Cestoni (UPSA、アルゼンチン) Giannina Fiora Del Fabro (ラン・エクスプレス労組、チリ) ※2年ずつ

一般委員

Saber Bousrou (全国鉄道労連、チュニジア)

産別部会代表

民間航空部会

Ines Medina Barrios (FSC-CCOO、スペイン)

港湾部会

Anthony Dailey (SITREBALCRI、パナマ)

水産部会

Jose Emiliano Moreira (SOMU、アルゼンチン)

内陸水運部会

Jorge Alejandro Vargas (SOMU、アルゼンチン)

鉄道部会

Veronika Szilagyi (VDSzSz、ハンガリー)

路面部会

Roy Einar Nilsen (NTF、ノルウェー)

船員部会

Lars Turner (IOMMP、米国)

観光部会

Alina Milusheva (FTTUB、ブルガリア)

8. 青年委員会の構成を別紙1の通りとすることが合意された。

9. 青年委員会の委員を退任した、あるいは間もなく退任する者、特に、本大会で任期満了となるファティマ・アグアド・キエポ共同議長の功労を称えた。

議題6：その他

10. 該当事案はない。

別紙1
青年委員会

2014年8月14日現在

部会役員	
共同議長	Travis Harrison (UNIFOR、カナダ) Julian Ariel Sosa Cappello (友愛労組、アルゼンチン) ※2年ずつ
共同議長	Sharon Li (SOS、シンガポール)
女性代表	Jasmin Labarda (AMOSUP、フィリピン)
アフリカ・アラブ地域	
地域代表	Fatima Ajouz (LCCA、レバノン)
地域代表	Joshua Soka Wilson (USPOGUL、リベリア)
地域代表	Andrew Dinaala Nthoneng (SATAWU、南アフリカ)
地域代表	Dorothy Nandera (ATGWUU、ウガンダ)
アジア・太平洋地域	
地域代表	Danny Cain (MUA、オーストラリア)
地域代表	Preeti Singh (AIRF、インド)
地域代表	Ragcha Bayaraa (MTCPWU、モンゴル)
地域代表	Sharon Li (SOS、シンガポール)
欧州	
地域代表	Vera Visser (VERDI、ドイツ)
地域代表	Kamil Butler (PSUPL、ポーランド)
地域代表	Alexandra Lindahl (交通運輸労組、スウェーデン)
地域代表	Elina Caravan (海事交運労組、ウクライナ)
地域代表	Byron Mcginely (ユナイテッド、英国)
地域代表	Jpnny Havik (インダストリー・エネルギー労組、ノルウェー)
中南米	
地域代表	Serena Browne (バルバドス労組)
地域代表	Julian Ariel Sosa Cappello (友愛労組、アルゼンチン)
地域代表	Jessika Campos (SINA、ブラジル)
地域代表	Horacio Calculli (AAA、アルゼンチン)
北米	
地域代表	Travis Harrison (UNIFOR、カナダ)
地域代表	Heather Honeycutt (AFA-CWA、米国)
地域代表	Dana Suechting (TWU、米国)
地域代表	Matt Dwyer (MEBA、米国)
産別部会代表	
民間航空部会	Ines Medina Barrios (FSC-CCOO、スペイン)
港湾部会	Anthony Dailey (SITREBALCRI、パナマ)
水産部会	Jose Emiliano Moreira (SOMU、アルゼンチン)
内陸水運部会	Jorge Alejandro Vargas (SOMU、アルゼンチン)
鉄道部会	Veronika Szilagyi (VDSzSz、ハンガリー)
路面部会	Roy Einar Nilsen (NTF、ノルウェー)
船員部会	Lars Turner (IOMMP、米国)
観光部会	Alina Milusheva (FTTUB、ブルガリア)

大会参加者リスト

国

組織

*団長

代議員

アドバイザー

(S) スタッフ

ALGERIA

Fédération Nationale des Travailleurs des Transports – Union Générale des Travailleurs Algériens

Abdelkrim Ait Mohamed*

Ahmed Belkacemi

Jaddi Kamal

Seddik Berrama

Federation Nationale Travailleurs Ports Algériens -UGTA

Adjabi Lazhari*

Boulassel Noureddine

Meliani Mohamed

ANGOLA

Federacao dos Sindicatos dos Trabalhadores dos Transportes e Comunicacoes de Angola (FSTTCA)

Ernesto Manuel Antonio

Guilherme Mutendele*

ANTIGUA & BARBUDA

Antigua & Barbuda Workers' Union

David Massiah*

ARGENTINA

Asociación Argentina de Aeronavegantes

Alejandro Kogan

Alicia Castro

Betiana Giselle Zaine

Gabriel Bellido

Gaston Castro

Gaston Ignacio Fernandez Palucito

Horatio Calulli

Juan Pablo Brey*

Asociación de Personal Aeronáutico

Edgardo Anibal Llano*

Rafael Mella

Centro de Capitanes de Ultramar y Oficiales de la Marina Mercante

Julia Liliana Becerra*

Roberto Jorge Alarcón (Co-ordinator)

Centro de Jefes y Oficiales Maquinistas Navales

Gustavo Andres Mujica

Horacio Dominguez*

Maria Elena Castano

Daniel Ocampo

Jorge Fedenczuk

Centro de Patronos y Oficiales Fluviales, de Pesca y Cabotaje Marítimo

Cinthia Diaz

Jorge Bianchi

Julio Benjamín González Insfran

Federación Nacional de Trabajadores Camioneros y Obreros del Transporte Automotor de Cargas, Logística y Servicios

Vincente Osvaldo Guingold

Nicolas Moyano

Gingol Osuado

Gabriela Ruiz Vargas

Laura Cordoba

Carols Jure

Claudio Leiva

Pablo Moyano*

Juan Carlos Ruiz

Fernando Casas Ponce

Gabriel Marcelo Aparicio

Walter Ramon Sanchez

Franco Limpes

Oscar Limpes

Luis Velasquez

Luis Cordoba

Oscar Borda

Pablo Mansilla

Laura Lamona

Edgar Lujan

Claudio Lopez

Hugo Vulcano

Sindicato de Guincheros y Maquinistas de Grúas Móviles

Roberto Coria*

Sindicato del Personal de Dragado y Balizamento

Jorge Daniel Aruto*

Juan Carlos Schmid

Sindicato de Obreros Maritimos Unidos

Agustin Suarez

Enrique Omar Suárez*

Jorge Alejandro Vargas

Rafael Grigera

Rigoberto Suarez Cardozo

Ruben Alejandro Moreira

Sindicato La Fraternidad

Diego Serrano

Julian Ariel Sosa Cappello

Julio Adolfo Sosa*

Nicolas Antonio Coria

Nicolas Octavio Galeano

Omar Aristides Maturano

Sebastian Omar Maturano

Sergio Rojas

Simon Ariel Coria

Unión del Personal Superior y Profesional de Empresas Aerocomerciales

Jose Leonetti

Pablo Fresco

Paolo Cestoni

Patricia Graciela Trotta

Ruben Fernandez*

Stella Alejandros

Unión Ferroviaria
Karina Benemerito
Sergio Adrian Sasia*

Dina Feller (S)

AUSTRALIA

Australian Institute of Marine & Power Engineers (AIMPE)

Martin Byrne

Terry Snee*

Australian Licensed Aircraft Engineers' Association

John Bursill

Stephen Purvinas*

Australian Maritime Officers Union

Jan Thompson*

Wayne Moore

Australian Rail, Tram & Bus Industry Union

Owen Doogan*

Australian Services Union

Clare Raffan*

Flight Attendants' Association of Australia (National Division)

Jo-Ann Davidson*

International Trade Union Confederation (ITUC)

Sharan Burrow – Guest

ITF Sydney Office

Shannon O'Keeffe (S)

Maritime Union of Australia

Alisha Bull

Andrea Whitehouse

Angelo Dymock

Antonin Stonjek

Ben West

Bethany King

Bonnie Crow

Brian Gallagher

Chris Kelly

Christina Scott

Clem Clothier

Dan Crumlin

Dan Gourley

Danny Cain

Darrin Barnett

Dave Price

David Schleibs

Dean Summers – Co-ordinator

Dennis Outram

Diane Kirkby

Garry Keane

George Murray

Glen Williams

James Harris

Jamie Newlyn

Jason Campbell

Jeff Cassar

Julian Kear

Kristian Bolwell

Larry Hand

Margaret Creighton

Matt Purcell – Co-ordinator

Max Ward

Michael Doleman

Mich-Elle Myers

Paddy Crumlin*

Paul McAleer

Penny Howard

Pierce White

Ray Dixon

Roger Pickett

Shawn Curtis

Steven Cox

Sue Virago

Thomas Mayor

Jenny Leong

Transport Workers' Union of Australia

Anthony Sheldon*

Lily Zhang

Peter Biagini

Richard Olsen

Shane O'Brien

AUSTRIA

Gewerkschaft der Gemeindebediensteten - Kunst, Medien, Sport, freie Berufe

Michael Dedic

Thomas Kattinig*

Gewerkschaft VIDA

Anna Daimler

Anton Kos

Christian Horvath*

Dietmar Weiss

Vanessa Radu

BAHRAIN

General Federation of Bahrain Trade Unions

Salman Al-Saad*

Shukri Hasan Mohamed

BANGLADESH

Bangladesh Biman Flying Services Association of Cabin Crew

Arpon Kumar Singh

Mahtab Jahan*

Bangladesh Biman Officers' Association

M A Taher

Mazharul Islam

Mr. Nasim Ahmed

Saki Rezwana

Shakil Meraj*

Bangladesh Noujan Sramik Federation

Chowdhury Ashiqul Alam*

Bangladesh Railway Employees' League (BREL)

Kazi Anowarul Hoque*

Bangladesh Road Transport Workers' Federation

Osman Ali*

Biman Sramik League

Md Mosikur Rahman*

BARBADOS

National Union of Public Workers

Dennis L Clarke*

The Barbados Workers' Union

Serena Pond

Wilma Clement*

BELGIUM

ACV - Openbare Diensten

Jan Coolbrandt*

Thomas Vael

Syndicat des Employés, Techniciens et Cadres de Belgique

Olivier Pintelon*

ACV – Transcom

Christian Roos

Didier Smeyers

Filip Muylle

Jan Sannen

Johan Opsomer

Joris Kerkhofs

Katrien Verwimp*

Koen De Mey

Liesbet Verboren

Marc Heinen

Marc Storms

Michael Voet

Michel Claes

Pierre Tahir

Roberto Parrillo

Steven Verbeek

Xavier Martin

Belgische Transportarbeidersbond (BTB)

Frank Moreels*

Jacques Kerkhof

John Reynaert

Marc Loridan

Monique Verbeek

Roger Opdelocht

European Transport Workers' Federation

Cristina Tilling (S)

Eduardo Chagas (S)

Francois Ballesteros Staff

Josef Maurer (S)

Myriam Chaffart (S)

Philippe Alfonso (S)

International Trade Union Confederation (ITUC)

Lora Verheecke (S)

Luc Cortebeek – Guest

Tamara Gausi – Press

*Landelijke Bedienden Centrale - Nationaal
Verbond voor Kaderleden*

Van Reeth Rik

Vanroose Pascal

Wannes Gielis*

*Secteur Cheminots de la Centrale Générale des
Services Publics*

Serge Piteljon*

Séverine Scaillet

*Secteur Telecom Centrale Générale des Services
Publics - CGSP*

Bart Neyens*

BENIN

*Syndicat National des Travailleurs de
la Météorologie et de l'Aviation Civile
(SYNATRAMAC)*

Richard D'Almeida*

BERMUDA

Bermuda Industrial Union

Glenn Simmons*

BOTSWANA

*Botswana Railways Amalgamated Workers
Union*

Gaebepe Molaodi*

BRAZIL

*Association of International Conference
Interpreters (AIIIC)*

Patricia Tate – Interpreter

*Confederação Nacional dos Trabalhadores
em Transportes Aquaviários e Aéreos, na Pesca
e nos Portos*

Edson Martins Areias

Eduardo Antonio Rech

José Adilson Pereira

Laura Feitosa Teixeira

Odilon dos Santos Braga

Rinaldo Medeiros

Severino Almeida Filho*

*Confederação Nacional dos Trabalhadores em
Transportes Terrestres*

David Eliude da Silva

Edna Bezerra

Joao Batista

Thiago da Silva

Wagner Barbosa*

*Federação Nacional dos Trabalhadores em
Transportes Aquaviários e Afins*

Alberto De Souza Negrão

Luis Rodrigues Leite Penteadó*

Paulo Cesar Abrahão

Paulo Cezar Claudino Lindote Santana

Ricardo Leite Goulart Ponzi

Valdez Francisco de Oliveira

*Federação Nacional dos Trabalhadores
Ferroviários*

Alvacir Miguel Balthazar

Antonio Carlos Fernandes De Freitas

Francisco Aparecido Felício

João Edacir Calegari Morais*

Jose Antonio Matias

Jose Carlos Machado

Oswaldo Pinto

ITF Americas Office

Emiliano Addisi (S)

*Sindicato dos Conferentes de Carga e Descarga
nos Portos do Estado do Rio
de Janeiro*

Mayo Uruguai Machado Fernandes*

*Sindicato Nacional dos Empregados em
Empresas Administradoras de Aeroportos*

Francisco Luiz Xavier De Lemos*

Jessika Campos

Mara Meire Amaro

Maurício De Freitas

*Sindicato Nacional dos Oficiais da Marinha
Mercante*

Bianca Rodrigues Calenzo

Darlei Santos Pinheiro

Isabella Cordeiro Costa

Jose Serra

Jose Valido A. Da Conceição*

Marco Aurélio Lucas Da Silva

Simone Barbosa

Symone Bento Soares

BULGARIA

Bulgarian Seafarers' Trade Union

Georgi Todorov

Ivan Velkov*

Petar Petrov

*Federation of Transport Trade Unions in
Bulgaria*

Albena Borisova (S)

Albena Vasileva (S)

Aleksandar Babov

Aleksandar Bliznakov

Aleksandar Tzvetanov (S)

Ali Ismail (S)

Alina Milusheva

Aneliya Angelova

Aneta Hristova (S)

Aneta Sidova (S)

Angel Bozhichkov (S)

Antoaneta Krasteva

Antoaneta Stoicheva (S)

Antonia Panayotova

Ariana Spanta (S)

Asya Antonova

Atanas Fiziev

Atanas Johnev

Atanaska Stateva-Tsoneva

Atanaska Todorova (S)

Atila Fodor (S)

Bilyana Dragomirova

Blaga Galabova (S)

Bogomil Nikolov (S)

Bojidar Tzvetkov (S)

Borislava Mihaylova

Borislav Borislavov (S)

Borislav Petkov (S)

Borislav Popov (S)

Borislav Zhivkov (S)

Bozhidar Danchev

Bozhidar Georgiev

Daniela Alexieva (S)

Daniela Miladinova (S)

Daniel Angelov

Daniela Pastarmadjieva

Daniela Zlatkova

Daniel Stoyanov

Darko Najdoski

Dencho Denchev

Denislav Spasov

Denitsa Sokolova

Desislava Slavcheva

Desislava Stoicheva (S)

Desislav Dimitrov

Diana Tzvetanova (S)

Diana Yordanova (S)

Dimitar Aleksiev (S)

Dimitar Hristov

Dimitar Stoilov

Dimitar Tzvetanov (S)

Dimitrana Dimitrova (S)

Dimitry Dimitrov

Dimo Aleksandrov

Dora Dotseva (S)

Ekaterina Rangelova

Ekaterina Yordanova*

Elena Aleksandrova (S)

Elena Simeonova (S)

Elena Topuzova

Elisaveta Ignatova (S)

Elka Chipilova

Emanuela Spasova (S)

Emil Dedov

Emiliya Gencheva (S)

Emiliya Ivanova (S)

Emil Petrov (S)

Evelina Kochakova

Evelina Petrova (S)

Faik Izmaliev

Gencho Mirkov

Georgi Georgiev

Georgi Miladinov (S)

Gergana Petrova (S)

Gospodin Yankov

Greta Kirilova

Grigor Manchev

Grigor Stoichkov (S)

Harry Minkov (S)

Hristo Stoyanov

Ianko Stoimenov (S)

Ilhan Feradov (S)

Iliana Denkova (S)

Ilian Iliev (S)

Iliana Nikolova (S)

Iliya Genov

Irena Pavlova (S)

Irina Leshtarska (S)

Iskra Angelova

Iskra Tsakova

Ivana Stoichkova (S)

Ivan Bakov (S)

Ivan Dobrev

Ivan Drazhev

Ivana Tomova (S)

Ivan Finashkov

Ivan Genchev
Ivan Georgiev
Iva Nikolova
Ivan Ivanov
Ivanka Ivanova
Ivan Papazov
Ivan Vasilev
Ivaylo Krastovchev
Ivelina Kitina
Ivo Bazhdrin
Jana Kanadic (S)
Jean - Francois Kilidjian (S)
Julian Iliev (S)
Julia Simeonova (S)
Kalin Krastev (S)
Kalin Raynov (S)
Kameliya Vasileva (S)
Katerina Benvedi (S)
Katya Lazova
Kiril Kyogarov
Kiril Minchev (S)
Konstantin Vladimirov (S)
Krasimira Koleva (S)
Krasimir Hristov
Krasimir Ivanov (S)
Krasimir Mitev
Krasimir Tsvetanov
Kristina Stoyanova (S)
Kristina Traykova (S)
Latincho Georgiev (S)
Lazarinka Ninova
Liudmila Serkedjieva
Lyubomir Marinov
Lyubomir Neshev
Lyudmila Dimova (S)
Madlen Yordanova
Mariana Yordanova
Mariya Dimitrova (S)
Mariya Georgieva
Mariya Kostova
Mariyana Ananieva
Mariyana Antonova (S)
Mariyana Yankulova
Mariya Vladimirova (S)
Martin Dimitrov
Martin Kostadinov (S)
Martin Minev
Martin Rumenov (S)
Maya Shumarova (S)
Metodi Asenov
Mihaela Savova
Mihail Ignatov
Mila Nikolova
Milena Tachinova
Milka Kostova
Mima Zdravkova
Mirela Ivanova
Miroslava Davidova (S)
Miroslava Stoyanova
Miroslav Georgiev
Nadezhda Staneva
Nadya Cholakova
Nadya Todorova (S)
Nataliya Ilieva (S)
Naycho Naydenov
Nedko Radev
Neli Staneva (S)
Nikola Rayaak
Nikola Rusatev
Nikolay Bubov (S)
Nikolay Hristov
Nikolay Nikolov
Nikolay Vasilkyov
Nina Ivanova

Niya Mihaylova
Ognyan Hristov
Olga Dobarova (S)
Orlando Pelegrin (S)
Orlin Guberov
Pavla Scorcheva (S)
Pavla Yanakieva
Pavlina Nikolova
Pavlina Pavlova (S)
Pavlin Danchev
Pavlin Vachkov
Penka Ilieva
Petar Bodurov
Petar Todorov
Petko Getov
Petko Karamitev
Petya Georgieva
Petya Mihaylova (S)
Petya Nikolova
Plamena Zhelyazkova
Plamen Genev (S)
Plamen Markov
Radoslav Galabarov (S)
Radoslav Minchev
Radoslav Petkov
Radoslav Tomov (S)
Radostin Todorov (S)
Rayna Kirilova
Rayna Pehlivanska
Rosen Penchev
Rositza Tzvetanova (S)
Rossana Obreshkova (S)
Rostislav Bachvarov (S)
Rumen Vasilev Angelov
Rumiana Radkova (S)
Ruslan Dimitrov (S)
Sasho Aleksov
Sevdalinka Simeonova
Silvia Marinova (S)
Silviya Angelova
Silviya Gyonova
Simeon Stankov
Snezhanka Kostadinova
Sonya Zahova (S)
Sophia Yovcheva (S)
Stefan Angelov
Stoyo Dimirov (S)
Svetozar Malinov
Svilen Mateev (S)
Tanya Valkova (S)
Tanya Yankova
Teodora Georgieva
Teodora Traykova
Teodora Yanakieva
Teodor Kuzmanov
Timka Filcheva
Todorka Ivanova Popova
Tsetska Georgieva (S)
Tsvetan Hristov
Tsvetanka Dragostinova
Tsvetan Tanev
Tzvetelina Milchanova (S)
Valentina Katzarska (S)
Valentina Tzvetkova (S)
Valentin Shikov
Valentin Stoyanov
Valeri Kostadinov (S)
Valko Stanev
Vanya Antova (S)
Vanya Koleva
Vasilka Doseva (S)
Vasko Bachev (S)
Vasya Petrova (S)
Velichka Mikova (S)

Velislava Ivanova
Velko Atanasov (S)
Veneta Metodieva (S)
Ventsislav Temelkov
Vesela Dobрева
Vesela Lyubomirova
Veselina Slavcheva (S)
Veselin Tsolev (S)
Violeta Ivanova (S)
Vladimir Marinov
Vladimir Miladinov
Vladimir Tsvetanov (S)
Vladislav Promskiy
Yana Bobeva (S)
Yana Slavova
Yanita Borisova (S)
Yanitsa Yankova
Yavor Georgiev
Yordan Bogdanov
Yordan Hristov
Yordanka Kaskatiyska
Yordanka Nedelcheva
Yordan Kostadinov Yordanov
Yordan Krasev (S)
Yordan Yordanov
Yulian Kyosev
Yulia Zhelyaskova
Yuliya Yordanova
Zhivko Vasilev (S)
Zhivko Zlatev (S)
Zhulieta Zheleva
Zlatka Tsvetanova
Zlatko Zlatanov (S)

Federation of Transport Workers - PODKREPA

Angel Robertov
Anri Mladenov
Antonio Minkov
Dafina Georgieva
Delcho Zahariiev
Dimitar Dimitrov
Georgi Manolov
Georgi Nikolov
Ginka Dimitrova
Iskra Ivanova
Ivanka Neykova
Ivan Slavkov
Kiril Kirilov
Krasimir Vankov
Mario Ninov
Pavel Hristov
Petar Kontov
Rozen Zarkov*
Todor Mitov
Tsetska Lucheva
Zdravovesta Nikolova

National Union of Railway Workers - PODKREPA

Liliya Yordanova
Zorincho Yordanov*

Seamen's Syndicate

Krasimir Hristov Valchev*
Nina Boeva
Pavel Borislavov Braynov

Interpreters

Abbud Nabil Kamal
Aglia Markova

Anna Kraeva
Anna Markova
Antonia Terzieva
Chavdara Chavdarova
Cvetan Penevski
Dimitar Kuzmin
Eleonora Koleva
Ilka Filipova-Becheva
Kalinka Naydenova
Lidiya Tabahneva
Lubitsa Pirgova
Lubliana Gotzeva
Ludmila Ilieva
Marianna Hill
Maya Ivanova
Metodi Pachev
Nadezhda Pehlivanova
Olga Jaklin Al-Ahmed
Rayna Petkova
Tania Yakimova
Tsvetan Penevski
Vladimir Berner

BURKINA FASO

Fédération des Syndicats des Travailleurs et Auxiliaires du Transport du Burkina (FSTAT-B)

Marcel Zante*

ITF Bureau Afrique Francophone

Assita Ouédraogo (S)

Bayla Sow (S)

Syndicat Unique de la Météorologie, de l'Aviation Civile et Assimilés (SUMAC)

Basselougou Kazagabou

Emmanuel Gustave Compaore

Soubeiga Roseline*

Interpreter

Anton Andreev

CANADA

B C Ferry & Marine Workers Union

Chris Abbott*

Canadian Union of Postal Workers

Jan Simpson*

Tim Armstrong

International Association of Machinists & Aerospace Workers (IAM)

Carlos DaCosta

Dave Ritchie

International Longshore and Warehouse Union (ILWU)

Bernardo Romeo Bordignon

Mark Gordienko*

Peter Lahay – Co-ordinator

Terry Engler

Seafarers' International Union of Canada (SIU)

Catina Sicoli

James Given*

Patrice Caron

Unifor

Gerard Bradbury

Gregory Myles

Jerry Dias

Lana Payne

Leslie Dias

Peter Kennedy*

Robert Orr

Travis Harrison

CHILE

Federación Holding LAN

Dario Castillo A

Gabriel Henriquez Henriquez

Héctor Barria

Luis Chavez Garrido*

Mario Espinoza

Federación Nacional de Sindicatos de

Conductores de Buses, Camiones, Actividades

Afines y Conexas de Chile

José Sandoval Pino*

Sindicato de Oficiales de Marina Mercante

Southship

Héctor Azúa Almeida*

Sindicato de Tripulantes de Cabina LAN Chile S.A.

Arlette Gay Schifferli*

Luis Chavez

Miguel Liberona

Sindicato de Tripulantes de Cabina Lan Express

Cristian Urrutia*

Giannina Fiora Del Fabro

Sindicato Interempresas Profesional de Oficiales de la Marina Mercante

Rodrigo Pinto-Aguero Corominas*

CHINA

All-China Federation of Trade Unions

Bi Wufang – Guest

Ding Xiaogang – Guest

Jing Peng – Guest

Kou Weili – Guest

Su He – Guest

Sun Jianfu – Guest

COLOMBIA

Asociación Colombiana de Auxiliares de Vuelo

Maria Cristina Cadavid*

Sindicato Nacional de Rama y Servicios del

Transporte de Colombia

Esteban Barboza Palencia*

CONGO DR

Action Syndicale pour le Développement

"SYNDICAT ACTIONS"

Diumu Omasombo Michel*

Diumu Shako Paul

Lydie Lusamba

Nkengia Ngombo Eugenie

Centrale des Travailleurs du Transport et Communication - CSC

Jean Bedel Ndundula Ndamb-Ya-Tshite*

Solidarité Syndicale des Travailleurs et Cadres du Congo – SOLIDARITE

Joelle Mputu Meba*

Syndicat des Travailleurs de Transport et Communication (SYTRACOM)

Abel Jimmy

Clarisse Mongo

Guy Kambu

Nicole Nzengu Meta*

CROATIA

Railway Workers' Trade Union of Croatia

Katarina Mindum*

Sindikat Pomoraca Hrvatske (Seafarers' Union of Croatia)

Bojana Manojlovic

Dorote Zec

Ivan Juricevic

Jana Kanadic

Luka Misic

Neven Melvan

Petra Zitko

Predrag Brazzoduro*

Rade Puhar

Romano Peric

Teresa Petras

Tonka Cupic

Vladimir Svalina

Sindikat Strojovoda Hrvatske – Railroad Engineer Trade Union of Croatia

Dalibor Petrovic

Nenad Mrgan*

CUBA

Sindicato Nacional de Trabajadores del

Transporte y Puertos

Lazaro Cruz Rodríguez – Guest

Luis Romelio Salazar Lora – Guest

CYPRUS

Federation of Transport, Petroleum and Agricultural Workers

Pantelis Stavrou*

Titos Timotheou

CZECH REPUBLIC

Czech Trade Union of Seafarers

Milan Jerabek*

DENMARK

Cabin Union Denmark

Brian Daugaard*

Centralorganisationen Søfart

A. Ole Philipsen*

John Ibsen

Dansk Jernbaneforbund
Henrik Horup*
Kirsten Andersen
Preben Steenholdt Pedersen

Dansk Metal
Kasper Palm
Keld Bækkelund Hansen*

Fagligt Fælles Forbund (3F)
Allan Andersen
Bent Moos
Erik Ravn
Flemming Smidt*
Henrik Berlau
Jan Villadsen
Joan Willumsen
John Frederiksen
Jørgen Aarestrup
Karsten Kristensen
Mads Lund
Nikolaj Mailand
Tina Møller Madsen
Tina Petersen

HK/Privat
Henny Jensen
Tony Bugel Jensen
Vibeke Ansberg*

HK Trafik & Jernbane
John Løvenskjold Nielsen*

Serviceforbundet
Anders Mark Jensen*

Søfartens Ledere - Dansk Navigatørforening
Per Gravgaard Hansen*

EGYPT
Egyptian Civil Aviation Trade Union Federation
Haitham Ellweze*

General Independent Trade Union of Public
Transport Authority and Great Cairo Bus
Network
Hany Affi *

ESTONIA
Eesti Transpordi- Ja Teetöötajate Ametiühing
(Estonian Transport & Road Workers Trade
Union)
Jaan-Hendrik Toomel*

Estonian Seafarers' Union
Valentin Kivistik*

Estonian Seamen's Independent Union
Kaia Vask*

ETHIOPIA
Transport & Communication Workers' Unions
Industrial Federation
Zelege Mena Alaro

Zerihun Alemu Mengesha*

FAROE ISLANDS
Foroya Fiskimannafelag
Jan Højgaard*

FIJI
Fiji Public Service Association
Rajeshwar Singh*

FINLAND
Ammatiliitto PRO
Markku Kaukanen
Tuovi Orpana*

Auto- ja Kuljetusalan Työntekijäliitto - AKT r.y.
(Bil-och Transportbranschens Arbetareförbund i
Finland) - The Finnish Transport Workers' Union

Anita Hellman
Anne Hupli – Interpreter
Arto Sorvali*
Harri Pasanen
Hilkka Ahde
Jan Örn – Co-ordinator
Jape Loven
Kai Laaksonen
Kauko Lipponen
Marko Piirainen

ERTO
Juri Aaltonen*
Marko Nurmi

Rautatievirkamiesliitto R.Y. (Railway Salaried
Staff's Union)
Karri Peltola
Seppo Juselius*

Suomen Konepäällystöliitto (Finlands
Maskinbefälsförbund)
Joachim Alatalo*

Suomen Laivanpäällystöliitto r.y. (Finlands
Skeppsbeälsförbund)
Risto Blomquist*

Suomen Merimies-Unioni r.y.(Finlands
Sjömannsunion)
Jessica Troberg
Kenneth Bengts
Kenneth Bondas
Sannaleena Kallio
Satu Silta
Simo Nurmi – Co-ordinator
Simo Zitting*

Suomen Veturimiesten Liitto, r.y.(Finska
Lokmannaförbundet) (The Finnish Locomotive
Drivers Union)
Maria Mälkki*
Risto Elonen

Trade Union for the Public and Welfare Sectors
Finland (JHL)
Håkan Ekström
Reijo Taipale
Vesa Mauriala*

Interpreter
Hans Virtanen

FRANCE
Fédération CGT des Cheminots
David Gobe
Sylvain Esnault*

Fédération des Officiers de la Marine
Marchande CGT
Jean Philippe Chateil*

Fédération FO de l'Équipement, de
l'Environnement, des Transports et des Services
(FEETS-FO)
Didier Dague
Jean Hedou
Lilian Torres
Pascal Pouille – Co-ordinator
Patrick Hurel*

Fédération Générale des Transports et de
l'Équipement - CFDT

André Milan*
Auber Didier
Dario Weber
Fabian Tosolini
Franck Gonsse
Nicolas Jégo
Laurence Sablayrolles
Thierry Leguevel
Maria Jordanova
Milorad Sugic
Marie Estelle Napoli
Jennifer Rameau
Remi Aufferre
Sandra Jacquemin
Sylvain Desoignies
Sylvie Roux
Thibaut Lavigne
Valérie Latron
Veronique Lenfants

Fédération Nationale des Syndicats
de Transports CGT

Alain Sutour
Mohamed El Ghali
Richard Jaubert*
Valerie Delage

Fédération Nationale des Syndicats
Maritimes CGT
Michel Le Cavorzin*

Fédération Nationale des Transports
et de la Logistique Force Ouvrière
Jose Angulo
Myriam Coulet

Olivier Baire
Patrice Clos*

Fédération Syndicaliste FO des Cheminots
Christelle Liaut
Eric Falempin*
Fabrice Charriere

Public Services International
Rosa Pavanelli – Guest

GEORGIA

Georgian Railway Workers New Trade Union
Vitali Giorgadze*

Georgian Seafarers' Union
Inga Beradze
Merab Chijavadze*

Tbilisi Metro Workers' Trade Union
Besik Kharatishvili*
Giorgi Khitalishvili

*The Independent Professional Union
of Georgian Railways*
Zurab Nasaraia*

GERMANY

Eisenbahn- und Verkehrsgewerkschaft (EVG)

Alexander Kirchner*
Birgit Michaelsen
Dietmar Polster
Dirk Schlömer
Helga Petersen
Helmut Deiner
Herrmann-Josef Müller
Jörg Hensel
Karl-Heinz Zimmerman
Marcel Labonte
Marion Carstens
Martin Burkert
Sebastian Rüter
Tobias Lipser

Friedrich Ebert Stiftung
Mirko Herberg – Guest

Vereinte Dienstleistungsgewerkschaft (ver.di)

Andreas Näser
Christina Weber
Christine Behle*
Harald Meyer
Harry Kühn
Katarina Wesenick
Klaus Lindner
Klaus Schroter
Lisa Gneisse
Malene Volkens
Maya Schwiengershausen-Güth
Michael Hortig
Mira Ball
Peter Geitmann
Robin Faber
Silke Mader

Susan Linderkamp – Co-ordinator
Thomas Mendrzik
Thomas Sorg
Torben Seebold
Vera Visser
Walburga Ludwig

GHANA

Maritime and Dockworkers' Union (Ghana)
Alfreda Kobiaba Ogoe
Daniel Owusu-Koranteng*
Eric Tibu
Frank Ben Danful Essilfie
Melody Afua Amoah
Samuel Addison

GREAT BRITAIN

Agreements Section (ITF Agreement)
John Canias (S)

Alabama 3
Aurora Dawn Ellis
Carl Wilson
Charles Harrison
Dave Sams
Greg Flemming
Ian Rossiter
John Black
John Walsh
Nicholas Minton
Nick Reynolds
Robert Spragg

*Associated Society of Locomotive Engineers
& Firemen (ASLEF)*

Howard Kaye
Liz Cocks
Mark Daniels
Mick Whelan*
Peter James
Simon Weller

*Association of International Conference
Interpreters (AICC)*

Anne Lamming
Barbara Bethäusser-Conte
Barbara Grut
Diana Abt
Elena Sladkovskaia
Eva Maria Leigh-Knapp
Francine Cronin
Galina Ladyzhenskaya
Helene Meier
Janet De Hasson
Kazuko Yoshida-Ingham
Kyoko Kikuchi-Boyle
Maria Blake
Marianne Sharp
Marina Wright
Maureen Ivens
Monica Justo-Mirelman
Monika Brasse
Nathalie Pham
Odile Bertin-Faull

Patricia Lopez-Savoure

Chantrey Vellacott
Phillip Clark – Guest

Global Labour Institute
Dave Spooner – Guest

International Labour Organization
Frank Leys – Guest

International Maritime Employers' Council Ltd
Giles Heimann – Guest

International Maritime Organization
Efthimios Mitropoulos – Guest

*International Transport Workers' Federation
(ITF) staff*

Ainara Navas
Alana Dave
Alen Clifford
Ali Howes
Alison McGarry
Angie Robinson
Anna Llewellyn
Anna Peters
Ashley Poxon
Branko Berlan
Bryony Shanks
Celia Petty
Christina Demercado
Christine Ascott
Claire Clarke
David Bettles
David Cockcroft – Guest
David Hansen-Miller
Donna Connor
Erin Maas
Evelin Tomson
Fabrizio Barcellona
Finlay McIntosh
Gabriel Mocho Rodriguez
Garry Preddy
Gemma Walker
Ingo Marowsky
Isabel Cortes
Jamie Daniel
Janina Malinovska
Jeremy Anderson
Jodi Evans
Jo Dunmall
John McLeod
Jon Whitlow
Kate Hird
Katie Higginbottom
Kemal Ülker
Kerstin Brechtelsbauer
Kevin Verma
Laurence Ball
Layela Idir
Lee Cash
Lesley Hossner
Liz Blackshaw

Lucian Craciun
Mac Urata
Maria Rodriguez-Pérez
Mohammed Maleek
Neil Richardson
Nichola Smith
Oleg Romanyuk
Paula Hamilton
Pauline Lacheze
Rossen Karavatchev
Ruwan Subasinghe
Sadie Saunders
Sally Brogden
Samantha A'Boe
Sam Dawson
Sarah Finke
Sharon James
Stephen Cotton
Steve Trowsdale
Stuart Howard
Theresa Broome
Tyrone Murray
Valeska Acosta
Jessie Fenn
Luca Tommasi
Michelle Pope
Suzanne Verberne

*National Union of Rail, Maritime and Transport
Workers (RMT)*

Jim McDaid
Karlson Lingwood
Mick Carty
Mick Cash*
Paul McDonnell
Peter Pinkney
Stephen Todd

Nautilus International (UK)

Mark Dickinson*
Mike Jess
Ulrich Jurgens

Partners

Adriana Cristina Guimaraes Da Silva
Adrienne Fleming
Aleksandra Bershadska
Alessandro Rosi
Alexandra Ivanova
Annamaria La Farciola
Antonina Shkamerda
Arild Sæthre
Ashley Lynn Krausher
Bejanidze Baadur
Carmen Mancilla Negrete
Caroline Lobjoit
Caroline Staples
Catherine Yvette Oca
Cathleen Parker
Claudia Bertoli
Daniel Mauri
Dave Ford
David Whitehouse
Devon Coleman

Dganit Edri
Diana Orrell
Diana Scardelletti
Dorien De Wit
Eduardo Costa
Ed Whelan
Elín Guðmundsdóttir
Elisabeth Gjerd Larsen
Elizabeth Cristina De Paiva Teixeira Medeiros
Elizabeth Cristina Jardim Abrahao
Elke Reekmans
Goranka Svalina
Hiyam Jamil Hamed Alaqabani
Hongii Lim
Ia Devadze
I H Hijlkema-Scheper
Inna Ivanova
Iryna Karikova
Ivan Parada
Iwona Kondracka
Jean Marie Daniel
Joanna Bijvoet
Jos Brock
Kate Paulsen
Katherine Whelan
Kelly-Anne MacRoberts
Kelly-Ann Orr
Larissa Popova
Lene Ibsen
Luis Narvaez
Manel Atukorale
Marcelina Pereira
Maria Del Carmen
Maria Elsetide Freitas
Maria Teresa Garcia
Maria Testa
Marisel Narbona
Mary Morrison
Mateus Pereira
Monica Huss
Monika Kos
Morag Heimann
Mrs Gardarsson
M Sadien
Natalija Petrovska
Nina Nor Hansen
Nina Pavlova
Olga Sergeieva
Peter Burrow
Pilar Domínguez Gómez
Premala Oyen
Rodolfo Casali
Roxana Silvia Castro
Sandra Maria Nascimento Valido Da Conceicao
Sanne Sæthre
Selina Golec Petrovic
Selma Maria Da Fonseca Braga
Sharon Gdanski
Sharon Myles
Sheena Lawrence
Sigrún Guðnadóttir
Sofia Pereira
Steinunn Siguroardóttir
Sunny-Jo Linderkamp

Svetlana Krasnohtan
Teona Chijavadze
Ulryke Weissgerber
Virginija Bendoraitiene
Viviana Merlo
Yevgeniya Krasnoshtan
Yevhiiii Vlasenko

Prospect

David Carty
Paul Winstanley*

Public and Commercial Services Union

Geoff Budd
Jeremy Gautrey*

Seafarers' Rights International

Brian Orrell – Guest
Ceinwen Jones – Guest
Deirdre Fitzpatrick – Guest
*The International Seafarers' Welfare and
Assistance Network (ISWAN)*
Roger Harris – Guest

Transport Salaried Staffs' Association (TSSA)

Andrea Fox
Manuel Cortes*
Mick Carney

Unite The Union

Bobby Morton
Dave Williams
Diana Holland*
Jane Peacock
Len McCluskey
Lindsey Olliver
Martin Mayer
Matt Draper
Mohammad Taj
Noel Coard
Oliver Richardson
Richard Crease
Sam Chapman
Sean Beatty
Sharon Owens
Steven Biggs
Steve Turner
Tony Woodhouse

Staff

Cheradine Logan
Ciaran O'Fathaigh
Natalie Bland

Interpreters

Débora Chobanian
Iris Griffiths
Jongdo Jin
Jong Shim Jones
Sarah Bailly

Speakers

Laleh Khalili
Victor Russell Figueroa Clark

Peter Donnelly – Guest

GREECE

Pan-Hellenic Seamen's Federation (PNO)

Agis Tselentis*

Stamatis Kourakos – Co-ordinator

GUATEMALA

Sindicato de Trabajadores de Empresa Portuaria Quetzal

Estuardo Roderico Archila Cifuentes

Maynor Armando Sijes Barillas*

Unión Sindical de Trabajadores de Aeronáutica Civil

Nery Lopez

Dario Lima Morales

Jose Arturo Ruiz Thramppe

Sergio Ramirez

GUYANA

Clerical and Commercial Workers' Union

Ann Anderson*

HONDURAS

Sindicato Gremial de Trabajadores del Muelle

Victor Manuel Crespo Murcia*

HONG KONG, CHINA

B A Hong Kong International Cabin Crew Association

Carol Ng*

Federation of Hong Kong Transport Workers' Organizations

Ho Wai Lun*

Hong Kong Seamen's Union

Cheung Sai Teng

Chi Wai Li*

So Pak Tsan

Sui Hang Chiu

Kowloon Canton Railway Workers' Union

Wong Tat Hong*

Merchant Navy Officers' Guild - Hong Kong

Anthony Chick Poon Lun

Kai-Hung Ho

Kam Yuen Ting

Kitty Chan

Sin Hiu Yan

Tam Shing Chieh

Tung Tong Chung*

Wai Hong Lam

Union of Hong Kong Dockers

Chung Kin Wa*

HUNGARY

Vasuti Dolgozók Szabad Szakszervezete (Free Trade Union of Railway Workers)

György Balla*

Krisztian Huszta

ICELAND

Farmanna- og Fiskimannasamband Íslands

Árni Bjarnason*

Guojón Ármann Einarsson

Sjómannafélag Island (Iceland Seaman's Union)

Jónas Gardarsson*

VM - Félag vélstóra og málmþæknimanna

(Icelandic Union of Marine Engineers and Metal Technicians)

Guomundur Ragnarsson*

INDIA

All India Railwaymen's Federation

Canjeevaram A Rajasridhar*

Harbhajan Singh Siddhu

Jaya Agarwal

J R Bhosale

Preeti Singh

Salil Lawrence

Shiva Gopal Mishra

Aviation Industry Employees' Guild

George Abraham Vithayathil*

Calcutta Port Shramik Union

Chinmoy Roy*

Cochin Port Staff Association

Manju Maria Stephen

P M Mohammed Haneef*

Forward Seamen's Union of India

Manoj Kumar Yadav*

Indian National Port & Dock Workers' Federation

Prabhat Samantaray*

Indian National Transport Workers' Federation

Umesh Kumar Sharma*

ITF Delhi Office Staff

Mahendra Sharma

Nishi Kapahi

Sangam Tripathy

Tushima Jagtiani

Maharashtra State Transport Kamgar

Sanghatana

Sheela Sanjay Naikwade*

Mumbai Port Trust, Dock and General Employees' Union

Sudhakar Ramchandra Apraj*

National Federation of Indian Railwaymen

Diptiben Shukhla

J G Mahurkar

John Das

Kona Vishnu

M Raghavaiah*

Munindra Saikia

R P Bhatnagar

Simi Lalsingh

National Union of Seafarers of India

Abdulgani Y Serang*

Milind V. Kandalgaonkar

Mr. Dharvinder Ram

Mr. D Nithiya Sekar

Sunil V Nair

Paradip Port Workers' Union

Rajendra Prasad Singha*

Tamil Nadu Road Transport Workers' HMS Federation

M. Subhamonia Pillai*

Thai Airways Employees' Association

Anjali Tikku*

Anjan Mukherjee

Prabir Ghosh

The Maritime Union of India

Shamshed S Khan*

Transport and Dockworkers' Union, Mumbai

Kalpna Desai

Kishor M Kotwal*

Transport & Dockworkers' Union, Kandla

Seema Mohan*

INDONESIA

Indonesia Railway Workers Union (Serikat Pekerja Kereta Api)

Heity Ariaty

Syafriadi*

Kesatuan Pelaut Indonesia (KPI)

Hanafi Rustandi*

I Dewa Nyoman Budiasa

Ni Wayan Siytimahani

Sonny Pattiselanno

Serikat Pekerja Terminal Petikemas Koja

Agus Supeno*

Trade Union of Jakarta International Container Terminal

Bayu Permana

Satyo Utomo*

IRELAND

Services, Industrial, Professional and Technical Union (SIPTU)

Ann Ryan

Jack Dempsey

Joe O'Flynn*

Ken Fleming – Co-ordinator

Michael Whelan

Tim Daly

ISRAEL

Transport Workers' Division of Histadrut
Avital Shapira-Shabirow
Avraham Edri*

ITALY

Federazione Italiana Addette Servizi
Commerciali Affini e Turismo
Elena Vanelli*

Federazione Italiana Lavoratori Trasporti FILT-CGIL

Domenico D'Ercole
Elisabetta Chicca
Giacomo Santoro*
Leo Gaggiano
Paolo Siligato
Patrizia Mosetti

Federazione Italiana Trasporti – CISL

Francesca Di Felice
Francesco Di Fiore
Giovanni Luciano*
Giovanni Olivieri
Luigi Mansi
Maurizio Orazio Diamante
Remo Di Fiore

IVORY COAST

Syndicat des Marins Ivoiriens au Commerce
(SYMICOM)
Joachim Mel Djedje-Li*

Syndicat Unique des Travailleurs du Port
Autonome d'Abidjan
Antoinette Kra N'Guessan
Bintou Bakayoko*
Clemence Danho
Mariam Traore Djiguya

JAMAICA

Bustamante Industrial Trade Union
Alvin Sinclair*

JAPAN

All-Japan Federation of Transport Workers' Unions UNYU-ROREN

Akira Kishimoto
Akitoshi Morishita
Chie Kasashima
Hitoshi Kariya
Junsuke Namba
Koji Takayanagi
Masao Yamaura*
Takashi Sakuragi

All-Japan Prefectural and Municipal Workers Union (JICHIRO)

Hisao Nakayama
Koichi Muro
Masaru Kurihara
Miki Fujiwara
Naohiko Somatani*
Satoru Hirano
Satoshi Fukuda

Shinji Matsuoka
Takashi Seto
Toshiharu Suzuki
Yasuhiro Hiira
Yoko Matsuzaki
Yukio Kaji

All-Japan Seamen's Union

Fusao Ohori
Hidekazu Yamazaki
Hideo Kon
Hiroyuki Watanabe
Kenji Takahashi
Koichi Suzuki
Kouki Tsuda
Mayumi Ichikawa – Interpreter
Megumi Kotaka
Naoki Kanno
Reiko Kurachi – Interpreter
Satomi Otsuki
Shigeru Kakuchi – Interpreter
Shuhei Anazawa
Toshiaki Kimura
Yasumi Morita*
Yoshihiro Shinmi
Yoshihiro Toyomitsu
Yoshio Otsuka
Yoshiyuki Ikeya
Yuki Izumi

General Federation of Private Railway & Bus Workers' Unions (SHITETSU-SOREN)

Hironobu Nojima
Hiroshi Kobayashi
Hiroyoshi Nishigata
Hitoshi Makimura
Kazuya Fujii
Kinya Matsui
Koichi Kitami
Koya Kubota
Masakazu Yuza
Masaru Motonomi
Masatoshi Kitajima
Nobukatsu Oki
Tamotsu Takagi
Tomohisa Naoe
Toshihiko Sumino

International Mariners' Management Association of Japan

Eduardo Manese – Guest
Hiroaki Uba – Guest
Masami Sasaki – Guest
Sunsuke Imada – Guest
Toshihito Inoue – Guest

ITF Asia/Pacific Office

Katsuji Taki (S)
Akito Taguchi (S)

Japan Airlines Cabin Crew Union

Fujio Kikuchi
Katsuo Iwata
Kazuya Chikamura

Taeko Uchida*

Japan Confederation of Railway Workers' Unions (JRU)
Akinori Yanagi
Jyunichi Fukuda
Kazuo Enomoto
Satoru Yamada*
Tomoko Mukawa

Japanese Council of Transport Workers' Unions (ITF-JC)

Ken Hosokawa (S)
Hiroko Oda (S)
Takako Fukuda (S)

Japan Federation of Aviation Industry Unions (Koku-Rengo)

Kayo Sugawara
Koji Matsuoka*
Masayuki Morita

Japan Federation of Transport Workers' Unions (KOTSU ROREN)

Kenichiro Miyanaga
Kouchi Yamaguchi*
Masakazu Nuki
Norio Funaguchi
Yukimasa Sugimoto

Japan Railway Trade Unions' Confederation (JR-RENGO)

Hideyuki Asaoka
Kenichi Honjo
Minoru Maeda
Motofumi Konomi
Nobuyuki Maeda
Shigeru Kamada
Tomohito Nogita
Yuji Matsuoka*

National Federation of Dockworkers' Unions of Japan (ZENKOKU-KOWAN)

Hajime Miyake
Katsushige Mashima
Katuji Okihara
Kinichiro Itoya*
Kozo Matumoto
Masaya Tamada
Masayuki Aihara
Mitsuko Sonoura
Naoki Yamanaka
Ryoichi Toda
Seiichi Suzuki
Shigeru Fujiki
Shun Kawamura
Takamasa Okuda

National Railway Workers' Union (KOKURO)

Fumio Suzuki
Kouchi Ishigami*

Japan Federation of Service & Tourism Industries Workers' Unions

Kan Shimizu

Koji Tsuawazaki

Masahiro Suzuki

Tadao Matsumoto

Takashi Chiba

Toshinori Kanki

Tsuneyasu Goto*

Yoshikazu Kadowaki

JORDAN

General Trade Union of Workers in Air Transport and Tourism

Nabil Salem Aqabani*

General Union of Port Workers

Fayez Mahasneh

Mohamed Mateleh

ITF Arab World Staff

Areej Hatamleh

Baker Khundakji

Bilal Malkawi

Sara Shishane

Interpreters

Abdellatif Najjar

Miranda Tell

Naser Kohof

Samair Jabaly

KENYA

Dockworkers' Union Kenya

Irene Kurgat

Judith Abuka

Simon Kiprono Sang*

Susan Ayoyi

ITF Africa Office Staff

Allan Munobwa Sebyala

Anna Karume

Joseph Kevin Katende

Kenya Long Distance Truck Drivers & Allied Workers Union

Nicholas Mbugua*

KOREA

Federation of Korean Seafarers' Unions (FKSU)

Doo Young Kim

Hye Kyung Kim

Kyeong Doo Yeom*

Kyujong Chae

Lee Im Su

Park Dae Hee

Park Myeong Hun

Seong Yong Park

Seo Young Ki

Sung Min Ha

Tae Kil Jung

Yoon Kap Sik

Korea Automobile and Transport Workers' Federation

Ji Seop Oh*

Korea Expressway Corp. Labour Union

Kwon Jae Suk*

Lee Ji Ung

Korean Federation of Port & Transport Workers' Unions

Cha Jincheol

Chi Yong Soo*

Hee Cheol Lee

Hwang Young Hoon

Kim Cheul Seong

KIM SANG SIK

Leo Hwang

Young Woo Jeong

Korean Railway Industry Trade Union

Hyun-Joong Kim*

Korean Railway Workers' Union

Dongjin Sim

Ho Joon Song

Jongin Kim

Myoung-hwan Kim*

Wol-san Liem

Wonho Park

Interpreters

Ga Hye Paik

Joo Kyung Byun

KUWAIT

Civil Aviation Labor Union

Fawzi Mubarak

Salem Al-Shraideh*

Yousef Alazemi

Kuwait Ports Foundation Workers Union

Ali Al Skouni

Ali Mohammed Haji Hassan*

Workers Union in the Ministry of Transportation

Jaber Shnaiter *

Yousef Almutairi

Workers Union of Kuwait Airways & Subsidiaries

Abdullah Al Mutairi*

Ahmad Al Saleem

Mohammad Al Faras

Saad Al Hajeri

LATVIA

Latvian Railway and Transport Industry Trade Union

Savelijs Semjonovs

Violeta Lepiksone*

Latvian Seafarers' Union of Merchant Fleet

Aija Agoura

Igors Pavlovs*

Norbert Petrovskis

Udens Transporta Arodbiedribu

Federacija (Water Transport Unions' Federation of Latvia)

Aleksandrs Melnikovs

Aleksejs Holodnuks*

Nina Seredina

Olivers Kronbergs

Victors Panasjuks

Vladimirs Goljakovs

Vladimirs Rusjanovskis

LEBANON

Lebanese Cabin Crew Association

Fatme Ajouz

George Turkieh*

LIBERIA

Independent Mano River Transport Union of Liberia

Ayoub Kamara

Binta B Nagbe*

Fofana Ramatu

Musa Kenneh

Richard Obiajulu Ikediobi

S.N Sunny Doe

National Brotherhood of Teamsters Union of Liberia

Cecelia K Doe

Doris Numue Greene

Grace Tata Wleh

Joecephus O Tukpeh

John Nyemah Natt Sr*

Lovette Dossen

Nancy Jojoe Nah

United Seamen, Ports and General Workers' Union of Liberia (USPOGUL)

Ernest L Gargar

Freeman T Gueh*

Joshua Soka Wilson

Rancy A. Kai

LIBYA

The General Union of Dockers & Seafarers

Nermin Al Sharif*

LITHUANIA

Independent Dockers' Union

Vladimiras Bendoraitis*

Lithuanian Seamen's Union

Remigijus Kalnius*

Lithuanian Transport Workers' Federation

Jonas Petraska*

LUXEMBOURG

*Fédération Nationale des
Cheminots, Travailleurs du Transport,
Fonctionnaires et Employés Luxembourgeois
(FNCTTFEL)*

Guy Greivelding*

Jean-Claude Thümmel

*OGB-L (Onofhängege Gewerkschaftsbond
Lëtzebuerg)*

Hubert Hollerich*

Romain Daubenfeld

Michele Hollerich

MACEDONIA (FYR)

Trade Union of Transport and Communications

Darko Nadjoski

Gjorgi Antevski

Ljube Stojkovski*

MADAGASCAR

Syndicat General Maritime de Madagascar

Lucien Harinony Razafindraibe*

MALAWI

*Central East African Railway Workers' Union
(CEARWU)*

Davison S Kambudzi*

MALAYSIA

*Malaysian Airlines System Executive Staff
Association (MESA)*

Kamarul Zaman Saisi

Najmi Rahimi Bin Muzni*

*Malaysian Airline System Employees' Union
(MASEU)*

Mohammed Jabbarullah Abd Kadir*

Northport Malaysia BHD Staff Union

Mohd Zaidie Sanusi*

Transport Workers' Union

Nurul Azra Jaafar

Zainal Rampak*

*Union of Employees of Port Ancillary Services
Suppliers Port Klang (UNEPASS)*

Alagu Balasubramaniam*

MALDIVES

Maldives Ports Workers Union

Ibrahim Khaleel*

MALTA

General Workers Union

Sandro Vella*

MAURITIUS

Government Services Employees Association

Radhakrisna Sadien*

MEXICO

Alianza de Tranviarios de México

Alma Teresa González Avilez

Aurelio Jimenez Aguilar

Benito Bahena y Lome*

Luis Buen Abad

*Asociación Sindical de Oficiales de Máquinas de
la Marina Mercante Nacional*

Ing. Enrique Othon Pacheco Georges*

ITF Americas Office Staff

Alfonso Bahena

Antonio Rodríguez Fritz

*Orden de Capitanes y Pilotos Navales de la
República Mexicana*

Ysmael Garcia Munoz*

MONGOLIA

*Federation of Mongolian Railway Workers
Trade Union*

Damdin Gunsmaa

Erdene Khombor*

Mandaa Bayarmagnai

Ochirbat Rentsenkhand

Sukhee Munkh-Aldar

*Mongolian Transport, Communication &
Petroleum Workers' Union*

Ragchaa Bayaraa*

MONTENEGRO

*Independent Union of Workers in Maritime
Shipping Trade and Transport of Montenegro*

Milijana Simovic

Mina Cvijetic

Sasa Milosevic*

Tomislav Markolovic

MOROCCO

Union des Syndicats UMT des Transports

Khadija Harizate

Mohamed Haytoun*

Said El-Hairech

MOZAMBIQUE

*Sindicato Nacional dos Trabalhadores da
Industria Hoteleira, Turismo e Similares*

Luis Muchuango Macuacua*

*Sindicato Nacional dos Trabalhadores dos
Portos e Caminhos de Ferro*

Helena Ernesto Cuna

Raul Sengo*

NEPAL

*Independent Transport Workers' Association of
Nepal*

Rajib Ghimire*

Nepal Transport Labour Association

(Nepal Yatayat Mazdoor Sangh) (NETWON)

Ajay Kumar Rai*

NETHERLANDS

CNV Vakmensen

Wybren Kusters*

FNV Bondgenoten

Brigitta Paas*

Edwin Atema

Fred van Oort

Zakaria Boutangacha

Jack d'Hooghe

Jo Collard

Martin Verbeek

Niek Stam

Sjaak Van Delder

Nautilus International (NL)

Hylke Hylkema

Marcel Van den Broek*

Ruud Touwen – Co-ordinator

NEW ZEALAND

International Transport Workers

Federation (ITF)

Mark Davis –Staff

Maritime Union of New Zealand

Alan Windsor

Garry Parsloe

Joe Fleetwood*

Mike Clark

*New Zealand Merchant Service Guild Industrial
Union of Workers Inc.*

Helen McAra*

Rail and Maritime Transport Union Inc.

Aubrey Wilkinson

Wayne Butson*

NIGER

*Fédération Nationale des Transports du Niger
(FNTN)*

Garba Tahirou*

*Syndicat des Agents de la Météorologie et de
l'Aviation Civile (SAMAC)*

Abani Moustapha*

*Syndicat National des Travailleurs Autonomes
de l'économie Informelle du Niger*

Zeinabou Habou Barma*

*Syndicat Unique de la Météorologie et de
l'Aviation Civile*

Aicha Doumbia Tankoano*

NIGERIA

*Air Transport Services Senior Staff Association
(ATSSSAN)*

Ajibade Samuel Jimmy

Benjamin Sunday Okewu

Nickle Tarnongu

Njoku Hyacenth Obioma

Olaniran Olanipekun*

Yakmap Johnson
Yamsikit Adaamu Mohammed

Maritime Workers' Union of Nigeria

Douglas Eromobor*
Funmi Fasan
Oniha Erazua

National Union of Air Transport Employees

Fatai Afolabi
Kemi Ayeoba
Mary Akpan
Mohammed Dauda Safiyanu*
O.O Abioye

National Union of Road Transport Workers

Adeusun Akeem Alani
Badru Rashidat Bose
Clement Wetkur
Ibikunle Tajudeen Kolawole
Ishola Tajudeen Badru
Maryam Jummai Bello Yassin
Moshood Ajao
Najeem Usman Yasin*
Obi Ifeanyi
Salami Oyebode Adedamola
Usman Teslim Olaniran

Nigeria Merchant Navy Officers' and Water Transport Senior Staff Association

Adeola Olusola Sadiq
Alalade Matthew Adedapo*
Aleakhue John Okpono
George Nwahajioke
Ibrahim Agoro
Thomas Kemewerigha

Nigeria Union of Railway Workers

Garba Seidu Alhaji
Okonkwo Chidinma Lucy
Raphael Benjamin Okoro*
Victoria Nwaokolo

NORWAY

Association of International Conference Interpreters (AIIC)

Hanne Mörk
Karin Henderson

Det Norske Maskinistforbund

Bjørn Andreassen*
Hege-Merethe Bengtsson
Odd Rune Malterud

Fagforbundet

Asbjørn Wahl*
Carl Ivar Delingsrud
Geirmund Jor
Ole Roger Berg

Fellesforbundet

Jørn Eggum
Lars-Erik Lilleødegård*

Handel og Kontor i Norge

Bjørn Mietinen*
Heidi Altmann
Kjell Finvåg
Roy Jonskas

Industri Energi

Aage Bærheim
Arild Berntsen
Asle Reime*
Johnny Havik
Ole-Kristian Paulsen
Terje Larsen

Norsk Jernbaneforbund

Arne Drabløs
Jane Brekhus Sæthre*
Kjell Atle Brunborg

Norsk Kabinforening (Cabin Crew Union Norway)

Cecilie Haram
Christian Haanæs*

Norsk Lokomotivmannsforbund Øystein

Aslaksen*
Rolf Jørgensen

Norsk Sjømannsforbund (Norwegian Seafarers Union)

Angelica Gjestrum – Co-ordinator
Geir Hagerupsen
Jacqueline Smith*
Jahn Cato Bakken
Johnny Hansen
Kurt Inge Angell
Mads Tjøtta
Maria Jensen Solevag
Ronny Øksnes
Terje Hernes Pettersen

Norsk Sjøoffisersforbund

Bernard Lie Nilsen
Hans Sande*
Morten Kveim

Norsk Transportarbeiderforbund

Bjørn Anders Jonassen
Bjørn Sandnes
Bjørn Steffense
Dag Einar Sivertsen
Geir Kvam
Gunnar Myhren
Johnny Sletvold
Lars Morten Johnsen
Morten Hagen
Nina Risinggård
Ole Einar Adamsrød
Paal Aronsen
Per Ole Melgaard
Roger Hansen*
Roger Moum
Roy Einar Nilsen
Sissel Karlsen
Terje Reinholt Samuelsen

Parat - A Norwegian Trade Union

Anneli Nyberg
Hans-Erik Skjæggerud
Jan-Levi Skogvang
Marit Linden
Vegard Einan*

Press

Jogvan H. Gardar

PAKISTAN

Pakistan Merchant Navy Officers' Association
Sheikh Mohammad Iqbal*

Pakistan Seamen's Union

Adam Panjri*

PALESTINE

General Union for Transport Workers

Nasser Younes*
Neda Abu Zant

PANAMA

ITF Americas Office Staff

Edgar Diaz

Sindicato de Trabajadores de las Empresas de los Puertos de Balboa y Cristobal

Leonidas Morales*

Sindicato de Trabajadores de Servicios Maritimos, Remolcadores, Barcazas y Afines de Panamá

Luis Carlos Fruto*

Unión de Capitanes y Oficiales de Cubierta

Gerardo Martinez
Ivan de la Guardia*

Unión de Prácticos del Canal de Panamá (Panama Canal Pilots Union)

Raniero R Salas*

Unión de Ingenieros Marinos

Diogenes Elizer Martinez*
Vladimir A Small O

PAPUA NEW GUINEA

Papua New Guinea Maritime Workers Industrial Union

Alex Rawali*

PARAGUAY

Sindicato Obreros Maritimos Unidos del Paraguay

Hector Horacia*

Unión de Sindicatos de Trabajadores del Transporte

Hector Osmar Ojeda Adorno
Percio Rafael Duarte Díaz*

PERU

Sindicato Unico Tecnicos De Lan Peru (Sitalanpe)

Juan Carlos Talavera – Guest
Oscar Angosto – Guest

PHILIPPINES

Associated Labor Union
Cecilio Seno

Democrito T Mendoza
Eduardo M Borromeo

Gerard R Seno*

Giselu C Cadungog
Joannah Marie Angeles
Raymond DC Mendoza

Associated Marine Officers' and Seamen's Union of the Philippines

Conrado F Oca

Eduardo Ma R Santos

Elena V Jiloca

Emmanuel Partido

Felix Rebustes

Jasmin Costelo Labarda

Jesus P. Sale*

Johnny Oca Jr.

Jose Raul Lamug

National Confederation of Transport Workers' Union (NCTU)

Jose Aguilar*

Philippine Airline Employees' Association - PALEA - TUCP

Gerardo Rivera*

Philippine Seafarers' Union, PSU (ALU-TUCP)

German N Pascua*

Michael C Mendoza

Orphelia Zabate

Port Workers' Union of the Philippines (PWUP)

Jose Eduardo L Oca Jr

Robert Ramon B Oca*

POLAND

National Maritime Section NSZZ 'Solidarnosc'

Andrzej Kosciak

Jacek Cegielski*

National Section of Port Workers - NSZZ Solidarnosc

Dariusz Szklar*

Polish Seafarers' Union (Ogólnopolski Związek Zawodowy Oficerów I Marynarzy)

Henryk Piatkowski*

Kamil Butler

Seamen's & Fishermen's Trade Unions Federation

Jacek Dubinski*

Trade Union Federation of Polish State Railways' Employees

Maarten Gutt*

Maciej Chudkiewicz

Stanislaw Stolorz

PORTUGAL

Sindicato da Mestrança e Marinhagem da Marinha Mercante, Energia e Fogueiros de Terra (SITEMAQ)

Alexandre Delgado*

Sindicato dos Engenheiros da Marinha Mercante (SEMM)

João de Deus Gomes Pires*

ROMANIA

Tarom National Technical Trade Union

Marian Panfiloiu

Curdov Aurel

Stefan Vintila*

Vasile Hardei

Uniunea Sindicatelor Libere Metrou si Aviatie Civila (Free Trade Union of Metro and Aviation Workers)

Florian Crisu

Ionescu Mircea

Ion Radoi*

Marinela Angelescu

Vasile Petrariu

RUSSIA

Communication Workers' Union of Russia

Dmitry Vasilyevich Dozorin*

Dockers' Union of Russia

Elena Khoroshun

Vasilij Vasilevich Kozarenko*

Vladimir Kozarenko

International Confederation of Water Transport Workers' Unions

Georgy Stoliarenko – Guest

Irina Chernenko – Guest

Sergey Stolyarenko – Guest

Seafarers' Union of Russia

Alexander Krasnoshtan

Alex Belyakov

Andrei Eremeev

Andrey Knyazev

Dmitrii Chetverkin

Igor Kovalchuk

Igor Pavlov

Irina Ustyumenko

Konstantin Makarov

Leonid Glushak

Marina Serova

Nikolay Eremenko

Nikolay Popov

Nikolay Sukhanov

Alexandra Alexandrova

Olga Ananina

Petr Osichansky

Sergey Fishov – Coordinator

Vadim Ivanov

Valeriy Berezinskiy

Yuri Sukhorukov*

Trade Union of Railwaymen and Transport Construction Workers of Russia

Aleksandr Golobev

Anatolii Garashchenko

Gennady Kosolapov

Irina Zorina

Iurii Kalinin

Lyakhov Mikhail

Mikhail Mironov

Mikhail Pruzhina

Nelli Pogodina

Nikolai Sinitsyn

Nikolay Nikiforov*

Nikolay Shashkov

Olga Chemshit

Olga Vakulenko

Sofya Medvedeva

Vitaly Shatov

Vladimir Klenin

Yaroslav Sadvitsky

SENEGAL

Syndicat des Travailleurs des Transports Routiers du Senegal CNTS-FC

Momar Diagne

Néné Camara*

Syndicat Unique des Travailleurs des Transports Aériens et Activités Annexes du Sénégal (SUTTAAAS)

Alassane Ndoye*

SIERRA LEONE

Sierra Leone Seamen's Union

Parker Kamara*

SINGAPORE

National Transport Workers' Union

Fang Chin Poh*

Mei Feng Tan

Rosmani Bin Juraini

Port Officers' Union

Ang Kim Chye

Benjamin Tang*

Singapore Maritime Officers' Union (SMOU)

Annie Sng

Gwee Guo Duan

Mary Liew

Terence Tan

Thomas Tay*

Singapore Organisation of Seamen (SOS)

Daniel Tan Keng Hui

David Shoo*

Kam Soon Huat

Sharon Li

Shena Foo

Singapore Port Workers' Union

Ameer Hamzah*

Teng Hong Tan

Thangamani Sinniah

SLOVENIA

WSindikat Strojvodij Slovenije (SSSLO)

Rok Smon

Zdenko Lorber

Zlatko Ratej*

SOUTH AFRICA

South African Transport & Allied Workers' Union (SATAWU)

Andrew Dinalaa

June Dube

Kate Sanyane

Tabudi Abner Ramakgolo

Veronica Metsatya

Zenzo Mahlangu*

UASA - The Union

Shadrack Motloung*

World March of Women Organisation

Wilhelmina Trout – Speaker

SPAIN

ELA-Zerbitzuak

Cristina Santamaria Martin

Juan Carlos Polo de la Fuente*

Mohamed Arrachedi (S)

Federación de Servicios a la Ciudadanía de CCOO

Ana Sánchez Navarro

Enrique Carmona

Fátima Aguado Queipo*

Ines María Medina Barrios

Juan Luis García Revuelta

Juan Manuel Trujillo

Manuel Nicolás Taguas

Manuel Polo Rubio

Mario Martin

Patricia Lauder Garcia

Rafael Vicente Mateo

Federación de Servicios para la Movilidad y el Consumo (SMC UGT)

Amparo Sánchez

Eduardo Hernández

Elena Rodríguez

Emilio Cardero

Francisco Rodríguez

Jose Manuel Perez-Vega

Jose M Ortega – coordinator

Miguel Ángel Cilleros Sanchez*

Nuria Belenguer

Santos Nogales

Unión Sindical Obrera Sector Transporte Aereo (USO-STA)

Juan Nunez

Rafael Fernandez*

SRI LANKA

National Union of Seafarers Sri Lanka

Palitha Atukorale*

Sri Lanka Nidahas Sewaka Sangamaya

Leslie Devendra*

SWAZILAND

Swaziland Transport & Allied Workers' Union

Simanga Shongwe*

SWEDEN

Association of International Conference

Interpreters (AIIC)

Yvonne Tizard

LEDARNA

Antonio Ropero

Bo-Göran Nilsson*

Mats Fredriksson

Nordic Transport Workers' Federation

Peter Lövkvist – Guest

Roy Solstad – Press

SEKO Facket för Service och Kommunikation

Annica Barning – Co-ordinator

Janne Rudén

Jens Saverstam*

Kajsa Lackovic

Kenny Reinhold

Mats Ekeklint

Tomas Abrahamsson (S)

Valle Karlsson

Sjöbefälsföreningen

Hans-Dieter Grahlf

Mikael Huss*

Svenska Kommunalarbetareförbundet

Anne-Li Rosengren

Astrid König

Cenneth Malmström

Ingalill Eriksson

Mario Gavran

Susanne Gällhagen*

Svenska Transportarbetareförbundet

Christer Bengtsson

Gabriel Dahlander

Göran Nilsson – Coordinator

Lars Lindgren*

Magnus Falk

Magnus Larsson

Marcel Carlstedt

Marie Sjöhem

Martin Rohde

Patrick Markusson

Peter Winsten

Petri Perala

Tommy Wreeth

Ulf Persson

Wilfred Mandhla

Unionen

Helene Lundqvist

Leif Nicklagård*

Martin Johansson

Michael Collins

Nikta Nabavi

SWITZERLAND

IndustriALL Global Union

Jyrki Raina – Guest

International Labour Organisation

Guy Ryder – Guest

James Howard – Guest

International Union of Food, Agricultural, Hotel, Restaurant, Catering, Tobacco and Allied Workers' Association, IUF

Kirill Buketov – Guest

KAPERS Cabin Crew Union

Harry Kreienbühl*

Kristina Giretova

Nautilus International (Switzerland)

Nick Bramley*

SEV – Gewerkschaft des Verkehrspersonal

Barbara Spalinger*

Christian Suter

Giorgio Tuti

Peter Kappler

UNI Global Union (UNI)

Christy Hoffman – Guest

TAIWAN, CHINA

National Chinese Seamen's Union (NCSU)

Chang Shiew-Ling

Chen Te-tsun

Chu Hao Lin

Lin Yu-Jane

Lu Wang-Chun*

Taipei Travel Labour Union

Chi-Tzu Hsu

Hsi-Fan Tang

Hsiu Chuan Wang

Hsiu-Ying Huang

Jen-Te Wang

Jui Man Lao

Ma Chau*

Mei-Yuan Wang

Shien-Jen Chiou

Shu-Fang Tsai

Su Min Wong

Taiwan Dock Workers' Federation

Yao-Chang Yang*

TANZANIA

Tanzania Railway Workers' Union

Rose Banyikwa*

THAILAND

Aerothai State Enterprise Union

Sukit Klinhom*

Airports of Thailand Public Company Limited

State Enterprise Worker Union (AOT-SWU)

Arkorn Yimcharoen*

Bangkok Mass Transit Authority State

Enterprise Workers' Union

Chutima Boonjai*

Sanan Boon Ngok

ITF Coordinating Committee of Thailand

Su-angcana Tungworachet – Guest

State Railway Workers' Union of Thailand

(SRUT)

Pinyo Rueanpetch*

Stella Maris

Apinya Tajit – Guest

Transport Company Ltd State Enterprise

Employees' Union (TRAN-U)

Prajuk Sukbandit*

TOGO

Fédération Syndicale des Travailleurs des

Transports du Togo (FESYTRAT)

Komlan Emmanuel Agbenou*

Syndicat des Travailleurs des Compagnies de

Navigation Maritimes, Aériennes et de Transit

du Togo (STRANAVITTO)

Hihideva Etsri Clumson-Eklu

Simeon Clumson Estri*

Syndicat des Travailleurs du Port Autonome de

Lomé (SYNTRAPAL)

Djoladé Gbadamassi*

TRINIDAD

Seamen & Waterfront Workers' Trade Union

Michael Annissette*

TUNISIA

Fédération Nationale des Chemins de Fer

Tunisien

Kalthoum Barkallah*

Mohammed Saidi

Sabeur Besrou

Union des Syndicats UMT des Transports

Ahmed Senbli*

TURKEY

Birlesik Tasimacilik Çalışanlari Sendikasi (BTS)

(United Transport Workers' Union)

Ishak Kocabiyik*

Deniz Çalışanlari Dayanisma Dernegi (DAD-

DER) Marine Employees' Solidarity Association

(MESA)

Cem Argunsah

Cihan Hazar

Erdal Hascan

Eylem Pinar

Muzaffer Civelek

Sibel Cavusoglu

Unal Turkel

Ural Cagirici*

DISK

Kivanc Eliacik

National Port and Land Stevedores Union

of Turkey (LIMAN-IS)

Önder Avci*

Railway Workers' Trade Union of Turkey

(DEMIRYOL-IS)

Cemal Yaman

Ergun Atalay

Hakan Sükün

Hüseyin Ervüz

Huseyin Kaya*

K, Akay Bahali

Nuh Kale

Trade Union of Revolutionary Land

Transportation Workers of Turkey (Nakliyat Is)

Ali Riza Küçükosmanoglu*

Tüm Tasima İşçileri Sendikası

Göknur Mars

Gürel Yilmaz

Kenan Öztürk*

Muharrem Yildirim

Turkish Civil Aviation Union Hava-Is

Ali Kemal Tatlibal*

Murat Kallenci

Yasin Sevgili

Türkiye Denizciler Sendikası (Seafarers'

Union of Turkey)

Hasan Pekdemir*

Irfan Mete

Zerrin Isik

UGANDA

Amalgamated Transport and General

Workers' Union

Aziz Kiirya*

Dorothy Nandera

UKRAINE

Marine Transport Workers' Trade Union

of Ukraine

Andrii Sukhanov

Elina Karavan

Iryna Feshchenko

Mykhailo Kirieiev*

Mykola Polovniuk

Igor Sergeiev

Nataliya Yefrimenko

Oleg Grygoriuk

Olga Losinskaya

Olga Mudrova

Sergiy Rozhkov

Trade Union of Railway Workers and Transport

Constructors of Ukraine

Anatoliy Prokopenko

Mr. Orest Lohoshniak

Oleksandr Bukreiev

Sergey Ivanovich Ivanskyi*

Vadim Maryanovich Tkachov

Vyacheslav Zaloznykh

Vil'na Profspilka Mashynistiv Ukrainy (VPMU)

(Ukrainian Free Trade Union of Locomotive

Engineers)

Olga Petrovna Fedorenko

Semen Grigorevich Karikov*

URUGUAY

Unión de Trabajadores del Transporte

Marítimo, Aéreo, Terrestre y Afines

Arlindo Torredo

Daniel Moreira

Francisco Del Gaudio*

USA

Amalgamated Transit Union

Bruce Hamilton

Ed Watt*

American Maritime Officers (AMO)

Christian Spain

J. Michael Murphy*

Thomas J Bethel

Association of Flight Attendants (AFA) -

Communications Workers of America (CWA)

Heather Honeycutt

Sara Nelson*

Association of Professional Flight Attendants

Laura Glading*

ICMA

Bruno Ciceri – Guest

Independent Pilots' Association

Luke Pyles*

International Association of Machinists &

Aerospace Workers (IAM)

Joseph Tiberi

Owen Herrstadt

Sito Pantoja*

Timothy Klima

International Brotherhood of Teamsters (IBT)

Timothy Beatty*

International Longshore and Warehouse Union

(ILWU)

Greg Mitre

Jeff Engels – Co-ordinator

Ray Familathe*
Terri Mast
William Adams

International Longshoremen's Association (ILA)
AFL-CIO

Dwayne Boudreaux
Ingolf Esders
John D Baker*
Michael Baker

International Organisation of Masters,
Mates & Pilots

Ake Selander
Donald J Marcus*
George Quick
Wayne Farthing

International Union, United Automobile,
Aerospace & Agricultural Implement Workers of
America (UAW)

Garry Bernath
Mark Haasis*

National Air Traffic Controllers' Association

Anna Jancewicz
Eugene Freedman
Jacqueline Smith
Patricia C Gilbert*

National Marine Engineers' Beneficial
Association

Marshall Ainley*
Matthew Dwyer

Norsk Sjømannsforbund (Norwegian Seafarers
Union)

Johan Oyen

Norwegian Seamen's Union

Lena Dyring

Seafarers' International Union of North America
(SIU)

Daniel Duncan
Dave Heindel*
Enrico Esopa
Shwe Tun Aung
Tracey Mayhew

Service Employees' International Union

Tom Woodruff*

Transportation Communications International
Union (TCU)

J M Parker
Joseph Condo
Richard Johnson
Robert A Scardelletti*

Transport Workers' Union of America

Thom McDaniel*

Speaker

Elaine Bernard

UZBEKISTAN

Aviation Workers' Trade Union of
Uzbekistan

Shawkat Zainabidinovich Mingaliyev*

VENEZUELA

Federación Bolivariana de los Trabajadores y
Trabajadoras de Transporte Afines y Conexos

Adrian Oronoz

Edison Alvarado*

Jose Rosal

YEMEN

Employees and Workers Syndicate of Yemen
Airways

Wahid Abdullah Al Qabaty*

General Union for Telecommunication and
Transport Workers

Qassem Mehdi Haider

Saleh Mohamed Alwani*

Labor Committee of Aden Container Terminal

Hamdan Hameed Al Haidary*

Yemeni Aviation Engineers Syndicate

Ahmed Dhya Aldain Hail*

ZIMBABWE

National Airways Workers' Unions
(NAWU)

Gideon Gonese

Mambo W Madzura*



International Transport Workers' Federation

49-60 Borough Road
London
SE1 1DR

Tel: +44 (0)20 7403 2733

Email: mail@itf.org.uk

www.itfglobal.org



www.facebook.com/ITFglobal



[@itfglobalunion](https://twitter.com/itfglobalunion)